

第 1 4 回住民意識調査の概要について

※詳細な報告書は市ホームページに掲載しています。

－ 目 次 －

I	アンケート調査の実施概要	1
1	調査の目的	1
2	調査項目	1
3	調査設計と回収状況	1
4	調査結果の要約	2
II	調査結果	6
1	回答者の属性	6
2	白井市で暮らすことについて	10
3	市政について	20
4	市の取組について	26
5	子育て支援について	30
6	学校教育について	32
7	防災について	34
8	市民参加・協働によるまちづくりについて	38
9	市の生涯学習について	46
10	市の産業振興について	52
11	市のまちづくりについて	60
12	自治会への加入について	66
13	市の職員や行財政改革について	70
III	アンケート調査票	74

I アンケート調査の実施概要

1 調査の目的

第5次総合計画後期基本計画の策定にあたり、まちづくりに対する市民の意向などを把握し、計画づくりに反映させることを目的として住民意識調査を実施しました。

2 調査項目

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| (1) 白井市で暮らすことについて | (8) 市の生涯学習について |
| (2) 市政について | (9) 市の産業振興について |
| (3) 市の取組について | (10) 市のまちづくりについて |
| (4) 子育て支援について | (11) 自治会への加入について |
| (5) 学校教育について | (12) 市の職員や行財政改革について |
| (6) 防災について | (13) 回答者属性 |
| (7) 市民参加・協働によるまちづくりについて | |

3 調査設計と回収状況

- (1) 調査地域：白井市全域
- (2) 調査対象：白井市在住の18歳以上の男女2,500人
- (3) 抽出方法：2019年5月末日現在の住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査時期：2019年6月14日（金）～7月5日（金）
- (5) 実施主体：白井市
- (6) 回収状況：有効回収数（回収率） 911件（36.4%）

<調査結果の見方>

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを示しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 回答（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問は全てを合計すると100.0%を超えることがあります。
- (3) クロス集計のうち、サンプル数の少ない属性については、誤差が大きいため分析の対象にしていません。

4 調査結果の要約

◆白井市で暮らすことについて

(1) 白井市について

白井市に好感を持っている人は約7割。5年間で0.5ポイント減少

「好き」(23.4%)と「どちらかというとき好き」(47.0%)を合わせた、白井市に好感を持っている人は70.4%と、前回調査と比べて0.5ポイント減少しています。

(2) 住みやすさについて

住みやすいと感じている人は7割弱。5年間で1.4ポイント増加

「住みやすい」(18.0%)と「どちらかというとき住みやすい」(50.1%)を合わせた、住みやすさを感じている人は68.1%と、前回調査と比べて1.4ポイント増加しています。

(3) 定住意向

永住希望者は3割弱。5年間で1.7ポイント増加

「永住したい」(27.2%)と「当分住み続けたい」(40.2%)を合わせた、白井市に住み続けたいと思っている人は67.4%と前回調査と比べて1.0ポイント増加しています。

年齢別にみると、白井市に住み続けたいと思っている人は、高年齢層ほど高い傾向にあります。

住み続けたい理由は、前回調査と同様に「持ち家があるから」(72.0%)、「自然環境が良いから」(54.2%)、「日常生活が便利だから」(37.3%)が高くなっています。「持ち家があるから」は前々回調査から増加傾向にあり、一方で、2番目に高い「自然環境が良いから」は前々回調査から減少傾向にあります。

移住したい理由は、「交通費が割高だから」(68.6%)、「市の発展に期待できないから」

(40.1%)が高く、「市の発展に期待できないから」は前回調査と比べて8ポイント強増加しています。

◆市政について

(1) 市の情報の入手先

「広報しろい」が8割台半ばで、高年齢層を中心に紙媒体が高い

「広報しろい」(85.6%)が8割台半ば、「地域の新聞やミニコミ誌」(29.7%)が3割弱と紙媒体が高くなっています。年齢別にみると、高年齢層で紙媒体が高く、30歳代、40歳代では「市のホームページ」が高くなっています。

(2) 市政への関心

市政に関心があるのは4割台半ば。10歳代・20歳代を除き、関心がある人が関心がない人を上回る

「大いに関心がある」(6.1%)と「関心がある」(39.3%)を合わせた、市政に関心を持っている人は4割台半ばとなっています。

年齢別にみると、10歳代・20歳代を除く全ての年齢層で、市政に関心を持っている人は市政に関心を持っていない人を上回っています。

◆市の取組について

(1) 施策の満足度

子育て、健康・保健・医療の満足度が高い。5年前に比べて子育て、健康・保健・医療で上昇

乳幼児健診など母子の健康対策、健康づくりの推進など、健康・保健・医療分野の施策で満足度が高くなっています。

この5年間では、満足度は「休日・夜間や緊急時の医療体制」や「就労希望者への雇用対策」で大きく上昇しています。分野別では、子育て、健康・保健・医療の分野で全施策の満足度が上昇しています。

(2) 施策の重要度

個別には鉄道の運賃問題対策、分野別では防災・防犯分野の重要度が高い。5年前に比べ子育て、教育分野で特に上昇

重要度が最も高い施策は「鉄道の運賃問題対策」で、分野別では「防災・防犯」が高くなっています。

この5年間では、重要度はほとんどの施策で上昇しており、特に、「障がい児への療育の支援」をはじめ子育て、教育の分野で上昇しています。

◆子育て支援について

30～40歳代では医療費などの経済的負担軽減や医療体制の充実が高い

「子どもが安心して医療機関にかかる体制」(29.7%)、「必要な時に誰でも利用できる保育サービス」(29.5%)、「医療費への助成」(29.4%)が3割弱と高くなっています。

特に、30歳代、40歳代では、「子どもが安心して医療機関にかかる体制」、「医療費への助成」が高くなっています。

◆学校教育について

10～30歳代では「子ども自らが学び、思考し、表現する力の育成」が高い

「豊かな人間性や社会性・道徳心の育成」(44.6%)、「いじめ防止対策の推進」(42.8%)、「子ども自らが学び、思考し、表現する力の育成」(38.7%)が約4割と高くなっています。

特に10歳代・20歳代、30歳代では「子ども自らが学び、思考し、表現する力の育成」が最も高くなっています。

◆防災について

(1) 大きな地震が発生した場合に心配に思うこと

全体では「ライフラインの停止」が高い。高年齢層ほど自宅の倒壊が高い

全体では、「ライフラインが停止すること」(62.8%)が6割を超えて最も高くなっています。

年齢別にみると、高年齢層ほど「自宅が倒壊すること」が高い傾向にあり、若年層ほど「家族や知人の安否確認ができないこと」が高い傾向にあります。

◆市民参加・協働によるまちづくりについて

(1) 市民参加・協働によるまちづくりを進めるために充実していくべき取組

「まちづくりに関する情報発信の充実」が4割を超えて高い

「まちづくりに関する情報発信の充実」(46.4%)が4割を超えて最も高くなっています。次いで「市民と市職員の交流や意見交換の機会の充実」(38.3%)、「市の計画づくりに市民が関わる機会の充実」(32.6%)も3割を超えて比較的高くなっています。

(2) 参加状況と取組主体について

今後は防災活動や健康づくりに関する活動に取り組みたいとの意見が多い

①市民参加・協働のまちづくりの参加状況

既に取り組んでいる活動では「地域の祭りやイベント」(12.3%)、「防犯活動」(11.4%)が高くなっています。今後取り組みたい活動では「防災活動」(31.2%)、「健康づくりに関する活動」(27.9%)などが高くなっています。

②市民参加・協働のまちづくりの取組主体

市民中心では「地域の祭りやイベント」(27.8%)、市役所中心では「文化財・伝統的文化の保護活動」(33.5%)、市民と市役所が一緒に取り組む活動では「防犯活動」(60.4%)、「防災活動」(60.4%)が高くなっています。

◆市の生涯学習について

(1) 充実していくべき生涯学習施策

「市民ニーズの把握」が4割弱と最も高い

「市民ニーズの把握」(37.4%)が4割弱と最も高くなっています。次いで「生涯学習施設のサービスの充実」(33.5%)、「学習機会の充実」(31.3%)となっています。

(2) 充実していくべきスポーツ施策

「年齢層にあったスポーツ活動」が約5割と最も高い

「年齢層にあったスポーツ活動」(49.8%)が約5割と最も高くなっています。次いで「スポーツ施設の整備・充実」(38.4%)、「スポーツを通じた健康づくり」(33.5%)が高くなっています。

◆市の産業振興について

(1) 地場(市内でつくられた)の農産品購入状況

購入している人は7割弱と高い

「積極的に購入している」(20.3%)と「商品を見かけた時は購入している」(48.2%)を合わせた、購入している人は7割弱となっています。

年齢別にみると、購入している人は高年齢層ほど高い傾向にあります。

(2) 日用品の買物をする場所

「白井市内」が7割弱と最も高く、「印西市」が2割強と続く

「白井市内」(68.8%)が7割弱と最も高くなっています。次いで「印西市」(22.6%)、「鎌ヶ谷市」(3.0%)となっています。

居住地区別にみると、白井第二小学校区、桜台小学校区では「白井市内」が低く、「印西市」が高くなっています。

（３）白井駅周辺で買物や遊んだりする頻度

利用している人は約６割、利用していない人は約４割

白井駅周辺で買物や遊んだりする頻度については、「よく利用している」（30.5％）と「たまに利用している」（28.6％）を合わせた、利用している人は約６割となっています。

居住地区別にみると、利用している人は、南山小学校区、池の上小学校区で８割以上と高くなっています。一方、桜台小学校区では１割台半ばと低くなっています。

◆市のまちづくりについて

（１）将来のまちづくりの方向性

まちの利便性の向上に関する項目や、移動に関する項目が高い

「身近な買物の場や医療機関があるまち」（44.7％）、「駅前などに商業施設などが数多く立地するまち」（28.8％）などのまちの利便性の向上に関する項目や、「鉄道やバス交通が充実したまち」（42.3％）、「歩行者や自転車が安全に移動できるまち」（26.6％）などの移動に関する項目が高くなっています。

（３）白井駅前の魅力が高くなる方法

「商業施設の充実」と「カフェや広場など人が集まれる場所の整備」が５割以上と高い

「商業施設の充実」（64.3％）と「カフェや広場など人が集まれる場所の整備」（53.5％）が５割以上と高くなっています。

◆自治会への加入について

加入している人は約７割。若年齢層ほど加入していない

「加入している」は69.0％で高年齢層ほど高く、「加入していない」は21.2％で30歳代を中心に、若年層ほど高くなっています。

加入していない理由については、「地域に自治会がないため」（31.1％）、「自治会の役員になると負担が大きいため」（24.4％）、「自治会に加入するメリットがないため」（22.8％）などが高くなっています。

◆市の職員や行財政改革について

（１）市の職員に特に重要なもの

「市民の目線で考え、信頼される職員」が５割強で最も高い

「市民の目線で考え、信頼される」（51.8％）が５割強で最も高くなっています。「市民のニーズに柔軟な対応ができる」（45.0％）、「市民にわかりやすく説明ができる」（38.4％）も４割前後と高くなっています。

（２）特に力を入れる必要がある行財政改革の取組

職員の人材育成と人員配置や組織のスリム化、市民のニーズが低いサービスの廃止等、合理化・無駄の削減に関する意見が多い

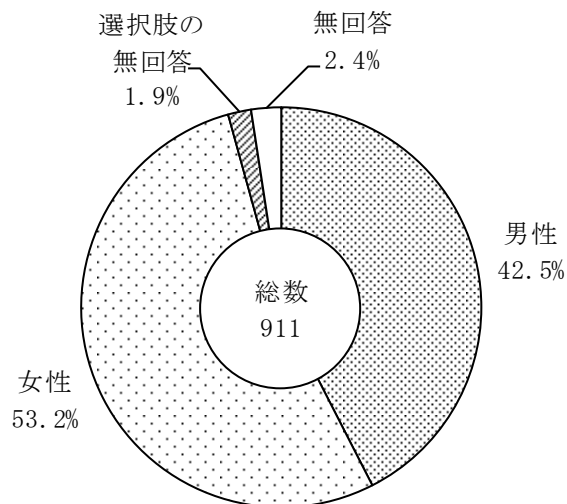
「職員の人材育成と適切な人員配置」（40.6％）が約４割と最も高くなっています。次いで「市役所の組織のスリム化」（33.7％）、「市民のニーズが低い行政サービスの廃止」（24.3％）が高くなっています。

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

(1) 性別

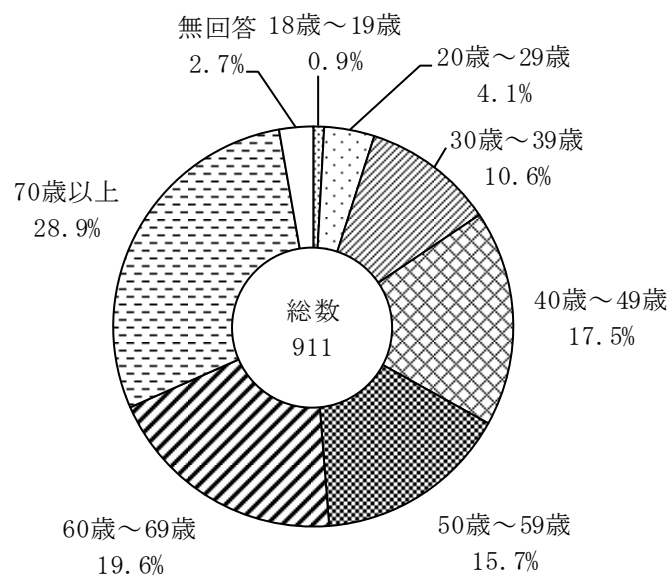
【問 27】あなたの性別を次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。



性別は、「女性」が 53.2%、「男性」が 42.5%となっています。

(2) 年齢

【問 28】あなたの年齢は何歳ですか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

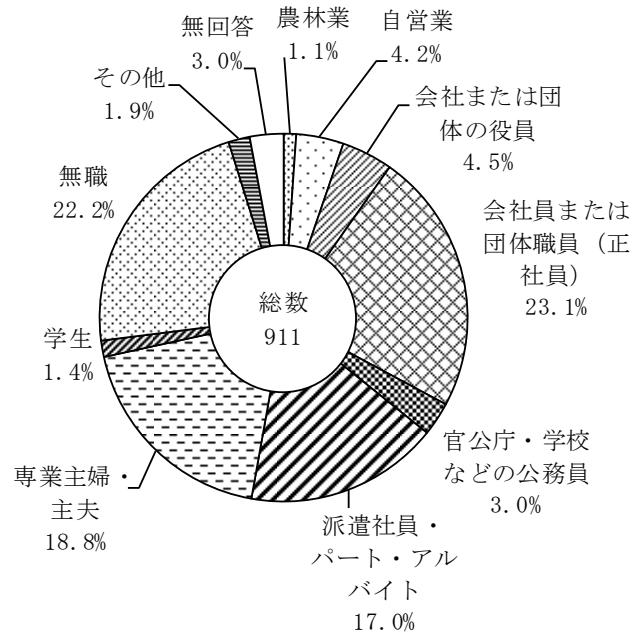


年齢は、「70 歳以上」が最も高く 28.9%となっています。

次いで「60 歳～69 歳」(19.6%)、「40 歳～49 歳」(17.5%)、「50 歳～59 歳」(15.7%)、「30 歳～39 歳」(10.6%)、「20 歳～29 歳」(4.1%)、「18 歳～19 歳」(0.9%) となっています。

(3) 職業

【問 29】あなたの職業は何ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

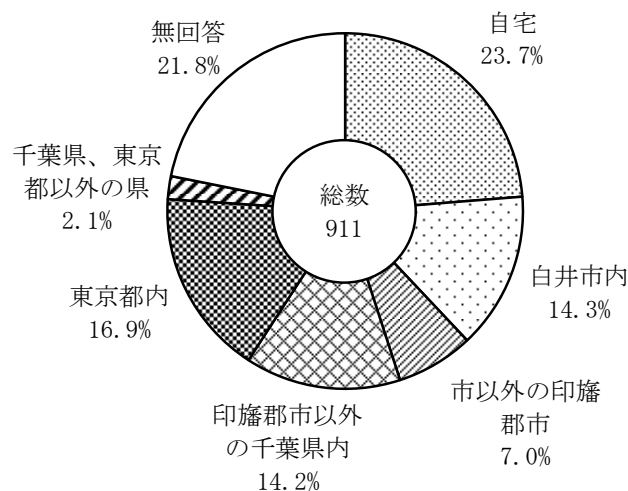


職業は、「会社員または団体職員（正社員）」が最も高く 23.1%となっています。

次いで「無職」(22.2%)、「専業主婦・主夫」(18.8%)、「派遣社員・パート・アルバイト」(17.0%)、「会社または団体の役員」(4.5%)、「自営業」(4.2%)、「官公庁・学校などの公務員」(3.0%)、「その他」(1.9%)、「学生」(1.4%)、「農林業」(1.1%)となっています。

(4) 勤務先・通学先

【問 30】あなたの勤務先・通学先はどちらですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

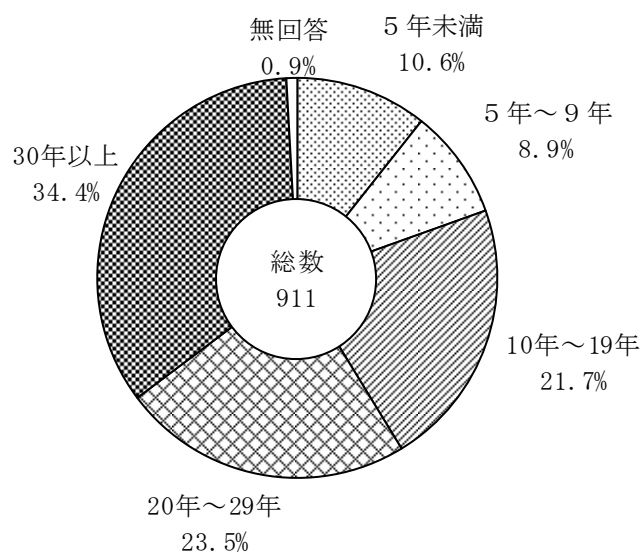


勤務先・通学先は「自宅」が最も高く 23.7%となっています。

次いで「東京都内」(16.9%)、「白井市内」(14.3%)、「印旛郡市以外の千葉県内」(14.2%)、「市以外の印旛郡市」(7.0%)、「千葉県、東京都以外の県」(2.1%)となっています。

(5) 居住期間

【問 31】あなたは市に何年くらいお住まいですか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

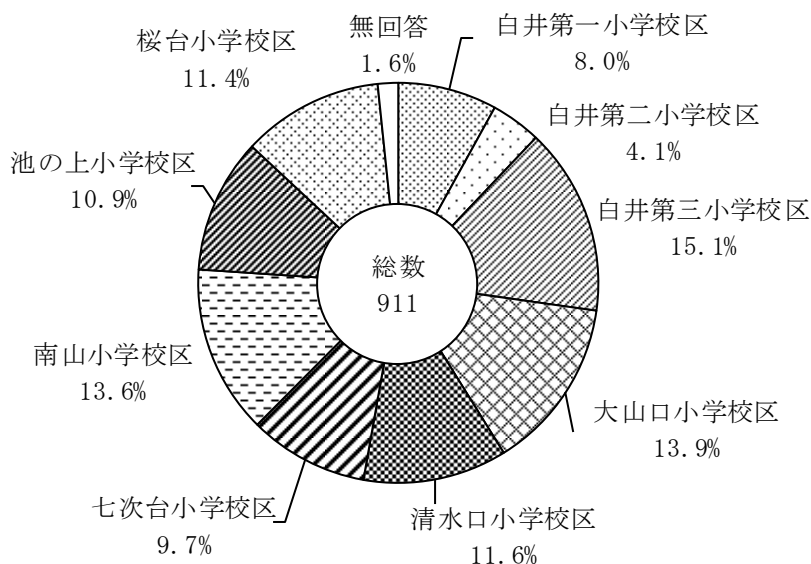


居住期間は、「30 年以上」が最も高く 34.4%となっています。

次いで「20 年～29 年」(23.5%)、「10 年～19 年」(21.7%)、「5 年未満」(10.6%)、「5 年～9 年」(8.9%)となっています。

(6) 居住地区

【問 32】あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。次の選択肢から 1 つ選んで番号に○をつけてください。(わからない場合は、自宅から一番近い小学校に○をつけてください)



居住地区は、「白井第三小学校区」が最も高く 15.1%となっています。

次いで「大山口小学校区」(13.9%)、「南山小学校区」(13.6%)、「清水口小学校区」(11.6%)、「桜台小学校区」(11.4%)、「池の上小学校区」(10.9%)、「七次台小学校区」(9.7%)、「白井第一小学校区」(8.0%)、「白井第二小学校区」(4.1%)となっています。

◆居住地区の分類

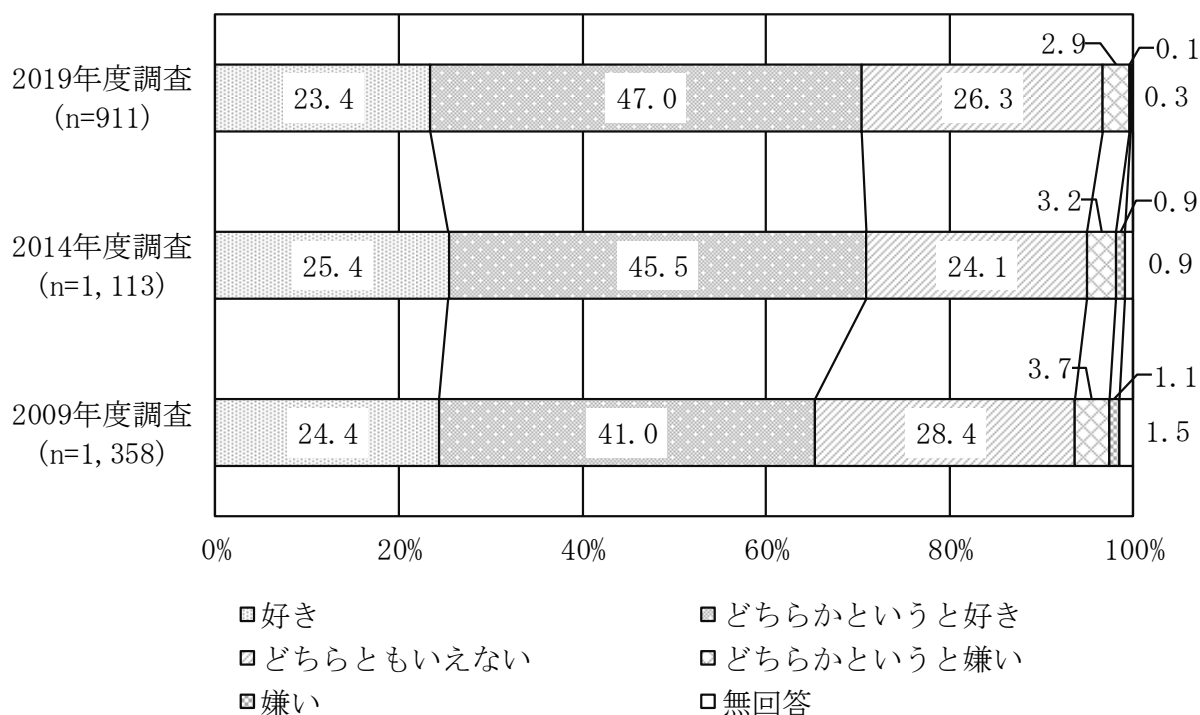
1. 白井第一小学校区	神々廻の一部、白井、復（下長殿、上長殿、法目）、根（白井木戸、七次）、木の一部、河原子の一部
2. 白井第二小学校区	折立、富塚の一部、中、名内、今井、平塚、河原子の一部、十余一の一部
3. 白井第三小学校区	富士、復（四町会）、根（丸山、白井木戸、オージーコートヴィレッジ）
4. 大山口小学校区	大山口1丁目・2丁目、大松1丁目、西白井1丁目・2丁目、根（清水口、大松、大山口）、富塚の一部
5. 清水口小学校区	清水口1丁目～3丁目、けやき台1丁目・2丁目、根（千草、中木戸）
6. 七次台小学校区	七次台1丁目～4丁目、野口、西白井3丁目・4丁目、根（百合丘、クレイドルガーデン西白井）、木の一部
7. 南山小学校区	南山1丁目～3丁目、堀込1丁目、笹塚1丁目～3丁目、復（富ヶ谷）
8. 池の上小学校区	池の上1丁目～3丁目、堀込2丁目・3丁目、復（富ヶ沢、ひまわり）、
9. 桜台小学校区	桜台1丁目～5丁目、十余一の一部、清戸、谷田、神々廻の一部



2 白井市で暮らすことについて

(1) 白井市について

【問1】あなたは、白井市についてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



白井市については、「好き」(23.4%)と「どちらかという好き」(47.0%)を合わせた、白井市に好感を持っている人は約7割となっています。

一方、「嫌い」(0.1%)と「どちらかという嫌い」(2.9%)を合わせた、白井市に好感を持っていない人は1割未満となっています。

【過去調査との比較】

白井市に好感を持っている人は前回調査と比べ0.5ポイント減少しています。また、白井市に好感を持っていない人も1.1ポイント減少しています。

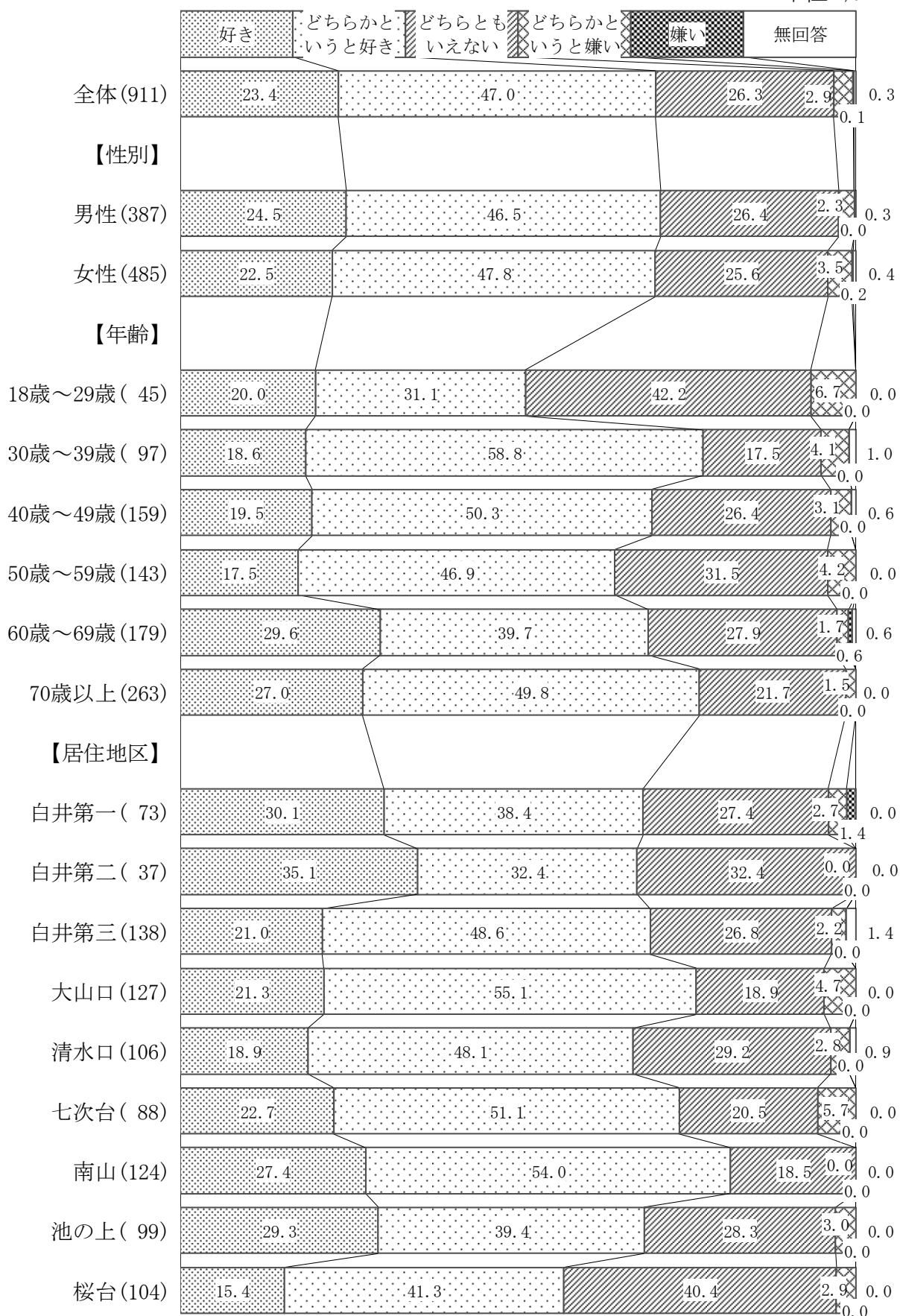
【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、白井市に好感を持っている人は10歳代・20歳代では5割強と低く、30歳代では8割弱と高くなっています。

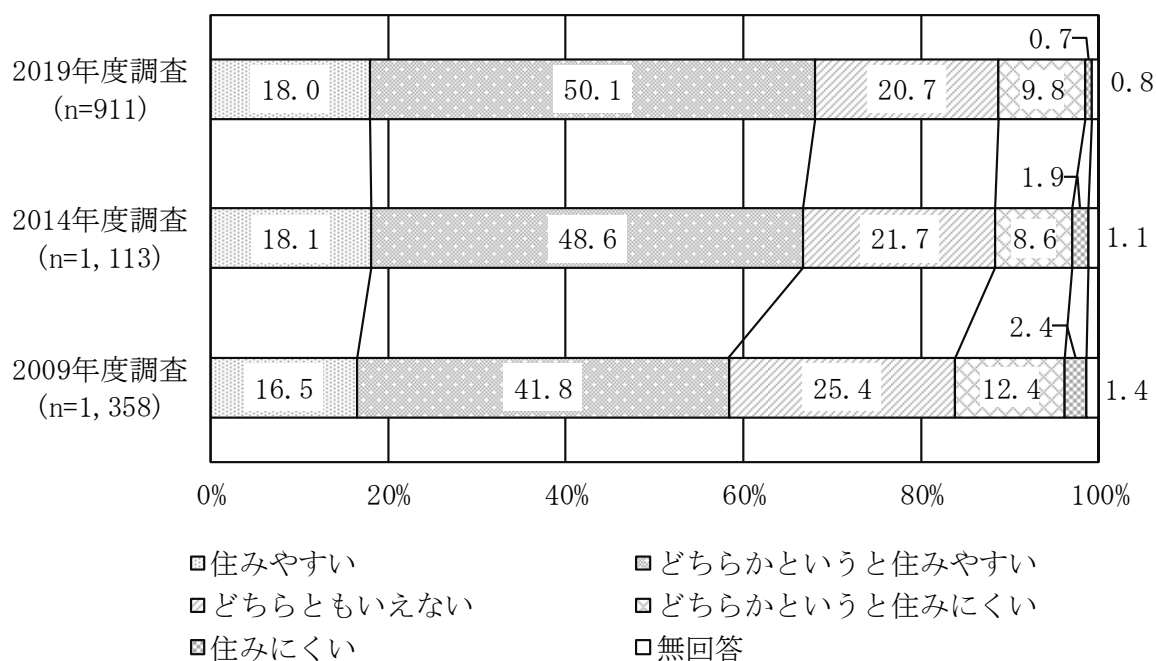
居住地区別にみると、白井市に好感を持っている人は、南山小学校区では8割を超えて高くなっています。一方で、桜台小学校区では5割台半ばと低くなっています。

単位：％



(2) 住みやすさ

【問2】あなたは、白井市の住みやすさについてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



白井市の住みやすさについては、「住みやすい」(18.0%)と「どちらかというに住みやすい」(50.1%)を合わせた、白井市に住みやすさを感じている人は、7割弱となっています。

一方、「住みにくい」(0.7%)と「どちらかというに住みにくい」(9.8%)を合わせた、白井市に住みにくさを感じている人は約1割となっています。

【過去調査との比較】

白井市に住みやすさを感じている人は前回調査と比べ1.4ポイント増加しています。

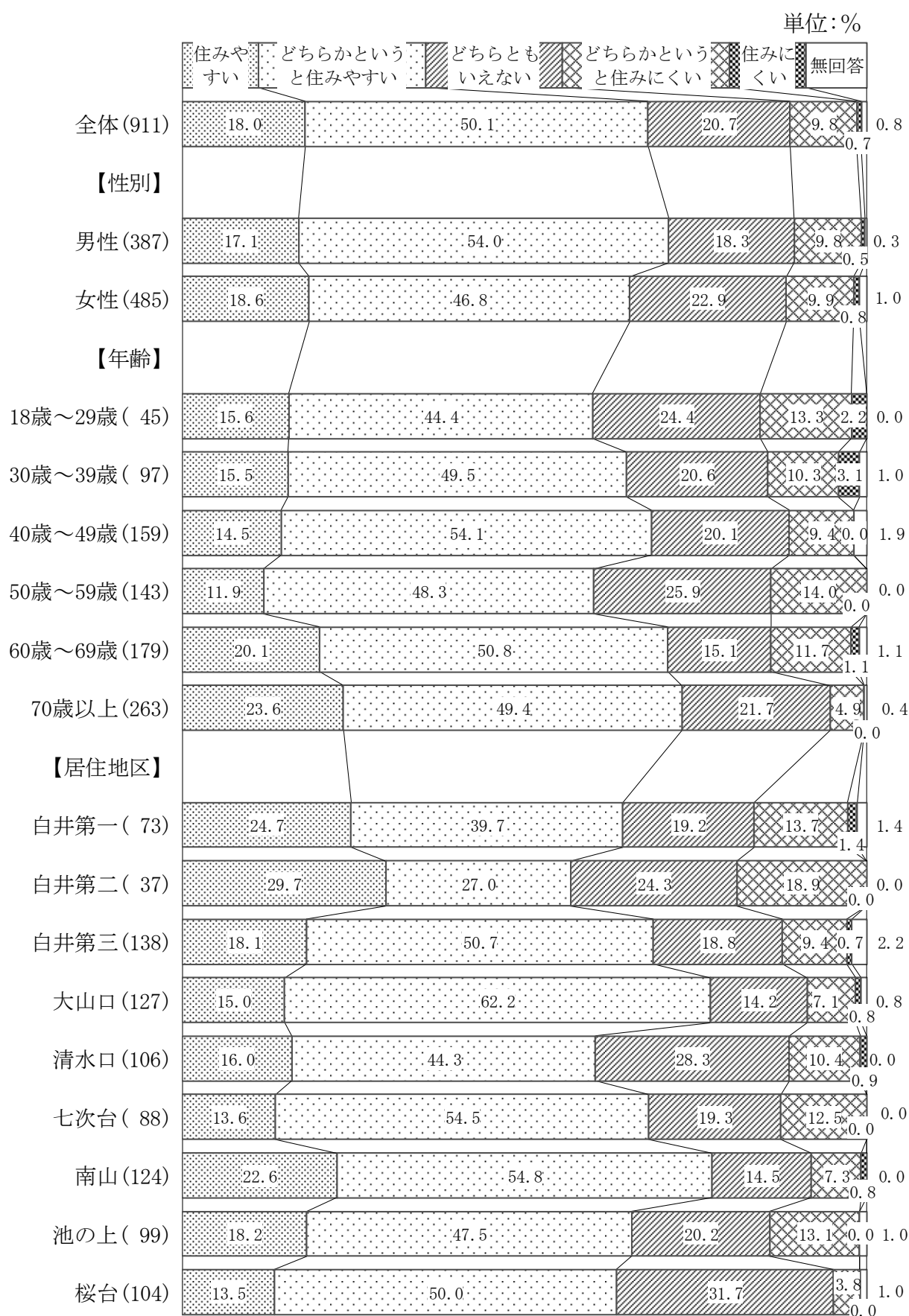
【属性別】

性別にみると、男性では「どちらかというに住みやすい」が女性より7ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、60歳代以上では、白井市に住みやすさを感じている人は7割以上と高くなっています。一方で、10歳代・20歳代、50歳代では、白井市に住みにくさを感じている人は1割台半ばと高くなっています。

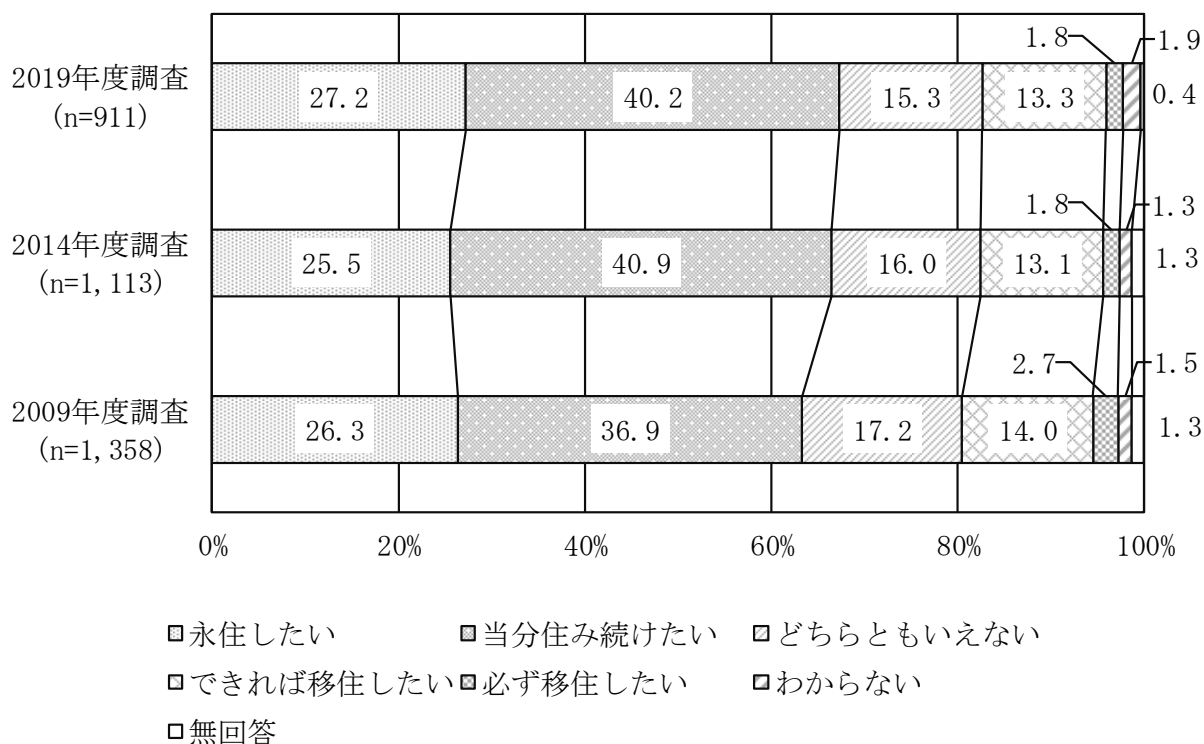
居住地区別にみると、大山口小学校区、南山小学校区では、白井市に住みやすさを感じている人は7割以上と高くなっています。

一方、白井第一小学校区、白井第二小学校区では、白井市に住みにくさを感じている人は1割台半ばを超え高くなっています。



(3) 定住意向

【問3】あなたは、これからずっと白井市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に移住したいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



定住意向については、「永住したい」(27.2%)と「当分住み続けたい」(40.2%)を合わせた、白井市に住み続けたいと思っている人は、7割弱となっています。

一方、「必ず移住したい」(1.8%)と「できれば移住したい」(13.3%)を合わせた、移住したいと思っている人は、1割台半ばとなっています。

【過去調査との比較】

前回調査に比べ、「永住したい」は1.7ポイント増加している一方で、「当分住み続けたい」は0.7ポイント減少しており、白井市に住み続けたいと思っている人は1.0ポイント増加しています。

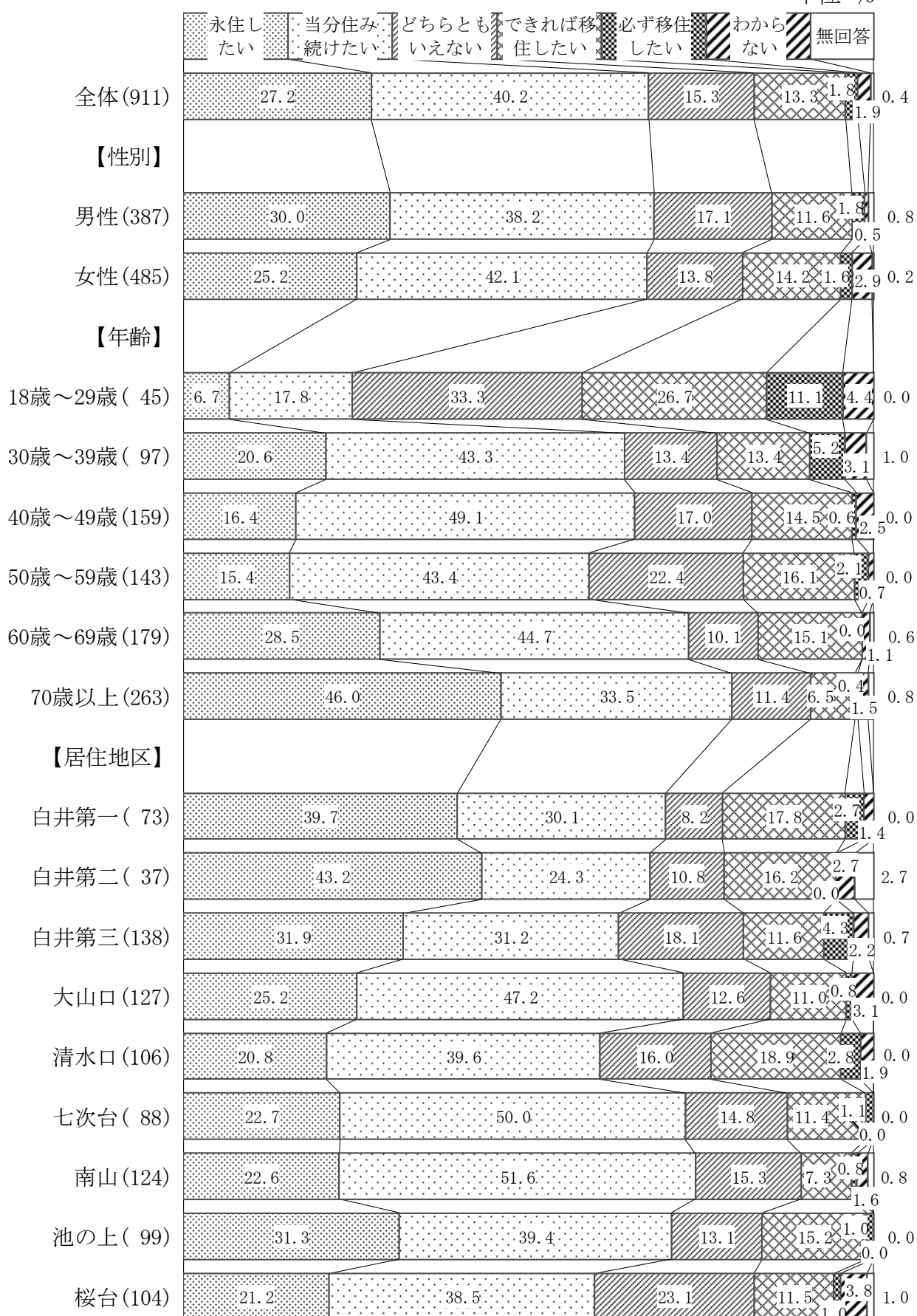
【属性別】

性別にみると、「永住したい」は男性が女性より5ポイント弱高くなっています。

年齢別にみると、白井市に住み続けたいと思っている人は、高年齢層ほど高い傾向にあります。

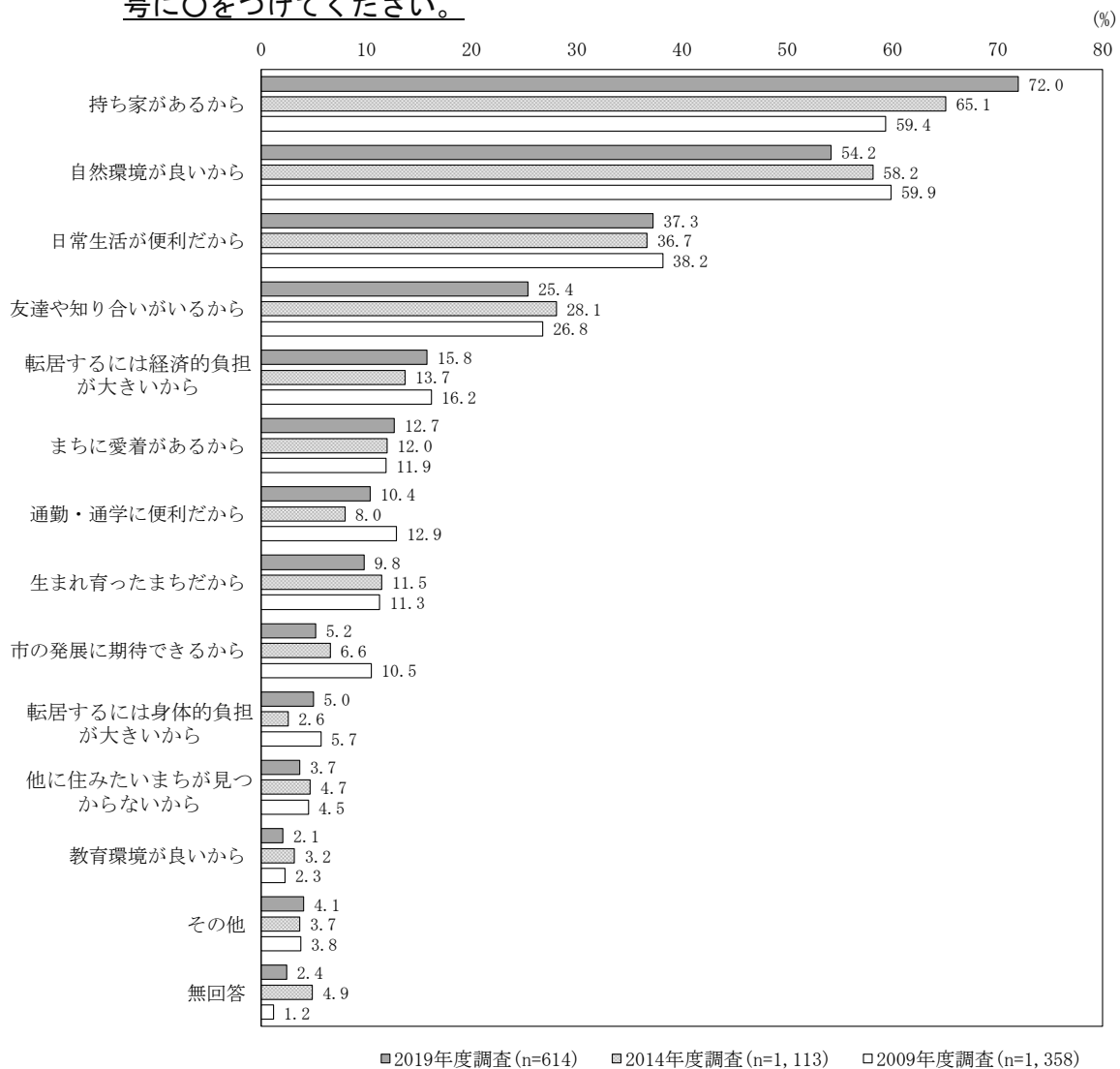
居住地区別にみると、大山口小学校区、七次台小学校区、南山小学校区、池の上小学校区では、白井市に住み続けたいと思っている人は7割を超えて高くなっていますが、桜台小学校区では6割未満と比較的低くなっています。

単位：％



（４）住み続けたい理由

【問３－１】あなたが、白井市に住み続けたいと思う理由は何ですか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



住み続けたい理由としては、「持ち家があるから」（72.0%）が7割を超えて最も高くなっています。次いで「自然環境が良いから」（54.2%）、「日常生活が便利だから」（37.3%）となっています。

【過去調査との比較】

住み続けたい理由は、前回調査と同様に「持ち家があるから」、「自然環境が良いから」、「日常生活が便利だから」が上位3位を占めています。

「持ち家があるから」は前々回調査から一貫して増加傾向にある一方で、2番目に高い「自然環境が良いから」は前々回調査から一貫して減少傾向にあります。

【属性別】

性別にみると、男性では「自然環境が良いから」が女性よりも9ポイント弱高く、女性では

「友達や知り合いがいるから」が男性よりも15ポイント以上高くなっています。

年性別にみると、60歳代以上では「自然環境が良いから」が他の年齢層と比べて高くなっています。

居住地区別にみると、白井第二小学校区、南山小学校区では、「自然環境が良いから」が最も高くなっています。

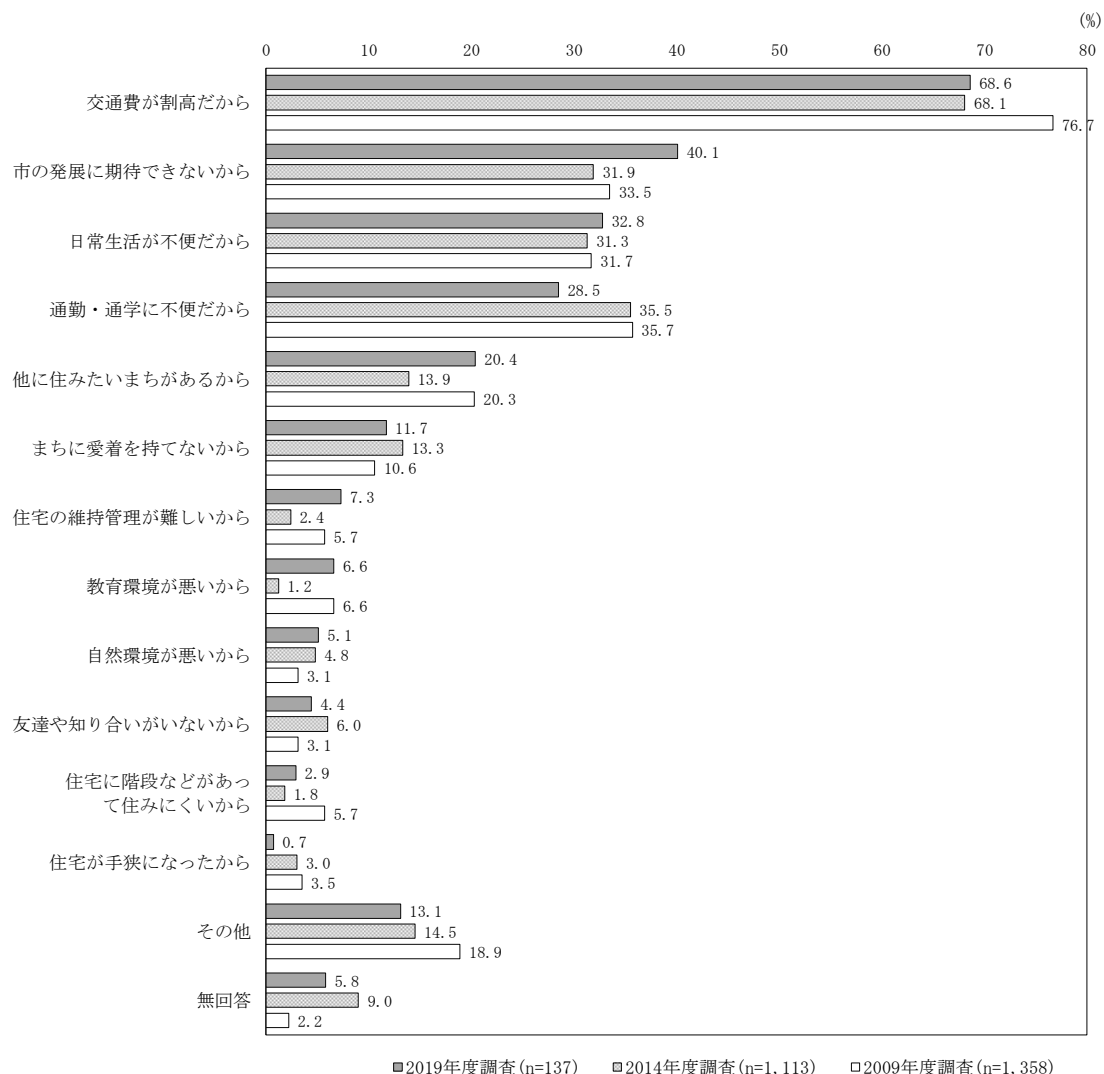
【問3-1】住みたい理由 【3つまでの複数回答】

		全体	日常生活が便利だから	通勤・通学に便利だから	自然環境が良いから	教育環境が良いから	市の発展に期待できるから	友達や知り合いがいるから	まちに愛着があるから	生まれ育ったまちだから	持ち家があるから	他に住みたいまちが見つからないから	転居するには経済的負担が大きいから	転居するには身体的負担が大きいから	その他	無回答
単位		(%)														
全体		614	37.3	10.4	54.2	2.1	5.2	25.4	12.7	9.8	72.0	3.7	15.8	5.0	4.1	2.4
性別	男性	264	38.3	9.5	59.1	1.9	6.8	16.7	17.0	9.8	73.9	4.9	16.3	3.0	4.9	2.3
	女性	326	36.5	10.7	50.3	2.5	4.3	31.9	9.5	9.8	70.6	2.8	15.3	6.7	3.4	2.8
	無回答	24	37.5	16.7	54.2	-	-	33.3	8.3	8.3	70.8	4.2	16.7	4.2	4.2	-
年齢	18歳～29歳	11	36.4	-	36.4	-	-	36.4	54.5	54.5	36.4	-	9.1	-	-	-
	30歳～39歳	62	29.0	17.7	51.6	9.7	6.5	22.6	8.1	14.5	64.5	-	14.5	-	3.2	6.5
	40歳～49歳	104	29.8	18.3	42.3	4.8	1.0	25.0	15.4	12.5	74.0	2.9	15.4	2.9	3.8	2.9
	50歳～59歳	84	39.3	21.4	47.6	-	4.8	20.2	10.7	7.1	70.2	6.0	21.4	3.6	2.4	-
	60歳～69歳	131	42.7	6.1	61.8	0.8	5.3	23.7	9.2	7.6	72.5	4.6	19.1	3.1	3.8	2.3
	70歳以上	209	38.8	3.3	59.3	0.5	7.7	28.2	14.4	7.2	76.1	4.3	12.0	9.6	5.3	2.4
	無回答	13	46.2	7.7	61.5	-	-	38.5	-	7.7	61.5	-	23.1	7.7	7.7	-
居住地区（小学校区）	白井第一	51	25.5	5.9	39.2	-	3.9	23.5	19.6	35.3	60.8	5.9	9.8	3.9	3.9	5.9
	白井第二	25	8.0	4.0	68.0	-	8.0	44.0	24.0	48.0	60.0	-	12.0	-	-	-
	白井第三	87	46.0	9.2	37.9	-	4.6	36.8	16.1	6.9	82.8	2.3	17.2	4.6	2.3	3.4
	大山口	92	37.0	13.0	56.5	3.3	2.2	25.0	13.0	5.4	83.7	3.3	16.3	5.4	6.5	1.1
	清水口	64	31.3	12.5	57.8	-	7.8	31.3	10.9	1.6	71.9	1.6	18.8	6.3	1.6	4.7
	七次台	64	28.1	10.9	62.5	3.1	6.3	14.1	10.9	6.3	79.7	6.3	12.5	1.6	1.6	-
	南山	92	42.4	15.2	62.0	3.3	8.7	21.7	8.7	5.4	55.4	2.2	15.2	7.6	3.3	3.3
	池の上	70	35.7	10.0	55.7	1.4	7.1	21.4	10.0	5.7	70.0	7.1	15.7	8.6	10.0	2.9
	桜台	62	56.5	6.5	56.5	6.5	-	21.0	8.1	6.5	72.6	3.2	21.0	1.6	3.2	-
	無回答	7	42.9	-	42.9	-	-	14.3	28.6	14.3	71.4	14.3	14.3	14.3	14.3	-

下線：第1位

（５）移住したい理由

【問３－２】あなたが、白井市から市外に移住したい理由は何ですか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



移住したい理由としては、「交通費が割高だから」（68.6%）が7割弱と最も高くなっています。次いで「市の発展に期待できないから」（40.1%）、「日常生活が不便だから」（32.8%）となっています。

【過去調査との比較】

「交通費が割高だから」では、前々回調査と比べると減少していますが、依然として高い傾向にあります。「市の発展に期待できないから」は前回調査と比べて8ポイント強増加しています。

【属性別】

性別にみると、男女ともに「交通費が割高だから」が最も高く、次いで、男性では「市の発展に期待できないから」、「日常生活が不便だから」の順に、女性では「市の発展に期待できないから」と「通勤・通学に不便だから」が同じ割合で高くなっています。

【問3-2】移住したい理由 【3つまでの複数回答】

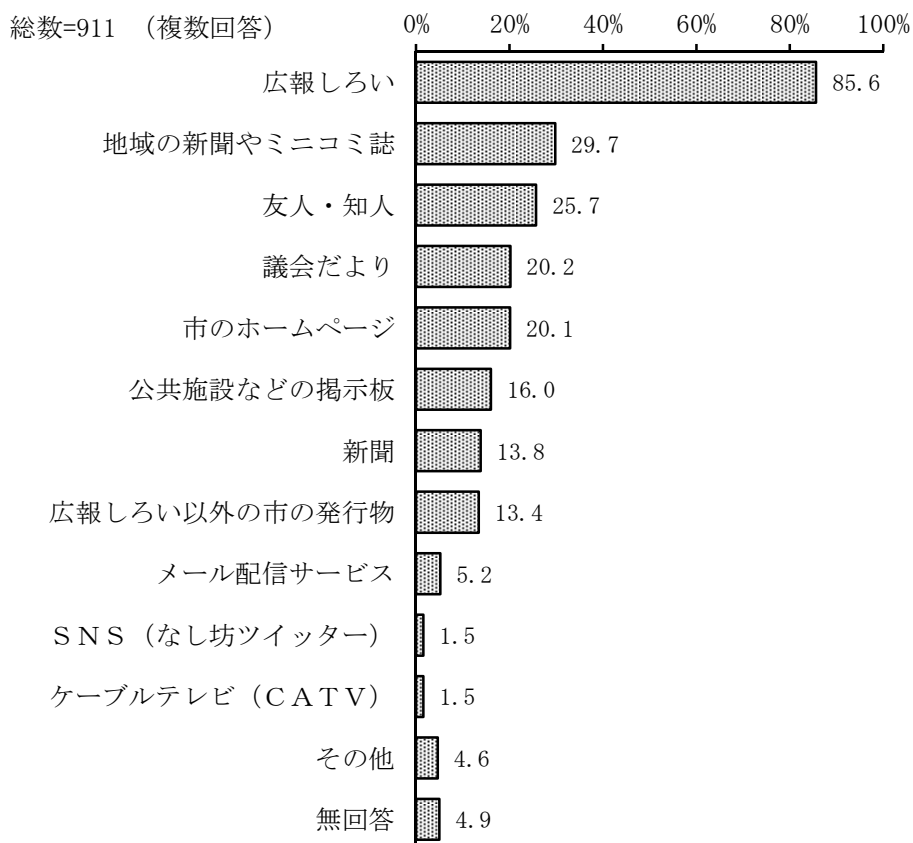
		全体	日常生活が不便だから	通勤・通学に不便だから	交通費が割高だから	自然環境が悪いから	教育環境が悪いから	市の発展に期待できないから	友達や知り合いがいないから	まちに愛着を持ってないから	他に住みたいまちがあるから	住宅が手狭になったから	住宅の維持管理が難しいから	住宅に段差などがあるため住みにくいから	その他	無回答
単位		(%)														
全体		137	32.8	28.5	68.6	5.1	6.6	40.1	4.4	11.7	20.4	0.7	7.3	2.9	13.1	5.8
性別	男性	52	32.8	28.5	68.6	5.1	6.6	40.1	4.4	11.7	20.4	0.7	7.3	2.9	11.5	5.8
	女性	77	25.0	34.6	73.1	3.8	7.7	34.6	3.8	19.2	17.3	1.9	9.6	3.8	14.3	6.5
	無回答	8	37.7	24.7	67.5	3.9	6.5	42.9	3.9	7.8	19.5	-	6.5	1.3	12.5	-
年齢	18歳～29歳	17	37.5	25.0	50.0	25.0	-	50.0	12.5	-	50.0	-	-	12.5	11.8	5.9
	30歳～39歳	18	17.6	29.4	82.4	11.8	-	17.6	-	-	23.5	-	-	-	11.1	5.6
	40歳～49歳	24	38.9	44.4	61.1	-	11.1	38.9	5.6	11.1	16.7	-	-	5.6	25.0	8.3
	50歳～59歳	26	41.7	29.2	58.3	-	8.3	41.7	-	16.7	12.5	4.2	12.5	-	3.8	-
	60歳～69歳	27	30.8	38.5	73.1	3.8	7.7	50.0	3.8	15.4	30.8	-	3.8	-	7.4	11.1
	70歳以上	18	25.9	25.9	63.0	7.4	7.4	44.4	11.1	18.5	7.4	-	18.5	3.7	22.2	5.6
	無回答	7	44.4	11.1	77.8	-	-	38.9	-	5.6	27.8	-	5.6	11.1	14.3	-
居住地区（小学校区）	白井第一	15	28.6	-	71.4	28.6	14.3	42.9	14.3	-	42.9	-	-	-	13.3	6.7
	白井第二	6	60.0	26.7	53.3	13.3	-	26.7	6.7	-	20.0	-	20.0	-	16.7	-
	白井第三	22	50.0	66.7	50.0	16.7	-	16.7	-	-	16.7	-	33.3	-	18.2	9.1
	大山口	15	31.8	36.4	40.9	4.5	4.5	54.5	-	22.7	31.8	-	-	-	13.3	6.7
	清水口	23	20.0	26.7	73.3	6.7	6.7	26.7	-	6.7	26.7	6.7	6.7	-	4.3	13.0
	七次台	11	34.8	17.4	78.3	-	8.7	47.8	4.3	4.3	21.7	-	4.3	13.0	36.4	-
	南山	10	54.5	54.5	90.9	-	9.1	18.2	9.1	-	-	-	9.1	-	20.0	10.0
	池の上	16	20.0	10.0	90.0	10.0	-	50.0	-	10.0	20.0	-	-	10.0	6.3	-
	桜台	13	25.0	12.5	93.8	-	12.5	50.0	6.3	18.8	-	-	-	-	7.7	-
	無回答	6	33.3	33.3	66.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-	33.3	-	-	-	-	-

下線：第1位

3 市政について

(1) 市の情報の入手先

【問4】あなたは、市の情報をどこから入手していますか。次の中から該当するもの全て選んで番号に○をつけてください。



市の情報の入手先については、「広報しろい」(85.6%)が8割台半ばと最も高くなっています。次いで、「地域の新聞やミニコミ誌」(29.7%)、「友人・知人」(25.7%)、「議会だより」(20.2%)、「市のホームページ」(20.1%)となっています。

【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、全ての年齢層で「広報しろい」が最も高くなっています。50歳代以上では「地域の新聞やミニコミ誌」、「議会だより」、「新聞」といった紙媒体で発行している項目が高い傾向にあり、30歳代、40歳代では「市のホームページ」が高くなっています。

居住地区別にみると、全ての小学校区で「広報しろい」が最も高くなっています。その他、桜台小学校区では「地域の新聞やミニコミ誌」、清水口小学校区では「公共施設などの掲示板」が他の小学校区と比べて高くなっています。

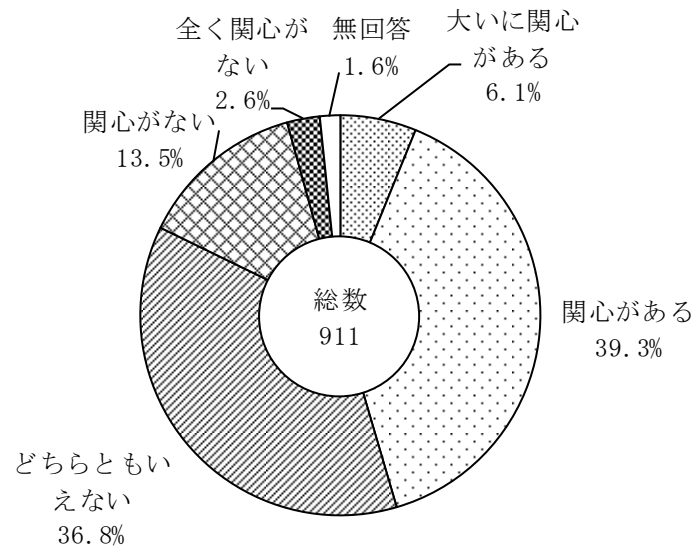
【問４】市の情報の入手先 【複数回答】

		全体	広報しろい	広報しろい以外の市の発行物	議会だより	新聞	地域の新聞やミニコミ誌	公共施設などの掲示板	市のホームページ	メール配信サービス	S N S（なし坊ツイッター）	ケーブルテレビ（CATV）	友人・知人	その他	無回答
	単位		（％）												
	全体	911	85.6	13.4	20.2	13.8	29.7	16.0	20.1	5.2	1.5	1.5	25.7	4.6	4.9
性別	男性	387	82.9	12.1	22.0	17.1	29.5	15.5	22.7	3.6	1.8	1.6	22.2	4.4	5.9
	女性	485	88.0	14.8	19.2	11.5	30.3	16.5	18.4	6.6	1.4	1.6	29.7	4.7	3.7
	無回答	39	82.1	7.7	15.4	10.3	25.6	15.4	15.4	2.6	－	－	10.3	5.1	10.3
年齢	18歳～29歳	45	44.4	2.2	2.2	11.1	20.0	15.6	17.8	4.4	8.9	2.2	22.2	17.8	6.7
	30歳～39歳	97	76.3	11.3	6.2	5.2	17.5	16.5	26.8	9.3	5.2	－	25.8	5.2	3.1
	40歳～49歳	159	86.2	3.8	9.4	4.4	17.6	13.8	33.3	11.3	0.6	1.3	28.3	5.0	5.7
	50歳～59歳	143	87.4	11.9	24.5	12.6	32.9	8.4	20.3	3.5	2.1	1.4	17.5	6.3	3.5
	60歳～69歳	179	92.7	19.0	22.3	17.9	39.1	21.8	16.8	2.2	－	2.2	27.9	4.5	2.2
	70歳以上	263	90.9	19.4	31.9	21.3	36.1	17.1	12.9	3.0	0.4	1.9	29.3	1.1	6.8
	無回答	25	76.0	8.0	12.0	12.0	20.0	20.0	12.0	4.0	－	－	8.0	4.0	12.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	83.6	9.6	24.7	16.4	17.8	11.0	16.4	1.4	2.7	－	27.4	1.4	2.7
	白井第二	37	81.1	18.9	10.8	5.4	18.9	10.8	10.8	2.7	－	－	29.7	8.1	8.1
	白井第三	138	86.2	11.6	23.9	15.9	26.1	15.2	21.7	5.8	1.4	0.7	27.5	6.5	4.3
	大山口	127	87.4	14.2	20.5	14.2	30.7	18.1	24.4	10.2	3.1	0.8	26.0	4.7	3.9
	清水口	106	82.1	9.4	22.6	16.0	32.1	20.8	17.9	2.8	－	1.9	31.1	5.7	4.7
	七次台	88	88.6	11.4	15.9	6.8	34.1	14.8	23.9	3.4	3.4	1.1	23.9	8.0	4.5
	南山	124	85.5	13.7	21.0	18.5	32.3	16.1	21.8	6.5	0.8	－	22.6	3.2	6.5
	池の上	99	92.9	17.2	21.2	15.2	28.3	14.1	20.2	5.1	2.0	4.0	28.3	3.0	4.0
	桜台	104	82.7	15.4	16.3	7.7	38.5	18.3	14.4	2.9	－	4.8	19.2	1.9	5.8
	無回答	15	66.7	26.7	6.7	20.0	26.7	13.3	26.7	13.3	－	－	13.3	6.7	13.3

下線：第1位

（２）市政への関心

【問５】あなたは、市政にどの程度関心を持っていますか。次の中から１つ選んで番号に○をつけてください。



市政への関心については、「大いに関心がある」（6.1％）と「関心がある」（39.3％）を合わせた、市政に関心を持っている人は、４割台半ばとなっています。一方、「関心がない」（13.5％）と「全く関心がない」（2.6％）を合わせた、市政に関心を持っていない人は、１割台半ばとなっています。

【属性別】

性別にみると、男性では、市政に関心を持っている人、市政に関心を持っていない人ともに女性よりも高くなっています。女性は、「どちらともいえない」が男性よりも17ポイント強高くなっています。

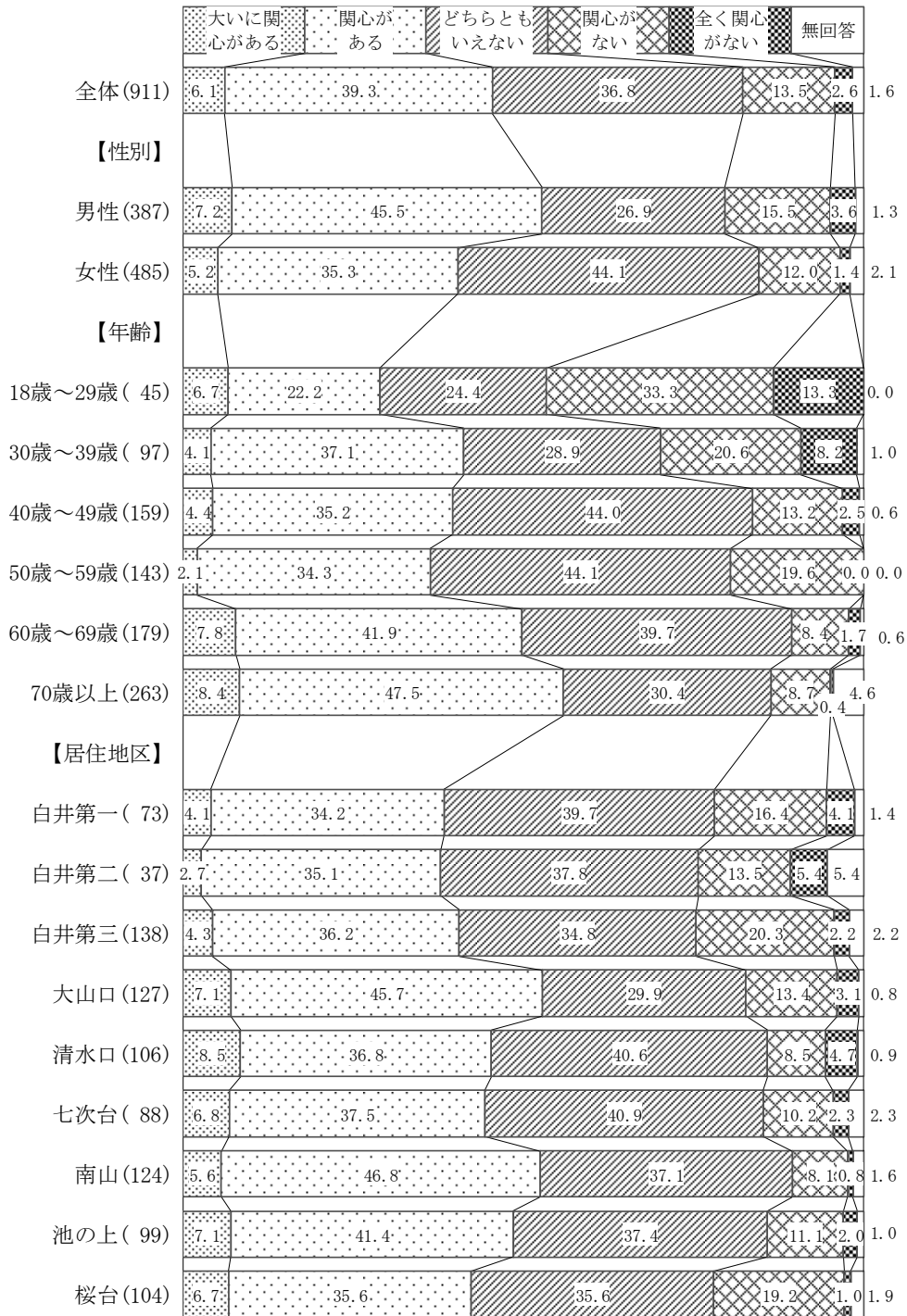
年齢別にみると、10歳代・20歳代では、市政に関心を持っていない人が市政に関心を持っている人を上回っています。それ以外の年齢層では、市政に関心を持っている人が市政に関心を持っていない人を上回っています。

居住地区別にみると、大山口小学校区と南山小学校区では市政に関心を持っている人が5割以上と他の小学校区と比べて高くなっています。

【設問別】

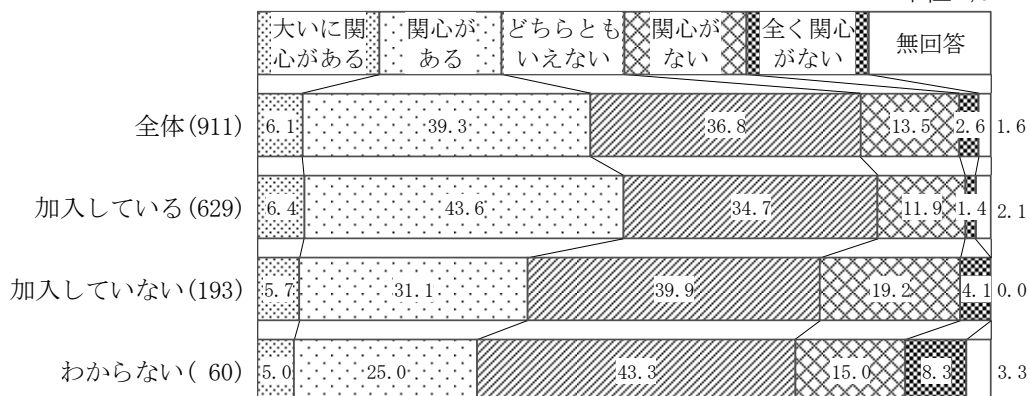
自治会への加入状況別にみると、市政に関心を持っている人は、「加入している」では50.0％と「加入していない」の36.8％を13.2ポイント上回っています。また、「わからない」では30.0％と「加入していない」をさらに下回っています。

単位：％



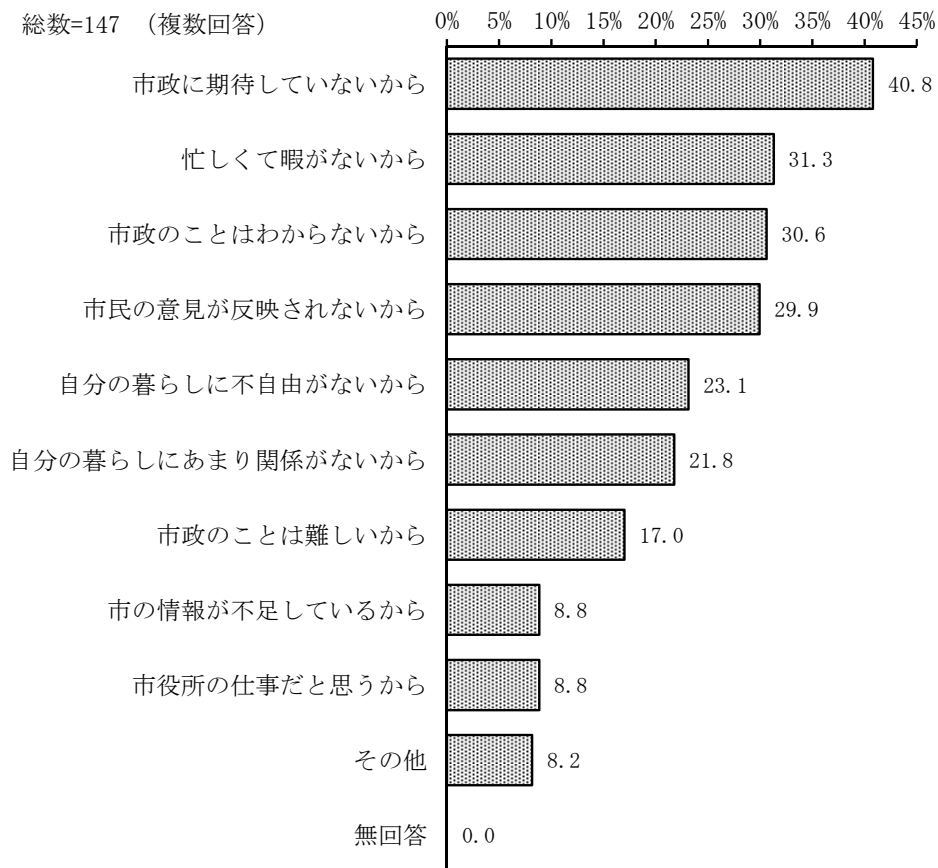
【問 24 自治会（区・町会を含む）への加入状況とのクロス集計】

単位：％



（３）市政に関心がない理由

【問５－１】あなたが、市政に関心がない理由は何ですか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



市政に関心がない理由については、「市政に期待していないから」（40.8％）が最も高くなっています。次いで「忙しくて暇がないから」（31.3％）、「市政のことはわからないから」（30.6％）、「市民の意見が反映されないから」（29.9％）となっています。

【属性別】

性別にみると、男性では「市政に期待していないから」、「忙しくて暇がないから」の順に高く、女性では「市政のことはわからないから」、「市政に期待していないから」の順に高くなっています。

【問5-1】 市政に関心がない理由 【3つまでの複数回答】

		全体	自分の暮らしにあまり関係がないから	自分の暮らしに不自由がないから	忙しくて暇がないから	市の情報が不足しているから	市民の意見が反映されないから	市役所の仕事だと思うから	市政のことは難しいから	市政に期待していないから	市政のことはわからないから	その他	無回答
単位		(%)											
全体		147	21.8	23.1	31.3	8.8	29.9	8.8	17.0	40.8	30.6	8.2	-
性別	男性	74	27.0	24.3	33.8	12.2	28.4	9.5	9.5	47.3	20.3	12.2	-
	女性	65	12.3	23.1	30.8	4.6	29.2	7.7	24.6	35.4	43.1	4.6	-
	無回答	8	50.0	12.5	12.5	12.5	50.0	12.5	25.0	25.0	25.0	-	-
年齢	18歳～29歳	21	19.0	28.6	38.1	4.8	19.0	-	23.8	28.6	28.6	9.5	-
	30歳～39歳	28	21.4	17.9	28.6	-	25.0	3.6	32.1	42.9	39.3	7.1	-
	40歳～49歳	25	16.0	16.0	40.0	8.0	36.0	-	8.0	48.0	40.0	-	-
	50歳～59歳	28	7.1	28.6	32.1	14.3	39.3	14.3	7.1	28.6	28.6	10.7	-
	60歳～69歳	18	27.8	22.2	38.9	11.1	33.3	22.2	11.1	61.1	22.2	11.1	-
	70歳以上	24	37.5	29.2	16.7	12.5	25.0	12.5	20.8	45.8	25.0	12.5	-
	無回答	3	66.7	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
居住地区（小学校区）	白井第一	15	20.0	20.0	46.7	13.3	33.3	6.7	13.3	40.0	33.3	6.7	-
	白井第二	7	28.6	42.9	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	42.9	14.3	-	-
	白井第三	31	12.9	22.6	32.3	-	19.4	12.9	19.4	35.5	38.7	12.9	-
	大山口	21	28.6	19.0	19.0	9.5	28.6	-	28.6	47.6	38.1	-	-
	清水口	14	14.3	21.4	21.4	14.3	42.9	-	35.7	42.9	21.4	14.3	-
	七次台	11	27.3	27.3	36.4	9.1	27.3	18.2	-	45.5	9.1	18.2	-
	南山	11	18.2	27.3	45.5	9.1	27.3	27.3	-	27.3	45.5	9.1	-
	池の上	13	15.4	30.8	15.4	-	30.8	7.7	15.4	53.8	23.1	7.7	-
	桜台	21	33.3	14.3	42.9	4.8	38.1	-	14.3	42.9	33.3	4.8	-
	無回答	3	33.3	33.3	-	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-	-

下線：第1位

4 市の取組について

(1) 現在の満足度とこれからの重要度

【問6】次に示した市の取組について、あなたの現在の満足度はいかがですか。また、これからの重要度はどのようにお考えですか。58の取組の全てについて、満足度と重要度をそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

市で取り組んでいる主な施策 58 項目について、満足度・重要度を得点化し、CS グラフを作成することで、各施策の満足度と重要度の関係を明確にします。グラフは、平均点（満足度、重要度）の位置（-0.16、1.01）を原点として描きます。

◆**重点改善分野**・・・満足度：平均より低い 重要度：平均より高い

これまで以上の取組が必要とされている分野です。

◆**改善分野**・・・満足度：平均より低い 重要度：平均より低い

実施方法や予算、内容等を見直し、改善することが求められている分野です。

◆**重点維持分野**・・・満足度：平均より高い 重要度：平均より高い

今後もこの水準を保つことが望ましいので、現状維持で取り組むべき分野です。

◆**維持分野**・・・満足度：平均より高い 重要度：平均より低い

サービス水準の見直しの検討が必要と考えられる分野です。

※「満足度」と「重要度」の得点化の方法

選択肢の「満足（重要）」＝2点、「やや満足（やや重要）」＝1点、「やや不満（あまり重要でない）」＝－1点、「不満（重要ではない）」＝－2点として計算し、合計点を回答者数で割ることで、得点化します。

<グラフの見方>

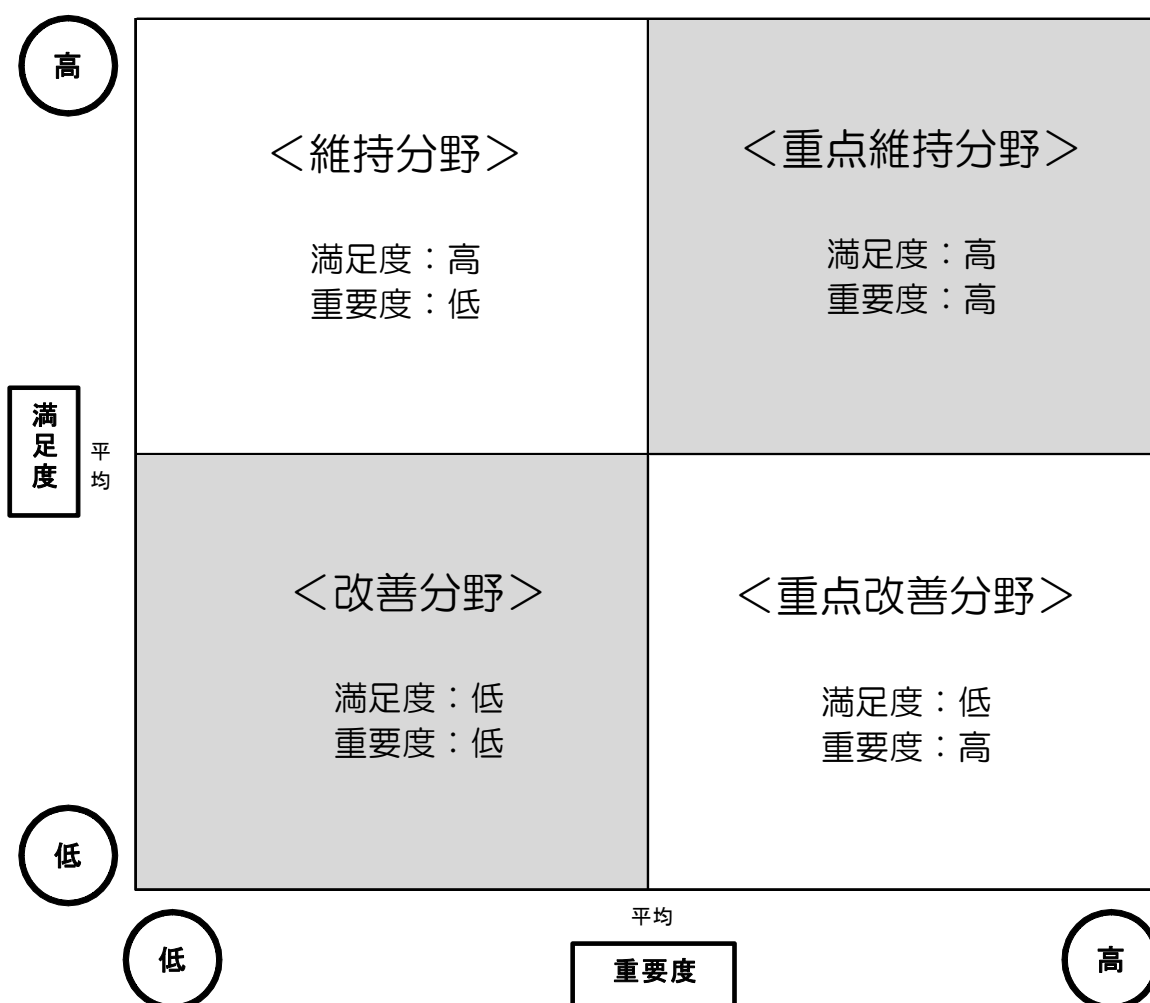
C S グラフとは、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、各施策項目の得点を座標で示したものです。満足度・重要度の平均点が交差する点を原点とし、原点を通る線により、各施策を4つの分野に分類しています。

例)

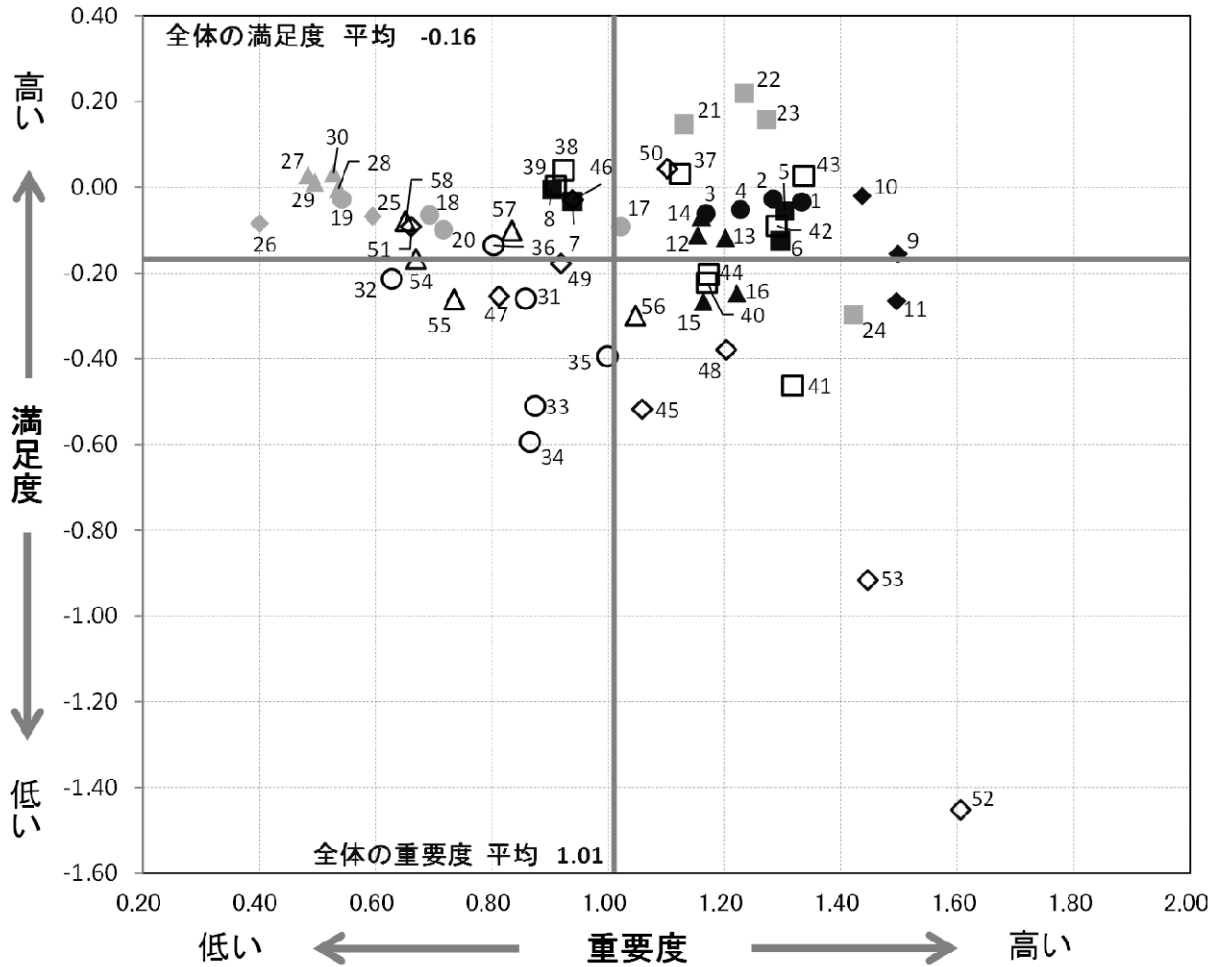
- ・満足度が平均より低い（下）
- ・重要度が平均より高い（右）



『重点改善分野』（右下）



満足度と重要度



子育て	●	1	子どもの医療費助成など子育て支援	産業振興	○	31	多様な形態の農業経営と担い手の支援
	●	2	保育園の整備など子育ての環境づくり		○	32	農業体験など農業・農村交流の推進
	●	3	障がい児への療育の支援		○	33	商店街や工業団地などの活性化の支援
	●	4	児童や青少年の健全育成		○	34	企業誘致の推進
教育	■	5	小・中学校での教育・指導内容	生活環境・自然環境	○	35	就労希望者への雇用対策
	■	6	学校施設の整備・安全対策		○	36	消費者被害の防止など消費者保護の推進
	■	7	地域の教育資源を活用した開かれた学校づくり		□	37	自然環境の保全
	■	8	小学校へのスムーズな就学のための幼児教育の推進		□	38	市民の森など自然とふれあう場の提供
防災・防犯	◆	9	地震・台風などに備えた防災対策	住環境・生活基盤	◇	45	計画的な土地利用・開発
	◆	10	火災に対する消防体制や緊急時の救急体制		◇	46	公園の整備
	◆	11	交通安全対策や防犯対策		◇	47	地域の特性を生かした景観づくり
	▲	12	障がい者への福祉サービス		◇	48	道路の整備
福祉	▲	13	高齢者への福祉サービス	市民参加・協働	△	54	人材育成など市民自治の仕組みづくり
	▲	14	高齢や福祉の相談窓口機能の充実		△	55	行政評価など効率的な行政運営の推進
	▲	15	バリアフリーの環境づくり		△	56	健全な財政運営の推進
	▲	16	独居高齢者の見守りなど地域福祉活動の支援		△	57	情報公開や広報・PR活動の取組
人権	●	17	差別、偏見、虐待などを防止する人権対策	市民参加・協働	△	58	市民参加・協働の取組
	●	18	男女共同参画社会づくり				
	●	19	国際交流など国際化の推進				
	●	20	平和意識の啓発や平和教育の推進				
健康・医療・保健	■	21	健康づくりの推進				
	■	22	乳幼児健診など母子の健康対策				
	■	23	がん検診など病気の予防対策				
	■	24	休日・夜間や緊急時の医療体制				
活動市民	◆	25	地区コミュニティの活性化の支援				
	◆	26	公益的市民活動団体などへの支援				
	▲	27	各センターでの講座開催など生涯学習活動の支援				
	▲	28	スポーツ活動の推進				
生涯学習	▲	29	文化・芸術活動の推進				
	▲	30	歴史・文化財の保存と活用				

分野別施策一覧

満足度	＜維持分野＞ 7 地域の教育資源を活用した開かれた学校づくり 8 小学校へのスムーズな就学のための幼児教育の推進 18 男女共同参画社会づくり 19 国際交流など国際化の推進 20 平和意識の啓発や平和教育の推進 25 地区コミュニティの活性化の支援 26 公益的市民活動団体などへの支援 27 各センターでの講座開催など生涯学習活動の支援 28 スポーツ活動の推進 29 文化・芸術活動の推進 30 歴史・文化財の保存と活用 38 市民の森など自然とふれあう場の提供 39 環境学習や環境美化活動の推進 46 公園の整備 51 斎場や墓園の整備 57 情報公開や広報・PR活動の取組 58 市民参加・協働の取組	＜重点維持分野＞ 1 子どもの医療費助成など子育て支援 2 保育園の整備など子育ての環境づくり 3 障がい児への療育の支援 4 児童や青少年の健全育成 5 小・中学校での教育・指導内容 6 学校施設の整備・安全対策 9 地震・台風などに備えた防災対策 10 火災に対する消防体制や緊急時の救急体制 12 障がい者への福祉サービス 13 高齢者への福祉サービス 14 保健や福祉の相談窓口機能の充実 17 差別、偏見、虐待などを防止する人権対策 21 健康づくりの推進 22 乳幼児健診など母子の健康対策 23 がん検診など病気の予防対策 37 自然環境の保全 42 ゴミの減量とリサイクルの推進 43 ゴミの収集と処理の推進 50 上・下水道の整備
	＜改善分野＞ 31 多様な形態の農業経営と担い手の支援 32 農業体験など農業・農村交流の推進 33 商店街や工業団地などの活性化の支援 34 企業誘致の推進 35 就労希望者への雇用対策 36 消費者被害の防止など消費者保護の推進 47 地域の特性を生かした景観づくり 49 橋梁や河川の整備 54 人材育成など市民自治の仕組みづくり 55 行政評価など効率的な行政運営の推進	＜重点改善分野＞ 11 交通安全対策や防犯対策 15 バリアフリーの環境づくり 16 独居高齢者の見守りなど地域福祉活動の支援 24 休日・夜間や緊急時の医療体制 40 騒音・振動・悪臭などの公害対策 41 不法投棄防止対策 44 地球温暖化防止対策 45 計画的な土地利用・開発 48 道路の整備 52 鉄道の運賃問題対策 53 路線バスや循環バスの利便性向上の取組 56 健全な財政運営の推進

平均

重要度

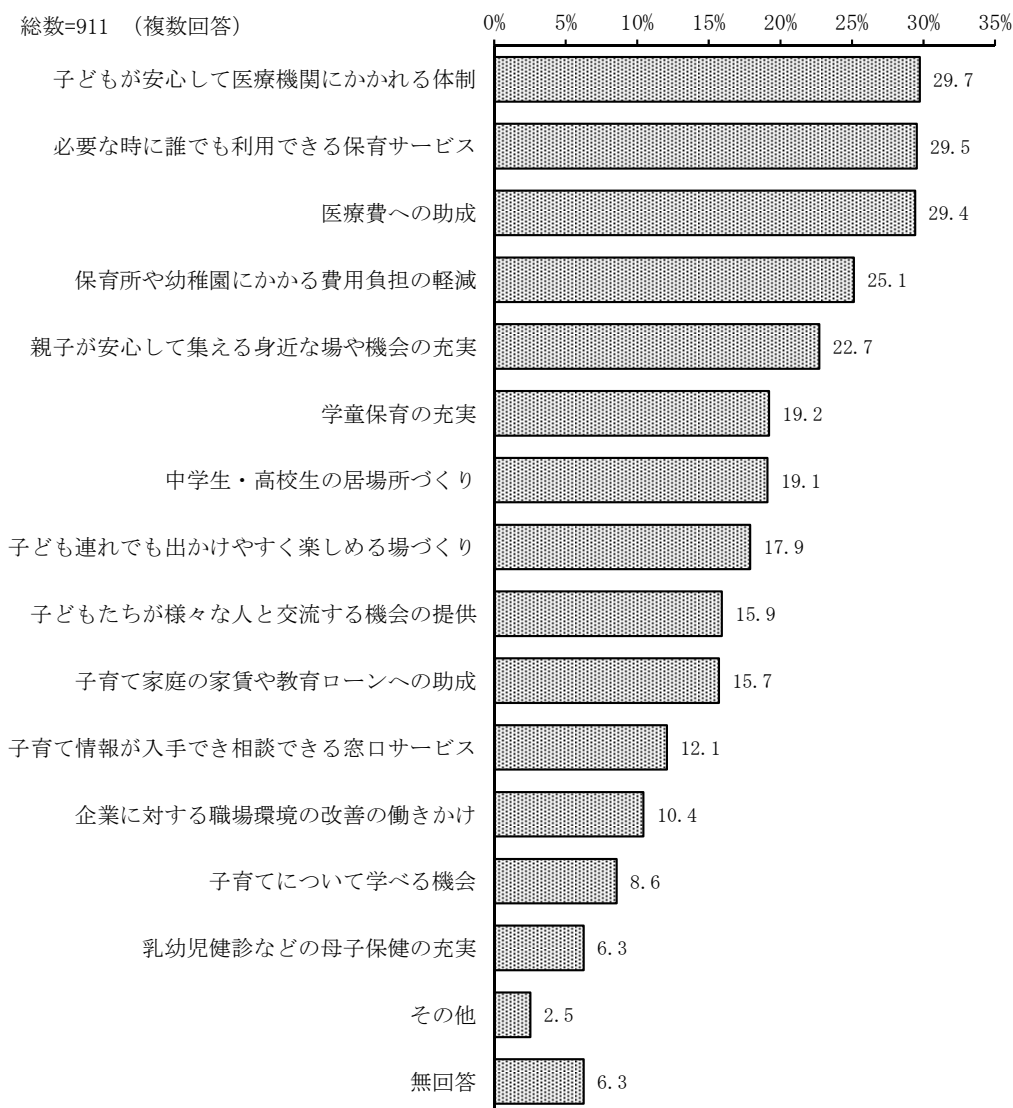
重点改善分野の施策が 12、改善分野の施策が 10、重点維持分野の施策が 19、維持分野の施策が 17 となっています。

重点改善分野について、前回調査時と比べると、該当する施策の数は 13 から 12 へと 1 つ減少しています。内訳は、新たに「44. 地球温暖化防止対策」が重点維持分野から重点改善分野に追加された一方、「9. 地震・台風などに備えた防災対策」が重点維持分野に、「35. 就労希望者への雇用対策」が改善分野に分類され、その他 11 の施策は引き続き重点改善分野に分類されています。

5 子育て支援について

(1) 充実していくべき子育て支援施策

【問7】あなたは、市の子育て支援施策として、どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。



市が充実していくべき子育て支援施策については、「子どもが安心して医療機関にかかれる体制」(29.7%)、「必要な時に誰でも利用できる保育サービス」(29.5%)、「医療費への助成」(29.4%)が約3割と高くなっています。

【属性別】

性別にみると、男性では「保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減」が、女性では「必要な時に誰でも利用できる保育サービス」が最も高くなっています。

年齢別にみると、子育て世代である 30 歳代、40 歳代では、「子どもが安心して医療機関にかかれる体制」、「医療費への助成」が高くなっています。また、10 歳代・20 歳代では「必要な時に誰でも利用できる保育サービス」、「保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減」が最も高くなっています。

居住地区別にみると、清水口小学校区と南山小学校区では「必要な時に誰でも利用できる保育サービス」、白井第二小学校区、白井第三小学校区、池の上小学校区では「医療費への助成」が最も高くなっています。

【問7】充実していくべき子育て支援施策

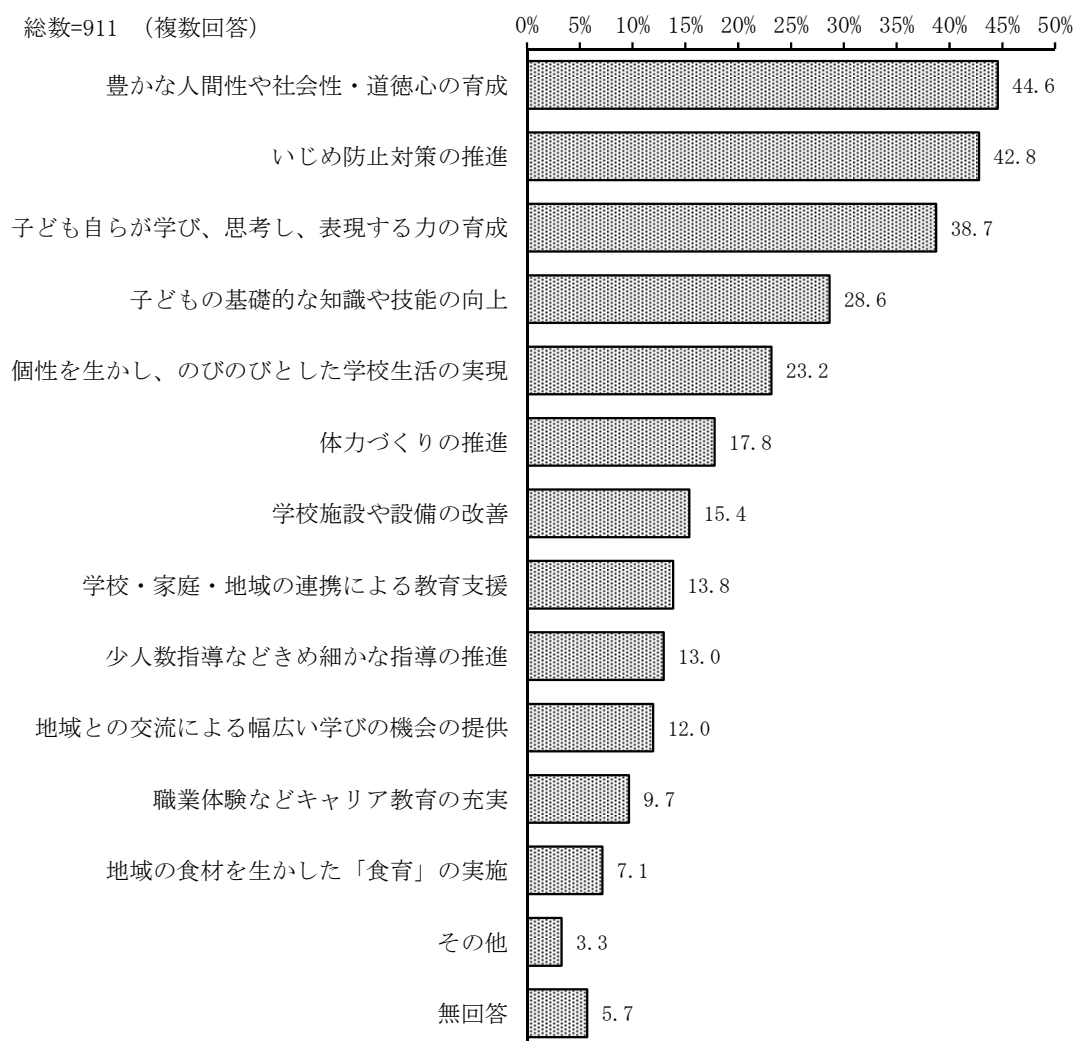
【3つまでの複数回答】

		全体	親子が安心して集える身近な場や機会の充実	子ども連れでも出かけやすく楽しめる場づくり	子どもたちが様々な人と交流する機会の提供	中学生・高校生の居場所づくり	必要な時に誰でも利用できる保育サービス	子育て情報が入手でき相談できる窓口サービス	保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減	子どもが安心して医療機関にかかれる体制	子育てについて学べる機会	医療費への助成	乳幼児健診などの母子保健の充実	子育て家庭の家賃や教育ローンへの助成	学童保育の充実	企業に対する職場環境の改善の働きかけ	その他	無回答
	単位		(%)															
	全体	911	22.7	17.9	15.9	19.1	29.5	12.1	25.1	29.7	8.6	29.4	6.3	15.7	19.2	10.4	2.5	6.3
性別	男性	387	24.5	17.8	15.8	18.6	25.6	9.6	33.6	32.0	8.8	32.0	5.9	20.2	17.3	9.0	2.3	4.1
	女性	485	21.4	18.4	16.1	19.2	32.6	14.2	18.8	28.2	8.7	27.2	6.4	12.4	20.8	11.5	2.9	7.4
	無回答	39	20.5	12.8	15.4	23.1	30.8	10.3	20.5	25.6	5.1	30.8	7.7	12.8	17.9	10.3	-	12.8
年齢	18歳～29歳	45	20.0	24.4	4.4	24.4	42.2	13.3	42.2	20.0	15.6	20.0	8.9	22.2	6.7	13.3	-	4.4
	30歳～39歳	97	18.6	29.9	14.4	17.5	27.8	4.1	33.0	37.1	7.2	34.0	8.2	16.5	17.5	8.2	4.1	3.1
	40歳～49歳	159	17.0	16.4	17.6	18.9	32.7	6.3	18.2	38.4	5.0	43.4	4.4	22.0	20.1	11.3	2.5	2.5
	50歳～59歳	143	19.6	17.5	15.4	18.9	28.7	11.9	31.5	25.2	7.0	35.0	7.0	19.6	14.7	10.5	2.1	2.8
	60歳～69歳	179	22.3	13.4	19.6	17.3	31.3	16.8	21.2	30.2	11.2	26.8	6.1	11.7	22.9	14.0	3.4	3.9
	70歳以上	263	30.0	16.0	16.0	20.2	26.2	15.2	23.2	26.2	9.9	19.0	6.1	11.8	21.7	7.6	1.9	12.5
	無回答	25	24.0	24.0	8.0	20.0	20.0	12.0	20.0	24.0	-	36.0	4.0	8.0	16.0	12.0	4.0	16.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	16.4	21.9	16.4	16.4	26.0	11.0	23.3	26.0	17.8	24.7	11.0	17.8	21.9	8.2	2.7	6.8
	白井第二	37	24.3	21.6	13.5	13.5	21.6	13.5	24.3	24.3	5.4	32.4	-	16.2	21.6	10.8	2.7	10.8
	白井第三	138	21.0	15.9	9.4	23.2	21.0	8.0	29.0	26.8	9.4	31.2	4.3	21.7	15.9	10.1	2.2	10.1
	大山口	127	26.0	18.1	18.1	16.5	33.1	11.8	24.4	34.6	6.3	32.3	7.1	11.8	22.0	10.2	3.1	3.9
	清水口	106	23.6	18.9	21.7	18.9	34.9	15.1	29.2	29.2	6.6	23.6	6.6	12.3	17.9	11.3	1.9	3.8
	七次台	88	20.5	10.2	13.6	19.3	35.2	13.6	25.0	36.4	8.0	29.5	5.7	19.3	19.3	8.0	4.5	4.5
	南山	124	28.2	19.4	14.5	21.0	32.3	12.9	22.6	26.6	8.1	28.2	2.4	11.3	21.0	11.3	1.6	6.5
	池の上	99	18.2	18.2	17.2	22.2	25.3	13.1	27.3	25.3	12.1	33.3	11.1	15.2	21.2	10.1	2.0	4.0
	桜台	104	24.0	18.3	20.2	16.3	33.7	12.5	22.1	34.6	5.8	29.8	7.7	16.3	16.3	14.4	1.9	4.8
	無回答	15	20.0	26.7	6.7	13.3	20.0	6.7	6.7	33.3	-	26.7	-	20.0	6.7	-	6.7	26.7

6 学校教育について

(1) 充実していくべき学校教育施策

【問8】あなたは、市の学校教育施策として、どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。



市が充実していくべき学校教育施策については、「豊かな人間性や社会性・道徳心の育成」(44.6%)、「いじめ防止対策の推進」(42.8%)が4割を超え、「子ども自らが学び、思考し、表現する力の育成」(38.7%)が4割弱と高くなっています。

【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、10歳代・20歳代、30歳代では「子ども自らが学び、思考し、表現する力の育成」が最も高くなっています。その他、30歳代、40歳代では「学校施設や設備の改善」も2割以上と他の年齢層と比べて高くなっています。

居住地区別にみると、大山口小学校区、南山小学校区では「子ども自らが学び、思考し、表現する力の育成」、白井第二小学校区、清水口小学校区、池の上小学校区では「いじめ防止対策の推進」が最も高くなっています。

【問8】充実していくべき学校教育施策 【3つまでの複数回答】

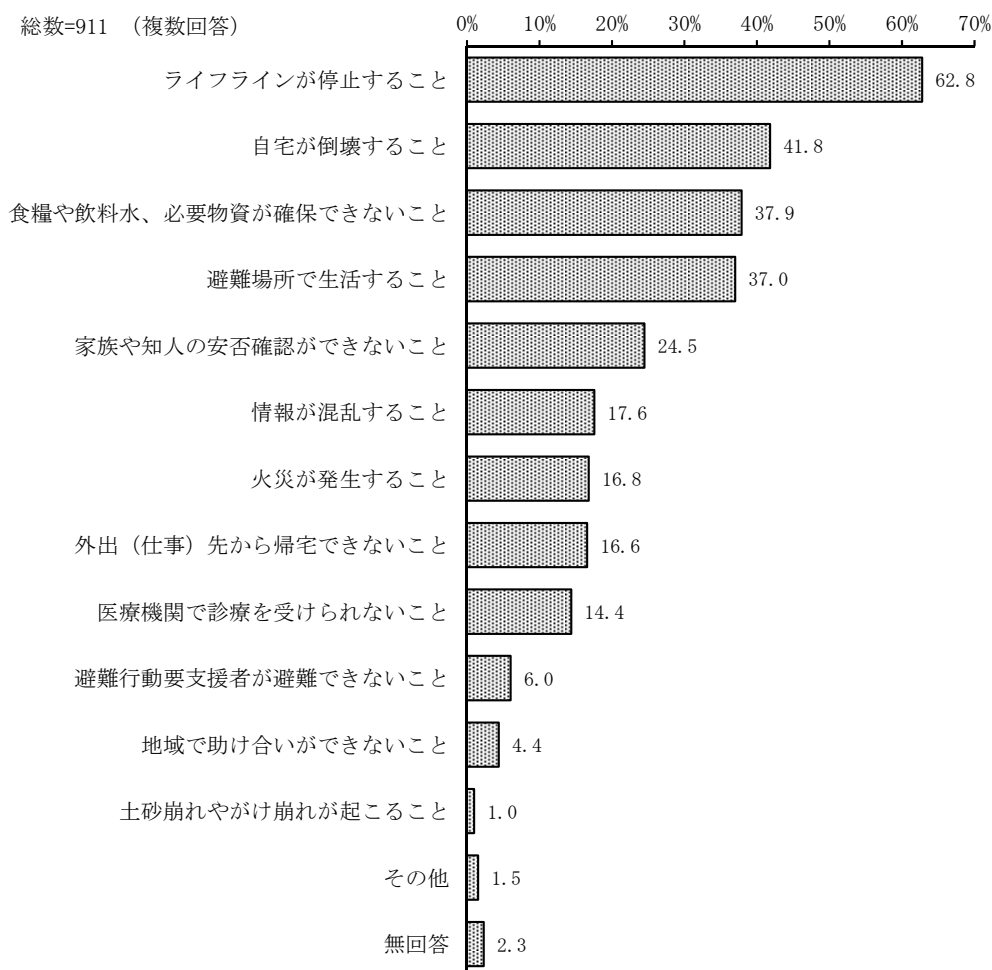
		全体	子どもの基礎的な知識や技能の向上	子ども自らが学び、思考し、表現する力の育成	豊かな人間性や社会性・道徳心の育成	体力づくりの推進	個性を生かし、のびのびとした学校生活の実現	少人数指導などきめ細かな指導の推進	いじめ防止対策の推進	職業体験などキャリア教育の充実	地域の食材を生かした「食育」の実施	学校・家庭・地域の連携による教育支援	地域との交流による幅広い学びの機会の提供	学校施設や設備の改善	その他	無回答
単位		(%)														
全体		911	28.6	38.7	44.6	17.8	23.2	13.0	42.8	9.7	7.1	13.8	12.0	15.4	3.3	5.7
性別	男性	387	27.6	42.9	46.0	22.0	25.3	12.4	41.9	8.5	6.2	11.6	9.8	16.0	3.1	4.9
	女性	485	28.5	36.7	43.7	13.8	21.4	13.6	43.7	11.1	8.0	14.4	13.8	15.5	3.3	6.2
	無回答	39	41.0	23.1	41.0	25.6	23.1	10.3	41.0	2.6	5.1	28.2	10.3	7.7	5.1	7.7
年齢	18歳～29歳	45	28.9	40.0	37.8	24.4	35.6	6.7	37.8	15.6	8.9	13.3	6.7	17.8	-	4.4
	30歳～39歳	97	25.8	49.5	34.0	15.5	25.8	15.5	36.1	21.6	8.2	7.2	12.4	20.6	6.2	4.1
	40歳～49歳	159	30.8	42.1	43.4	18.9	20.8	16.4	40.9	10.1	6.9	11.3	6.3	24.5	3.1	2.5
	50歳～59歳	143	35.0	34.3	37.8	14.7	21.0	14.7	48.3	11.2	7.7	16.8	13.3	18.9	6.3	1.4
	60歳～69歳	179	26.8	41.3	52.0	17.3	19.6	11.7	41.9	8.4	7.8	14.5	15.1	12.8	3.4	4.5
	70歳以上	263	25.1	35.4	49.8	18.6	25.5	10.3	45.2	4.9	6.1	14.1	12.9	8.4	0.8	11.4
	無回答	25	40.0	16.0	36.0	20.0	20.0	20.0	40.0	-	4.0	32.0	16.0	4.0	8.0	8.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	31.5	35.6	50.7	21.9	15.1	11.0	45.2	8.2	2.7	23.3	12.3	11.0	1.4	6.8
	白井第二	37	18.9	24.3	48.6	18.9	37.8	10.8	48.6	5.4	13.5	10.8	8.1	13.5	-	8.1
	白井第三	138	30.4	31.2	44.9	17.4	14.5	13.8	39.9	11.6	5.8	13.8	13.8	12.3	3.6	10.1
	大山口	127	33.9	44.1	42.5	20.5	19.7	15.0	40.2	11.0	5.5	11.8	14.2	13.4	5.5	3.9
	清水口	106	29.2	43.4	34.9	22.6	24.5	5.7	51.9	6.6	11.3	13.2	11.3	17.0	1.9	4.7
	七次台	88	21.6	38.6	48.9	22.7	29.5	10.2	47.7	8.0	2.3	11.4	13.6	10.2	6.8	4.5
	南山	124	26.6	47.6	47.6	13.7	22.6	12.1	39.5	8.9	9.7	16.1	9.7	24.2	1.6	4.0
	池の上	99	30.3	33.3	40.4	13.1	26.3	19.2	43.4	13.1	3.0	12.1	13.1	21.2	3.0	4.0
	桜台	104	26.9	39.4	49.0	12.5	31.7	16.3	36.5	10.6	12.5	12.5	9.6	13.5	3.8	3.8
	無回答	15	33.3	40.0	33.3	13.3	13.3	13.3	40.0	6.7	6.7	13.3	6.7	6.7	-	20.0

下線：第1位

7 防災について

(1) 大きな地震が発生した場合に心配に思うこと

【問9】 今後大きな地震が発生した場合、あなたが心配に思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。



大きな地震が発生した場合に心配に思うことについては、「ライフラインが停止すること」(62.8%)が6割を超えて最も高くなっています。次いで「自宅が倒壊すること」(41.8%)、「食糧や飲料水、必要物資が確保できないこと」(37.9%)、「避難場所で生活すること」(37.0%)となっています。

【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、高齢層ほど「自宅が倒壊すること」が高い傾向にあり、若年層ほど「家族や知人の安否確認ができないこと」が高い傾向にあります。働く人の割合が多い30歳代～50歳代では「外出(仕事)先から帰宅できないこと」が2割を超えて、他の年齢層と比べて高くなっています。

また、30歳代では「食糧や飲料水、必要物資が確保できないこと」が5割を超えて他の年齢層と比べて高くなっています。

居住地区別にみると、白井第一小学校区、白井第二小学校区では「自宅が倒壊すること」が約6割と最も高くなっています。

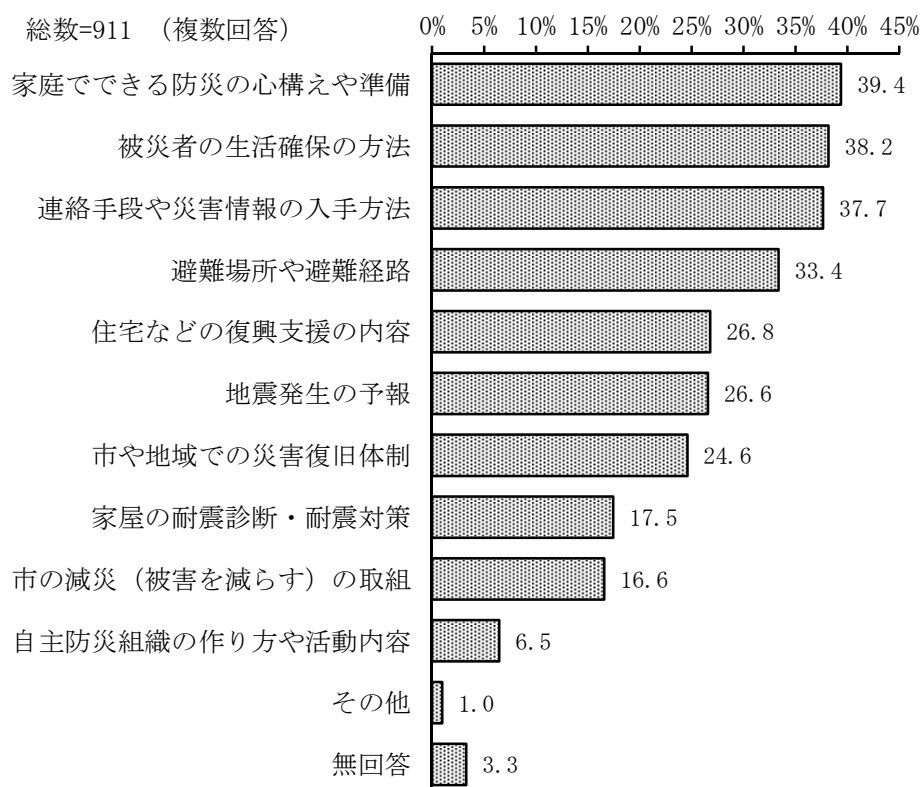
【問9】大きな地震が発生した場合に心配に思うこと 【3つまでの複数回答】

		全体	自宅が倒壊すること	家族や知人の安否確認ができないこと	避難行動要支援者が避難できないこと	避難場所で生活すること	食糧や飲料水、必要物資が確保できないこと	外出（仕事）先から帰宅できないこと	医療機関で診療を受けられないこと	ライフラインが停止すること	土砂崩れやがけ崩れが起ること	火災が発生すること	情報が混乱すること	地域で助け合いができないこと	その他	無回答
単位		(%)														
全体		911	41.8	24.5	6.0	37.0	37.9	16.6	14.4	62.8	1.0	16.8	17.6	4.4	1.5	2.3
性別	男性	387	41.1	21.7	5.9	35.9	37.7	18.3	16.5	63.3	1.3	16.5	16.5	6.7	0.8	1.8
	女性	485	41.6	27.0	5.6	38.1	38.1	16.1	13.0	62.5	0.8	16.3	18.6	2.9	1.9	2.7
	無回答	39	51.3	20.5	12.8	33.3	35.9	5.1	10.3	61.5	-	25.6	15.4	-	5.1	2.6
年齢	18歳～29歳	45	26.7	40.0	4.4	44.4	40.0	15.6	15.6	48.9	4.4	13.3	20.0	4.4	-	-
	30歳～39歳	97	39.2	35.1	-	37.1	51.5	21.6	13.4	58.8	-	8.2	17.5	8.2	1.0	-
	40歳～49歳	159	39.6	41.5	3.8	32.7	34.0	24.5	8.2	66.7	1.3	11.3	15.1	1.9	0.6	1.9
	50歳～59歳	143	40.6	25.9	5.6	31.5	39.2	23.1	13.3	69.9	1.4	21.7	14.0	2.8	2.8	0.7
	60歳～69歳	179	41.9	19.6	7.3	39.1	36.3	17.9	15.1	63.1	1.1	12.8	22.9	5.0	2.2	0.6
	70歳以上	263	46.4	11.0	9.5	40.3	35.4	6.8	18.3	61.6	0.4	22.8	16.7	4.9	0.8	5.7
	無回答	25	52.0	16.0	4.0	32.0	36.0	4.0	16.0	48.0	-	28.0	20.0	4.0	8.0	4.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	60.3	20.5	4.1	35.6	32.9	16.4	19.2	56.2	2.7	17.8	13.7	1.4	1.4	2.7
	白井第二	37	59.5	18.9	5.4	45.9	27.0	10.8	16.2	37.8	8.1	24.3	16.2	-	2.7	2.7
	白井第三	138	45.7	23.2	5.8	31.2	37.0	10.9	16.7	55.8	0.7	25.4	12.3	7.2	2.9	5.1
	大山口	127	39.4	26.8	5.5	42.5	40.2	15.0	12.6	63.0	-	10.2	16.5	7.9	1.6	1.6
	清水口	106	35.8	26.4	8.5	39.6	36.8	20.8	17.9	65.1	-	11.3	18.9	2.8	0.9	0.9
	七次台	88	48.9	23.9	4.5	36.4	38.6	20.5	10.2	63.6	-	17.0	17.0	4.5	1.1	2.3
	南山	124	30.6	29.0	6.5	38.7	37.1	19.4	11.3	73.4	-	14.5	21.8	3.2	2.4	0.8
	池の上	99	44.4	20.2	6.1	32.3	39.4	19.2	13.1	67.7	-	15.2	22.2	3.0	1.0	3.0
	桜台	104	31.7	26.9	7.7	37.5	44.2	14.4	14.4	67.3	2.9	19.2	19.2	2.9	-	-
	無回答	15	40.0	13.3	-	26.7	33.3	20.0	13.3	46.7	-	20.0	13.3	13.3	-	13.3

下線：第1位

（２）災害全般に関して得たいと思う知識や情報

【問 10】あなたは、災害全般に関して日頃からどのような知識や情報を得たいと思いますか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



災害全般に関して得たいと思う知識や情報については、「家庭でできる防災の心構えや準備」（39.4％）が約 4 割、「被災者の生活確保の方法」（38.2％）、「連絡手段や災害情報の入手方法」（37.7％）が 4 割弱と高くなっています。

【属性別】

性別にみると、男性では「被災者の生活確保の方法」、女性では「家庭でできる防災の心構えや準備」が最も高くなっています。

年齢別にみると、10 歳代・20 歳代、30 歳代では「避難場所や避難経路」が最も高くなっています。また 40 歳代～60 歳代では「住宅などの復興支援の内容」も比較的高くなっています。

居住地区別にみると、白井第一小学校区、白井第二小学校区では「地震発生の予報」、大山口小学校区、清水口小学校区、桜台小学校区では「連絡手段や災害情報の入手方法」が他の小学校区と比べて高くなっています。

【問10】災害全般に関して得たいと思う知識や情報 【3つまでの複数回答】

		全体	家庭でできる防災の心構えや準備	家屋の耐震診断・耐震対策	自主防災組織の作り方や活動内容	地震発生の予報	市の減災（被害を減らす）の取組	避難場所や避難経路	連絡手段や災害情報の入手方法	市や地域での災害復旧体制	被災者の生活確保の方法	住宅などの復興支援の内容	その他	無回答
単位		（％）												
全体		911	39.4	17.5	6.5	26.6	16.6	33.4	37.7	24.6	38.2	26.8	1.0	3.3
性別	男性	387	35.7	17.6	7.2	26.1	21.2	34.1	33.3	32.3	36.2	27.1	1.0	2.6
	女性	485	42.5	17.9	6.0	27.2	13.6	33.2	40.6	18.8	40.2	26.6	0.6	3.3
	無回答	39	38.5	10.3	5.1	23.1	7.7	28.2	43.6	20.5	33.3	25.6	5.1	10.3
年齢	18歳～29歳	45	26.7	20.0	6.7	35.6	11.1	44.4	42.2	22.2	44.4	22.2	2.2	—
	30歳～39歳	97	41.2	17.5	5.2	24.7	17.5	44.3	34.0	24.7	33.0	21.6	1.0	3.1
	40歳～49歳	159	35.8	17.0	6.3	29.6	15.7	30.2	43.4	22.6	32.7	30.2	1.3	1.3
	50歳～59歳	143	36.4	14.7	6.3	29.4	14.7	30.1	37.8	29.4	37.1	31.5	1.4	2.8
	60歳～69歳	179	38.5	18.4	6.1	24.0	17.9	34.6	37.4	26.3	42.5	30.2	0.6	0.6
	70歳以上	263	45.2	19.4	7.6	25.1	19.0	30.8	35.4	22.8	40.7	22.8	0.4	6.1
	無回答	25	40.0	4.0	4.0	16.0	4.0	28.0	32.0	20.0	32.0	24.0	4.0	16.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	35.6	19.2	5.5	42.5	11.0	24.7	28.8	34.2	34.2	37.0	—	4.1
	白井第二	37	40.5	27.0	2.7	37.8	16.2	18.9	27.0	27.0	35.1	29.7	2.7	2.7
	白井第三	138	42.0	13.8	10.1	30.4	18.1	31.2	34.8	18.8	41.3	24.6	0.7	5.1
	大山口	127	40.2	15.7	7.1	28.3	11.0	40.9	40.9	25.2	35.4	25.2	0.8	1.6
	清水口	106	38.7	13.2	2.8	24.5	21.7	36.8	45.3	19.8	32.1	28.3	0.9	3.8
	七次台	88	39.8	21.6	8.0	15.9	14.8	39.8	38.6	20.5	39.8	35.2	1.1	3.4
	南山	124	37.1	18.5	8.9	25.0	22.6	30.6	33.9	29.8	37.1	21.0	1.6	3.2
	池の上	99	45.5	21.2	6.1	21.2	15.2	29.3	34.3	23.2	43.4	30.3	1.0	2.0
	桜台	104	36.5	15.4	2.9	24.0	16.3	39.4	48.1	27.9	42.3	19.2	1.0	1.0
	無回答	15	26.7	20.0	6.7	13.3	13.3	13.3	26.7	20.0	40.0	20.0	—	20.0

下線：第1位

8 市民参加・協働によるまちづくりについて

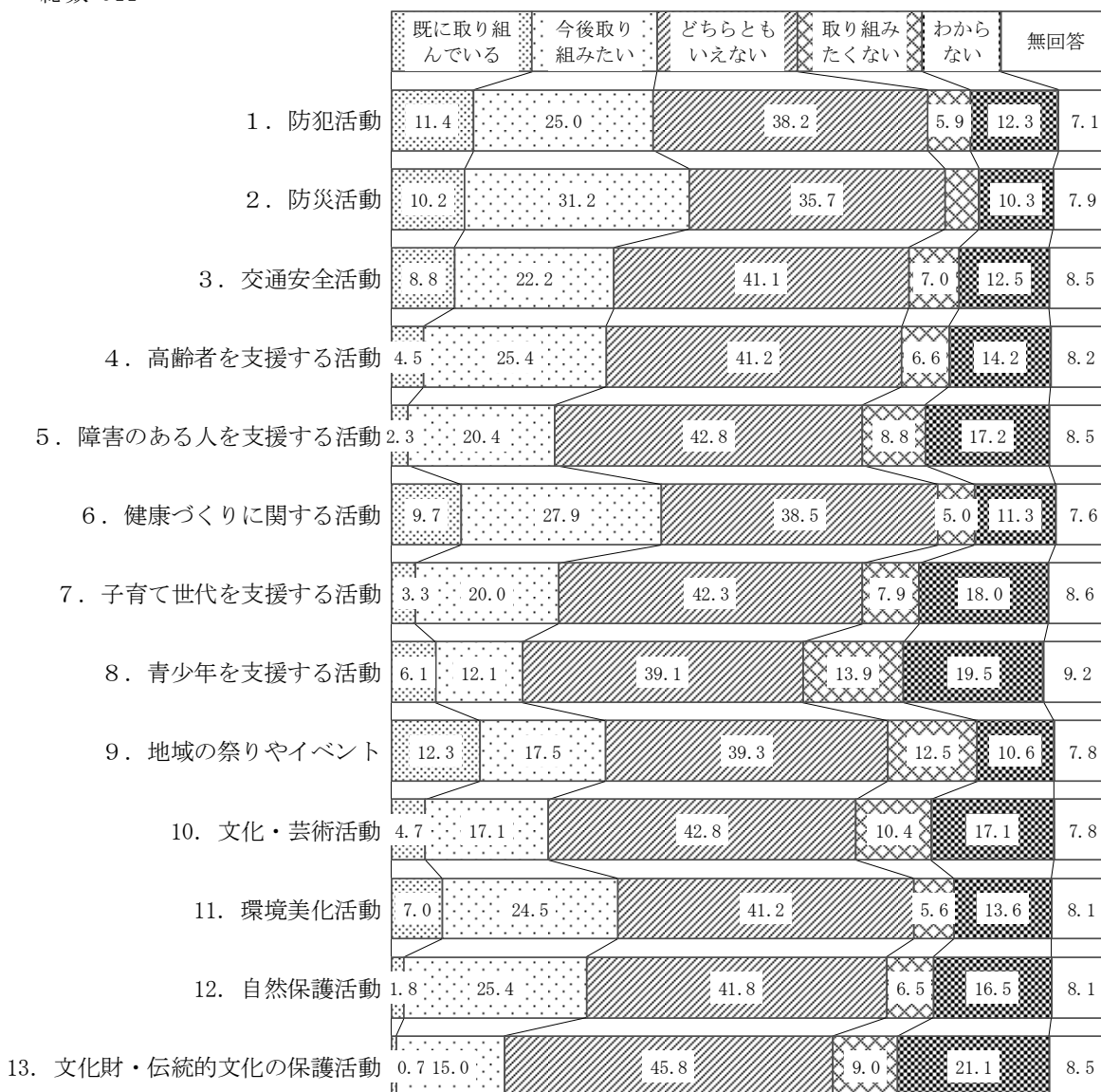
(1) 市民参加・協働のまちづくりの参加状況と取組主体

【問 11】あなたは、次のような活動に取り組んでいますか、あるいは取り組みたいと思いますか。
また、その活動は市民と市役所のどちらが中心となって取り組むべきだと思いますか。
13 の活動の全てについて、それぞれ 1 つずつ選んで番号に○をつけてください。

①市民参加・協働のまちづくりの参加状況

総数=911

単位：％



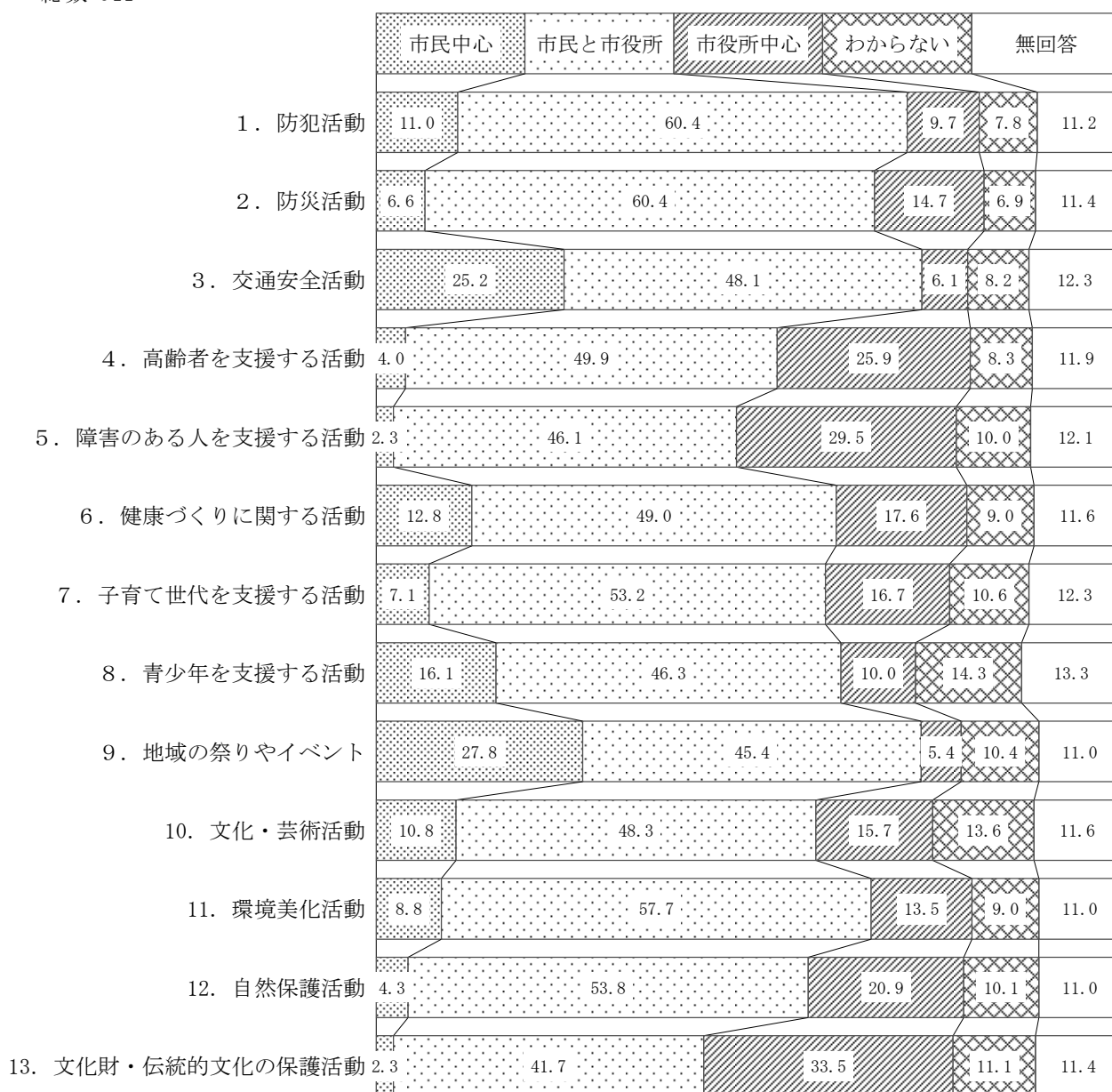
既に取り組んでいる活動については、「地域の祭りやイベント」(12.3%)、「防犯活動」(11.4%)、「防災活動」(10.2%) が 1 割を超えて高くなっています。今後取り組みたい活動については、「防災活動」(31.2%)、「健康づくりに関する活動」(27.9%) が 3 割前後と高くなっています。

また、取り組みたくない活動については、「青少年を支援する活動」(13.9%)、「地域の祭りやイベント」(12.5%)、「文化・芸術活動」(10.4%) が 1 割を超えて高くなっています。

②市民参加・協働のまちづくりの取組主体

総数=911

単位：％

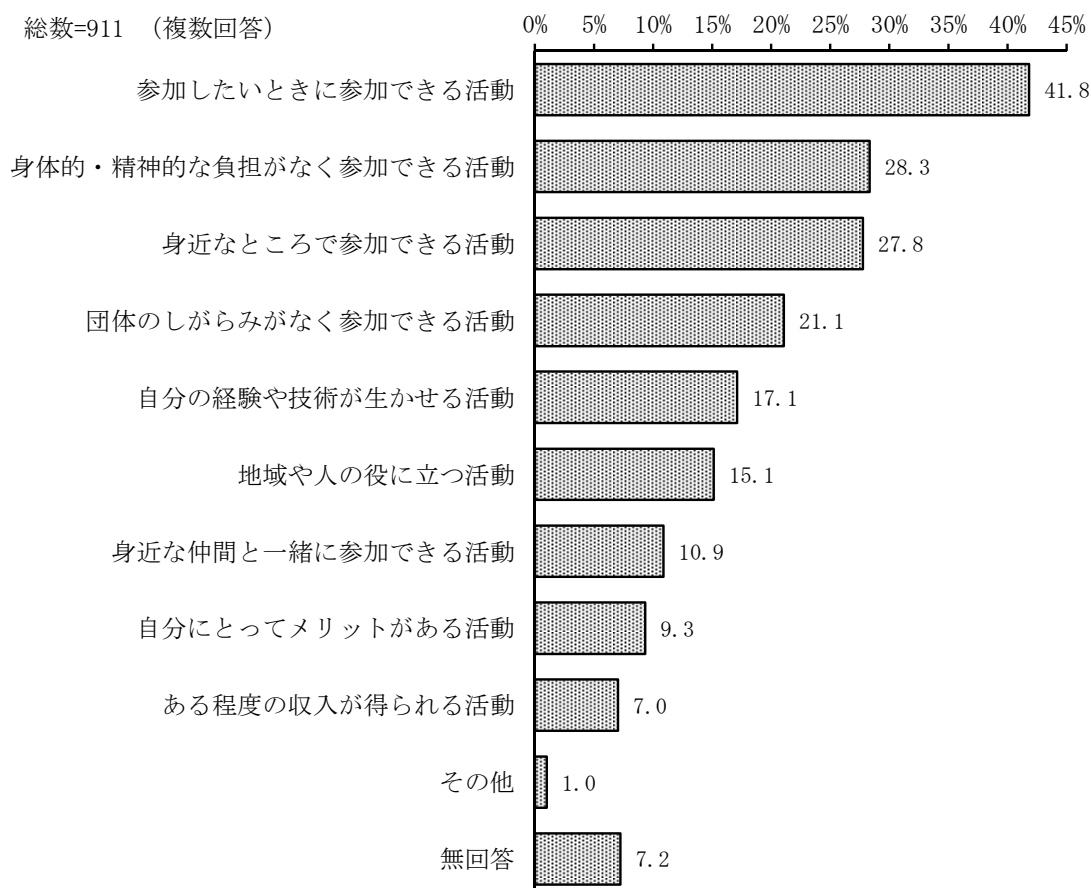


市民中心の活動については、「地域の祭りやイベント」(27.8%)、「交通安全活動」(25.2%)、「青少年を支援する活動」(16.1%)が高くなっています。一方、市役所中心の活動については、「文化財・伝統的文化の保護活動」(33.5%)、「障害のある人を支援する活動」(29.5%)、「高齢者を支援する活動」(25.9%)が高くなっています。

また、市民と市役所が一緒に取り組む活動については、「防犯活動」(60.4%)、「防災活動」(60.4%)、「環境美化活動」(57.7%)が高くなっています。

（２）参加しやすいと思う地域活動

【問 12】あなたは、地域で活動するとき、どのような活動が参加しやすいと思いますか。次の中から２つまで選んで番号に○をつけてください。



参加しやすいと思う地域活動については、「参加したいときに参加できる活動」（41.8％）が４割を超えて最も高くなっています。次いで「身体的・精神的な負担がなく参加できる活動」（28.3％）、「身近なところで参加できる活動」（27.8％）となっています。

【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、「身体的・精神的な負担がなく参加できる活動」、「身近なところで参加できる活動」は高年齢層ほど高い傾向にあり、「自分にとってメリットがある活動」、「ある程度の収入が得られる活動」は若年層ほど高い傾向にあります。

居住地区別にみると、白井第一小学校区、白井第三小学校区では「身近なところで参加できる活動」が他の小学校区と比べて高くなっています。

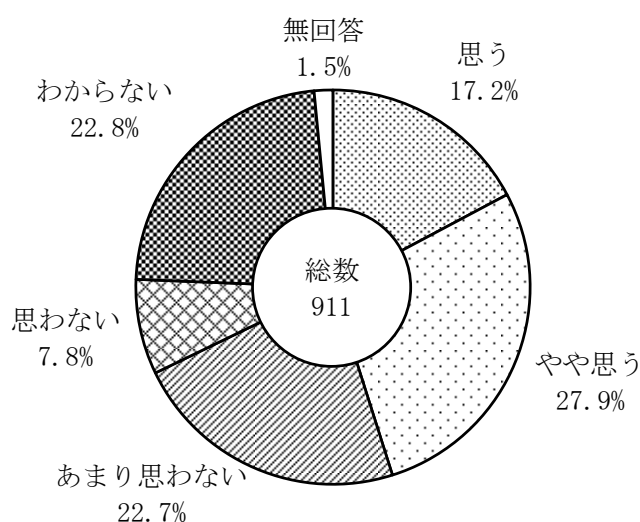
【問12】参加しやすいと思う地域活動 【2つまでの複数回答】

		全体	参加したいときに参加できる活動	身体的・精神的な負担がなく参加できる活動	団体のしがらみがなく参加できる活動	身近なところで参加できる活動	自分にとってメリットがある活動	地域や人の役に立つ活動	自分の経験や技術が生かせる活動	ある程度の収入が得られる活動	身近な仲間と一緒に参加できる活動	その他	無回答
単位		(%)											
全体		911	41.8	28.3	21.1	27.8	9.3	15.1	17.1	7.0	10.9	1.0	7.2
性別	男性	387	37.5	25.8	20.9	28.2	10.6	19.1	20.7	9.3	9.3	0.5	6.2
	女性	485	46.4	30.3	21.4	28.0	8.2	12.4	14.4	5.2	12.2	0.6	7.4
	無回答	39	28.2	28.2	17.9	20.5	10.3	10.3	15.4	7.7	10.3	10.3	15.4
年齢	18歳～29歳	45	28.9	17.8	24.4	20.0	24.4	8.9	13.3	22.2	8.9	-	11.1
	30歳～39歳	97	38.1	24.7	33.0	24.7	20.6	13.4	14.4	10.3	5.2	2.1	6.2
	40歳～49歳	159	50.9	27.7	20.8	24.5	13.2	8.2	19.5	8.8	10.7	-	4.4
	50歳～59歳	143	46.9	30.1	21.0	24.5	5.6	16.1	18.9	8.4	10.5	-	6.3
	60歳～69歳	179	40.2	31.8	25.7	29.6	5.6	19.0	24.0	3.9	6.7	-	3.9
	70歳以上	263	39.9	29.7	14.1	33.1	4.2	18.3	11.8	3.8	16.7	1.1	10.3
	無回答	25	24.0	16.0	12.0	24.0	16.0	12.0	16.0	4.0	8.0	16.0	20.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	39.7	27.4	12.3	34.2	9.6	11.0	17.8	9.6	15.1	-	9.6
	白井第二	37	37.8	32.4	16.2	18.9	8.1	21.6	5.4	8.1	18.9	-	13.5
	白井第三	138	34.1	20.3	19.6	34.1	12.3	15.2	18.8	5.8	11.6	0.7	9.4
	大山口	127	40.2	30.7	26.0	28.3	12.6	19.7	15.0	6.3	4.7	-	6.3
	清水口	106	42.5	32.1	17.9	27.4	13.2	14.2	17.0	7.5	10.4	-	6.6
	七次台	88	46.6	29.5	20.5	27.3	6.8	17.0	17.0	3.4	12.5	-	8.0
	南山	124	54.0	28.2	18.5	25.8	8.1	11.3	15.3	5.6	13.7	0.8	5.6
	池の上	99	45.5	31.3	28.3	21.2	5.1	10.1	24.2	6.1	9.1	2.0	4.0
	桜台	104	35.6	28.8	25.0	28.8	5.8	20.2	17.3	11.5	9.6	2.9	4.8
	無回答	15	33.3	20.0	20.0	13.3	6.7	6.7	13.3	13.3	6.7	13.3	20.0

下線：第1位

（３）地域住民の協力による地域課題の解決について

【問 13】 あなたのお住まいの地域では、防災、防犯、福祉など、地域の課題に対して、地域の住民が協力して解決に向けて取り組んでいると思いますか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。



「思う」（17.2%）、「やや思う」（27.9%）を合わせた、地域の課題に対して地域住民が協力して解決に向けて取り組んでいると思う人は、4 割台半ばとなっています。

一方、「思わない」（7.8%）、「あまり思わない」（22.7%）を合わせた、地域の課題に対して地域住民が協力して解決に向けて取り組んでいると思わない人は、約 3 割となっています。

【属性別】

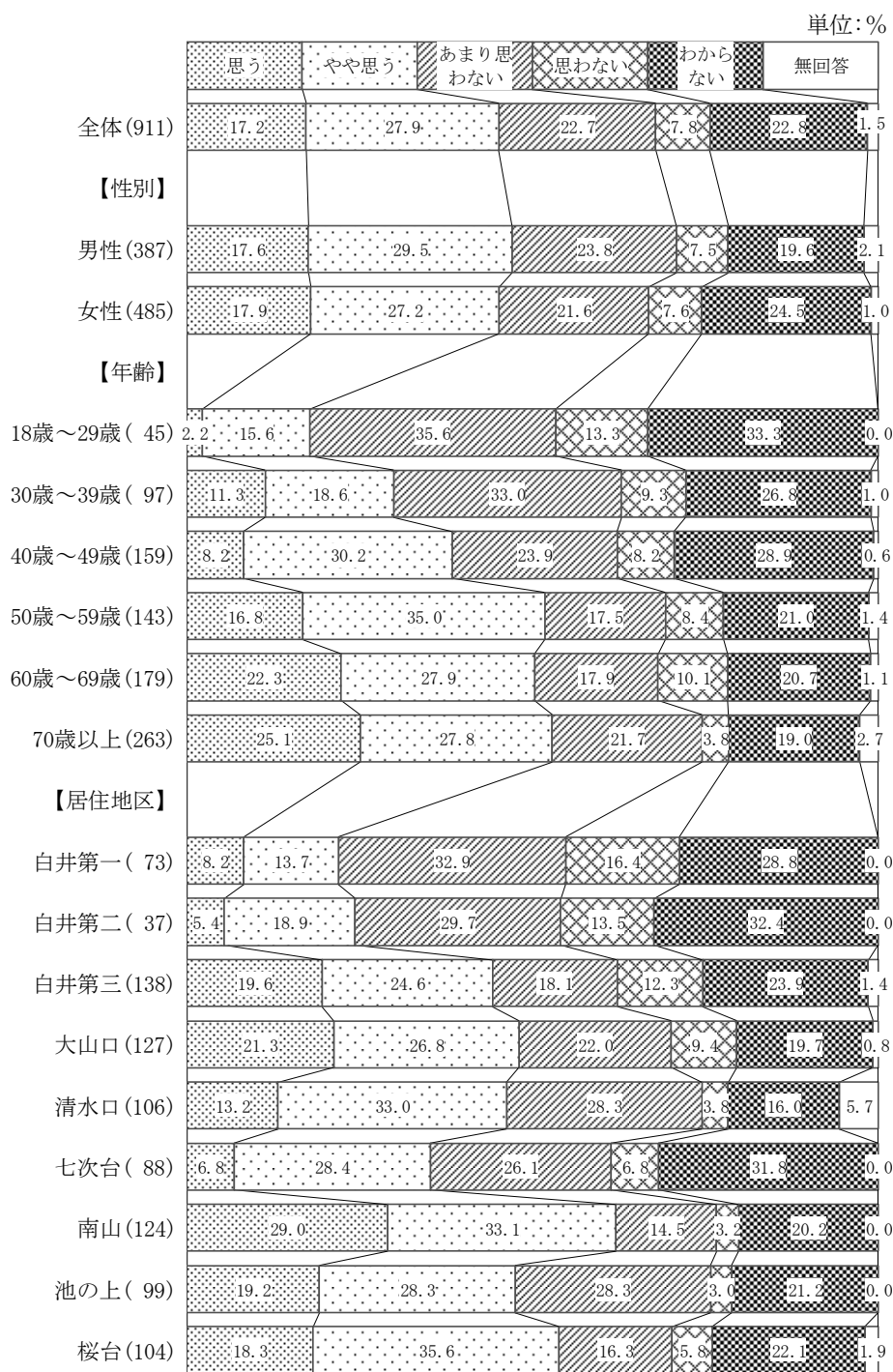
性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、地域の課題に対して地域住民が協力して解決に向けて取り組んでいると思う人は、高年齢層ほど高い傾向にあります。

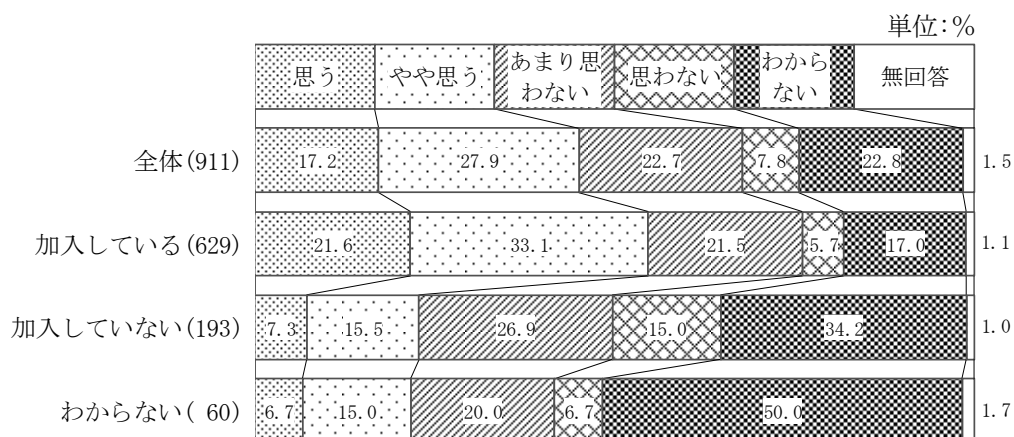
居住地区別にみると、地域の課題に対して地域住民が協力して解決に向けて取り組んでいると思う人は、南山小学校区では、6 割を超えて高くなっている一方で、白井第一小学校区では 2 割強、白井第二小学校区では 2 割台半ばと低くなっています。

【設問別】

自治会への加入状況別にみると、地域の課題に対して地域住民が協力して解決に向けて取り組んでいると思う人は、「加入している」（54.7%）が「加入していない」（22.8%）を約 30 ポイントと大きく上回っています。

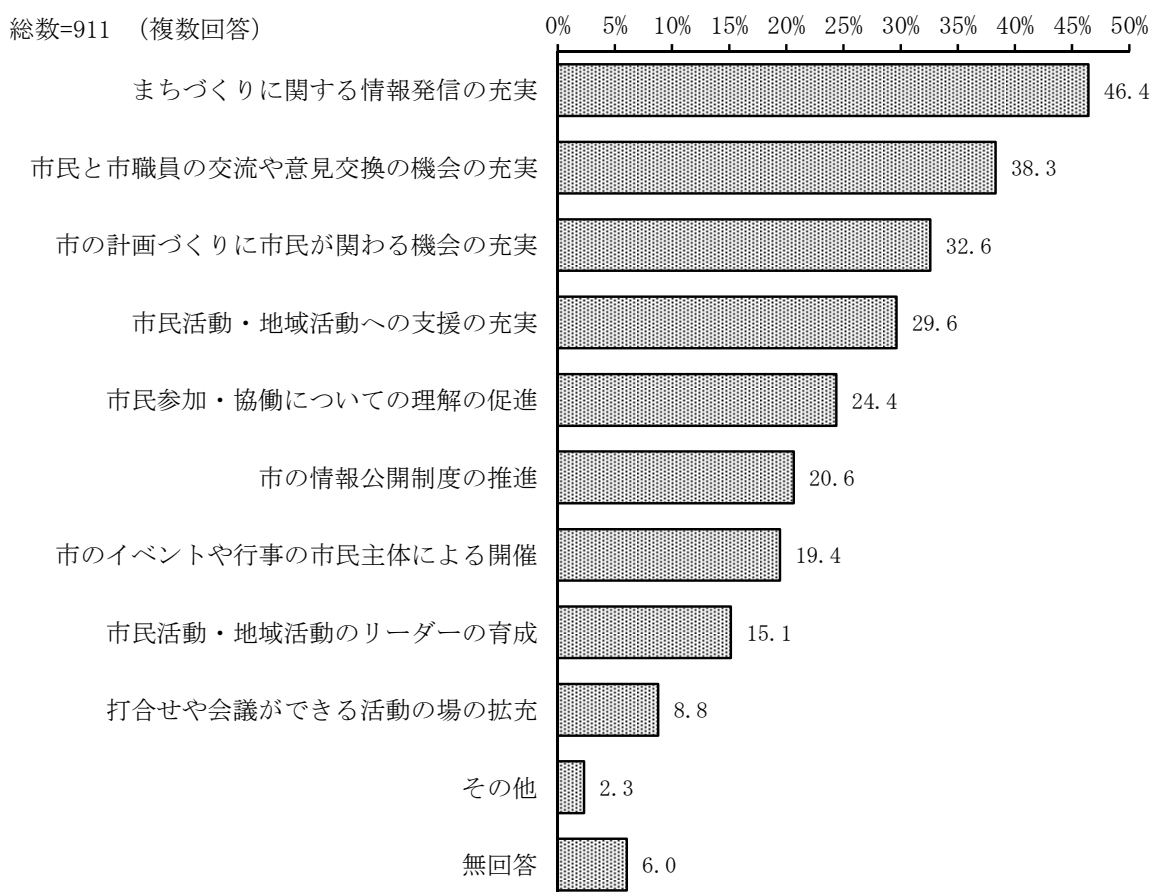


【問 24 自治会（区・町会を含む）への加入状況とのクロス集計】



（４）市民参加・協働によるまちづくりを進めるために充実していくべき取組

【問 14】あなたは、市で市民参加・協働によるまちづくりをより一層進めるために、どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



市民参加・協働によるまちづくりを進めるために充実していくべき取組については、「まちづくりに関する情報発信の充実」(46.4%)が４割台半ばで最も高くなっています。次いで「市民と市職員の交流や意見交換の機会の充実」(38.3%)、「市の計画づくりに市民が関わる機会の充実」(32.6%)となっています。

【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありませんが、男性では「市民活動・地域活動への支援の充実」、「市民参加・協働についての理解の促進」が比較的女性よりも高い傾向にあります。

年齢別にみると、70歳以上では「市民と市職員の交流や意見交換の機会の充実」が最も高くなっています。

居住地区別にみると、白井第二小学校区では「市民と市職員の交流や意見交換の機会の充実」が最も高くなっています。

【問14】 市民参加・協働によるまちづくりを進めるために充実していくべき取組 【3つまでの複数回答】

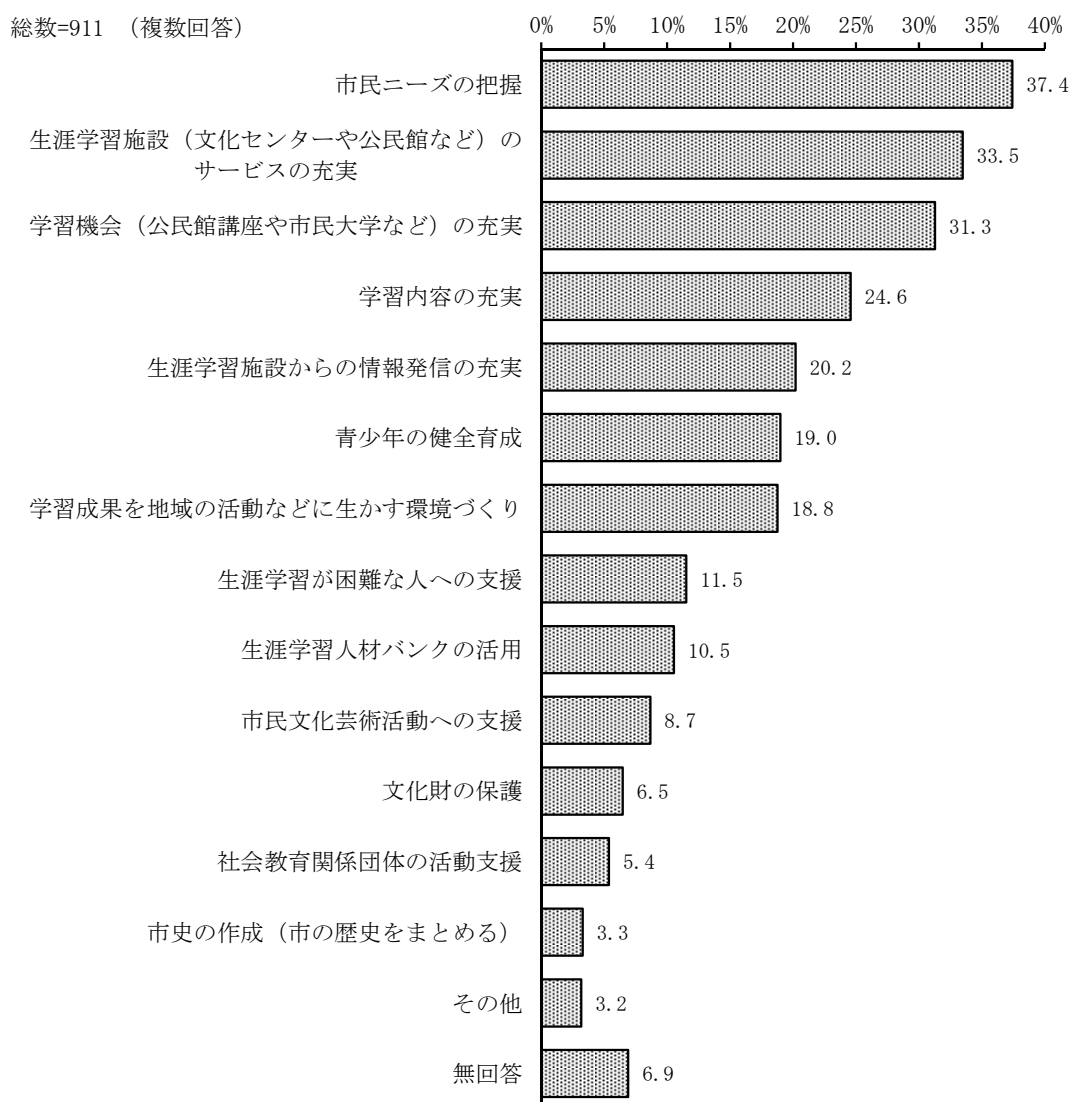
		全体	市民と市職員の交流や意見交換の機会の充実	市民参加・協働についての理解の促進	まちづくりに関する情報発信の充実	市の情報公開制度の推進	市の計画づくりに市民が関わる機会の充実	市のイベントや行事の市民主体による開催	市民活動・地域活動のリーダーの育成	市民活動・地域活動への支援の充実	打合せや会議ができる活動の場の拡充	その他	無回答
単位		(%)											
全体		911	38.3	24.4	46.4	20.6	32.6	19.4	15.1	29.6	8.8	2.3	6.0
性別	男性	387	41.9	28.4	45.0	22.7	31.3	19.1	16.5	34.4	10.3	2.3	2.8
	女性	485	36.7	21.0	47.4	19.4	33.4	19.6	14.4	27.0	7.8	2.1	7.8
	無回答	39	23.1	25.6	48.7	15.4	35.9	20.5	10.3	15.4	5.1	5.1	15.4
年齢	18歳～29歳	45	40.0	24.4	44.4	22.2	20.0	31.1	13.3	31.1	2.2	4.4	6.7
	30歳～39歳	97	34.0	20.6	47.4	17.5	33.0	33.0	7.2	22.7	6.2	2.1	5.2
	40歳～49歳	159	33.3	23.9	49.7	20.8	36.5	13.8	15.1	31.4	6.9	1.9	3.1
	50歳～59歳	143	38.5	24.5	51.7	22.4	27.3	16.8	15.4	26.6	9.8	0.7	2.8
	60歳～69歳	179	36.9	25.7	49.2	22.3	43.0	18.4	15.1	26.8	11.7	1.1	2.8
	70歳以上	263	44.5	25.1	40.3	20.9	27.8	18.3	19.0	35.4	9.9	3.8	10.3
	無回答	25	28.0	24.0	40.0	4.0	36.0	16.0	8.0	20.0	4.0	4.0	24.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	31.5	26.0	38.4	16.4	28.8	20.5	19.2	34.2	4.1	1.4	13.7
	白井第二	37	40.5	13.5	37.8	21.6	35.1	24.3	24.3	29.7	18.9	2.7	8.1
	白井第三	138	40.6	21.7	44.2	15.9	27.5	19.6	17.4	31.2	10.9	2.2	6.5
	大山口	127	41.7	22.8	42.5	16.5	34.6	26.0	13.4	37.0	6.3	2.4	4.7
	清水口	106	36.8	31.1	49.1	26.4	31.1	15.1	13.2	23.6	8.5	2.8	5.7
	七次台	88	38.6	28.4	51.1	19.3	35.2	17.0	6.8	25.0	6.8	2.3	4.5
	南山	124	39.5	25.0	48.4	24.2	33.1	16.9	15.3	29.0	9.7	2.4	4.8
	池の上	99	42.4	20.2	50.5	20.2	35.4	23.2	15.2	31.3	10.1	2.0	1.0
	桜台	104	31.7	27.9	52.9	25.0	36.5	15.4	16.3	25.0	8.7	2.9	4.8
	無回答	15	33.3	6.7	26.7	26.7	20.0	13.3	20.0	26.7	6.7	-	33.3

下線：第1位

9 市の生涯学習について

(1) 充実していくべき生涯学習施策

【問 15】あなたは、市の生涯学習施策として、どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。



市が充実していくべき生涯学習施策については、「市民ニーズの把握」(37.4%)が4割弱と最も高くなっています。次いで「生涯学習施設のサービスの充実」(33.5%)、「学習機会の充実」(31.3%)となっています。

【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、50歳代では「生涯学習施設のサービスの充実」が最も高くなっています。

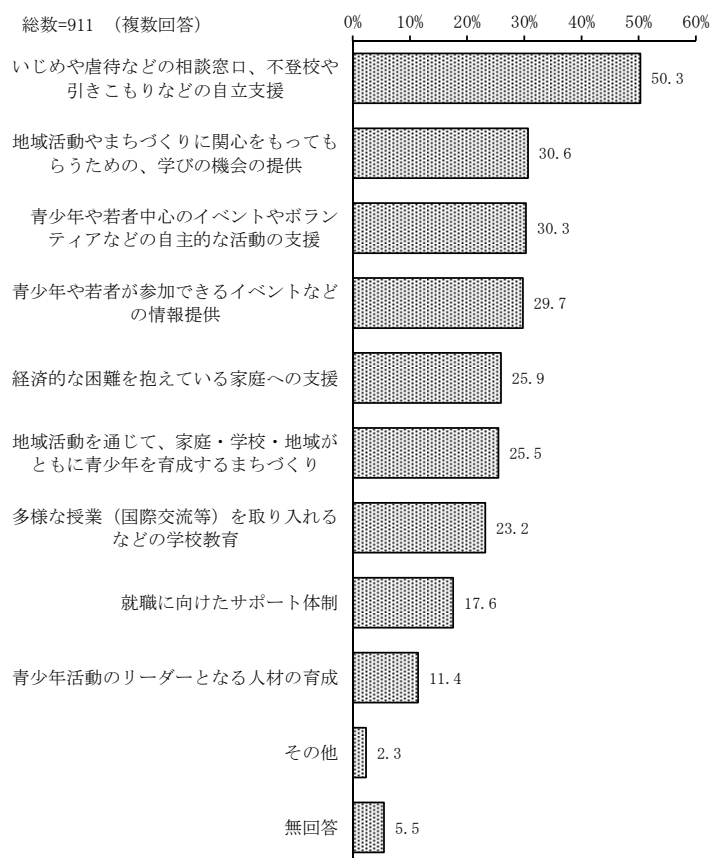
居住地区別にみると、大山口小学校区、清水口小学校区では「生涯学習施設のサービスの充実」が約4割と高く、七次台小学校区、南山小学校区、桜台小学校区では「市民ニーズの把握」が4割を超えて高くなっています。

【問15】充実していきべき生涯学習施策 【3つまでの複数回答】

		全体	市民ニーズの把握	学習機会（公民館講座や市民大学など）の充実	学習内容の充実	学習成果を地域の活動などに生かす環境づくり	生涯学習施設（文化センターや公民館など）のサービスの充実	生涯学習施設からの情報発信の充実	市民文化芸術活動への支援	社会教育関係団体の活動支援	生涯学習が困難な人への支援	生涯学習人材バンクの活用	青少年の健全育成	文化財の保護	市史の作成（市の歴史をまとめる）	その他	無回答
単位		（％）															
全体		911	37.4	31.3	24.6	18.8	33.5	20.2	8.7	5.4	11.5	10.5	19.0	6.5	3.3	3.2	6.9
性別	男性	387	40.6	34.6	24.5	19.9	34.9	21.7	7.8	5.4	8.0	11.6	19.6	8.5	4.9	4.7	3.6
	女性	485	35.7	29.3	24.7	17.7	32.2	19.8	9.7	5.4	14.0	9.9	18.8	4.9	2.3	2.1	8.5
	無回答	39	28.2	23.1	23.1	20.5	35.9	10.3	5.1	5.1	15.4	7.7	15.4	5.1	-	2.6	20.5
年齢	18歳～29歳	45	46.7	20.0	13.3	17.8	26.7	24.4	4.4	8.9	11.1	8.9	31.1	-	2.2	4.4	2.2
	30歳～39歳	97	39.2	20.6	32.0	14.4	32.0	15.5	4.1	3.1	12.4	3.1	25.8	10.3	3.1	6.2	5.2
	40歳～49歳	159	40.3	29.6	32.7	16.4	34.6	15.7	3.8	3.1	11.9	8.8	20.1	7.5	3.1	3.1	3.1
	50歳～59歳	143	36.4	37.1	28.7	14.0	38.5	21.7	7.0	7.7	10.5	11.2	16.8	7.0	2.1	3.5	2.8
	60歳～69歳	179	39.1	36.3	21.2	20.1	35.8	22.9	12.3	6.1	10.1	15.1	14.0	5.6	2.2	1.7	5.6
	70歳以上	263	33.8	32.3	19.4	23.6	30.0	22.4	12.9	5.3	12.9	11.8	19.0	5.7	5.3	3.0	12.2
	無回答	25	28.0	24.0	20.0	20.0	36.0	8.0	4.0	4.0	8.0	4.0	12.0	8.0	-	-	24.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	30.1	27.4	24.7	15.1	24.7	20.5	5.5	5.5	15.1	13.7	19.2	11.0	2.7	-	15.1
	白井第二	37	21.6	16.2	24.3	24.3	27.0	8.1	5.4	8.1	13.5	16.2	29.7	18.9	10.8	2.7	13.5
	白井第三	138	31.9	21.0	23.2	21.7	33.3	21.7	8.0	6.5	12.3	12.3	22.5	3.6	3.6	5.8	7.2
	大山口	127	37.8	37.0	26.0	16.5	41.7	18.9	11.8	5.5	12.6	7.1	18.9	7.9	3.1	3.9	3.1
	清水口	106	37.7	36.8	21.7	17.9	38.7	18.9	8.5	4.7	11.3	9.4	12.3	4.7	4.7	1.9	7.5
	七次台	88	43.2	29.5	25.0	19.3	31.8	21.6	10.2	3.4	4.5	4.5	22.7	6.8	1.1	4.5	3.4
	南山	124	46.0	35.5	26.6	21.0	33.1	17.7	12.1	4.8	8.9	14.5	15.3	5.6	3.2	3.2	5.6
	池の上	99	38.4	38.4	26.3	18.2	28.3	19.2	9.1	6.1	15.2	14.1	21.2	3.0	1.0	3.0	4.0
	桜台	104	40.4	31.7	25.0	17.3	32.7	28.8	3.8	4.8	11.5	6.7	17.3	6.7	3.8	1.9	5.8
	無回答	15	26.7	20.0	13.3	13.3	40.0	13.3	6.7	6.7	13.3	6.7	13.3	6.7	-	-	33.3

（２）充実していくべき青少年・若者施策

【問 16】あなたは、市の青少年・若者施策について、どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



市が充実していくべき青少年・若者施策については、「いじめや虐待などの相談窓口、不登校や引きこもりなどの自立支援」（50.3%）が５割を超えて最も高くなっています。次いで「地域活動やまちづくりに関心をもってもらうための、学びの機会の提供」（30.6%）、「青少年や若者中心のイベントやボランティアなどの自主的な活動の支援」（30.3%）、「青少年や若者が参加できるイベントなどの情報提供」（29.7%）となっています。

【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありませんが、男性では「地域活動やまちづくりに関心をもってもらうための、学びの機会の提供」が比較的女性より高い傾向にあります。

年齢別にみると、全ての年齢層で「いじめや虐待などの相談窓口、不登校や引きこもりなどの自立支援」が最も高くなっています。その他、10歳代・20歳代では「就職に向けたサポート体制」が、30歳代、40歳代では「多様な授業（国際交流等）を取り入れるなどの学校教育」が他の年齢層と比べて高くなっています。

居住地区別にみると、年齢別と同様に全ての居住地区で「いじめや虐待などの相談窓口、不登校や引きこもりなどの自立支援」が最も高くなっています。また、白井第二小学校区では「経済的な困難を抱えている家庭への支援」が、南山小学校区では「地域活動を通じて、家庭・学校・地域がともに青少年を育成するまちづくり」が他の小学校区と比べて高くなっています。

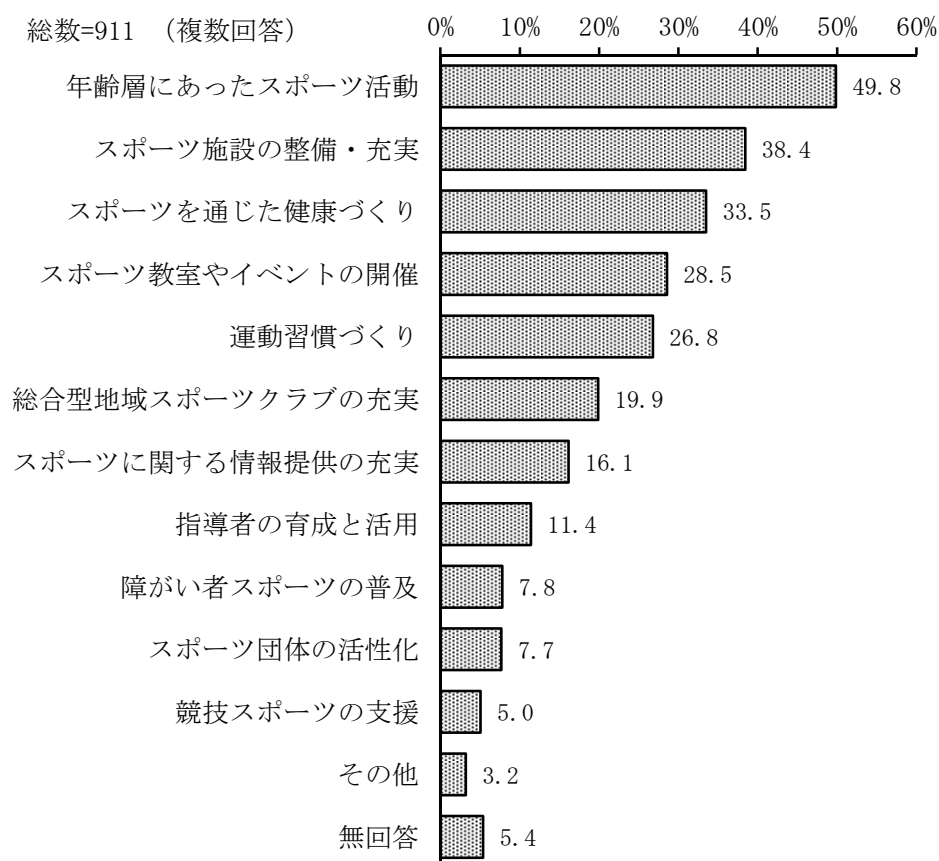
【問16】充実していくべき青少年・若者施策 【3つまでの複数回答】

			全体	青少年や若者が参加できるイベントなどの情報提供	地域の活動やまちづくりに関心をもってもらうための、学びの機会の提供	青少年や若者中心のイベントやボランティアなどの自主的な活動の支援	育成するまちづくり	地域活動を通じて、家庭・学校・地域がともに青少年を	青少年活動のリーダーとなる人材の育成	経済的な困難を抱えている家庭への支援	いじめや虐待などの相談窓口、不登校や引きこもりなどの自立支援	多様な授業（国際交流等）を取り入れるなどの学校教育	就職に向けたサポート体制	その他	無回答
		単位	(%)												
		全体	911	29.7	30.6	30.3	25.5	11.4	25.9	50.3	23.2	17.6	2.3	5.5	
性別	男性	387	32.3	36.2	30.5	27.9	13.4	27.6	46.5	19.9	16.8	3.1	3.1		
	女性	485	27.8	26.8	31.1	23.7	10.3	25.2	53.2	25.8	18.1	1.2	6.2		
	無回答	39	28.2	23.1	17.9	23.1	5.1	17.9	51.3	23.1	17.9	7.7	20.5		
年齢	18歳～29歳	45	28.9	24.4	20.0	13.3	6.7	28.9	46.7	24.4	37.8	2.2	-		
	30歳～39歳	97	29.9	26.8	24.7	14.4	6.2	29.9	48.5	38.1	15.5	3.1	6.2		
	40歳～49歳	159	26.4	30.8	31.4	17.6	9.4	23.3	49.7	29.6	20.1	2.5	1.9		
	50歳～59歳	143	31.5	25.2	24.5	16.8	9.1	35.7	56.6	19.6	26.6	2.1	2.8		
	60歳～69歳	179	26.3	36.3	37.4	32.4	12.8	21.8	50.3	18.4	18.4	2.2	3.4		
	70歳以上	263	33.5	32.3	32.7	36.5	16.3	24.3	48.3	19.4	8.7	1.5	9.5		
	無回答	25	28.0	28.0	20.0	24.0	4.0	12.0	52.0	16.0	8.0	8.0	24.0		
居住地区（小学校区）	白井第一	73	31.5	23.3	34.2	17.8	16.4	26.0	47.9	17.8	23.3	-	11.0		
	白井第二	37	27.0	35.1	24.3	24.3	21.6	37.8	43.2	18.9	18.9	-	8.1		
	白井第三	138	28.3	26.1	30.4	23.2	13.0	24.6	50.7	18.8	24.6	2.9	5.8		
	大山口	127	31.5	32.3	37.0	25.2	11.8	20.5	48.8	28.3	18.9	1.6	2.4		
	清水口	106	34.0	28.3	25.5	24.5	11.3	27.4	52.8	22.6	16.0	1.9	5.7		
	七次台	88	39.8	30.7	23.9	26.1	8.0	29.5	51.1	22.7	11.4	4.5	3.4		
	南山	124	31.5	32.3	31.5	34.7	12.1	26.6	39.5	30.6	12.9	0.8	6.5		
	池の上	99	23.2	37.4	32.3	25.3	8.1	23.2	57.6	23.2	14.1	2.0	3.0		
	桜台	104	25.0	32.7	30.8	25.0	7.7	26.9	58.7	21.2	19.2	4.8	1.9		
	無回答	15	-	26.7	13.3	20.0	6.7	26.7	46.7	13.3	6.7	6.7	40.0		

下線：第1位

（３）充実していくべきスポーツ施策

【問 17】あなたは、市のスポーツ施策として、どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



市が充実していくべきスポーツ施策については、「年齢層にあったスポーツ活動」（49.8%）が約５割と最も高くなっています。次いで「スポーツ施設の整備・充実」（38.4%）、「スポーツを通じた健康づくり」（33.5%）となっています。

【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありませんが、男性では「スポーツ施設の整備・充実」が比較的女性よりも高い傾向にあります。

年齢別にみると、40歳代以下の若年層では「スポーツ施設の整備・充実」が最も高くなっています。また、30歳代、40歳代の子育て世代では「スポーツ教室やイベントの開催」が他の年齢層と比べて高くなっています。

居住地区別にみると、清水口小学校区では「スポーツ教室やイベントの開催」、七次台小学校区では「スポーツを通じた健康づくり」が他の小学校区と比べて低くなっています。

【問17】充実していくべきスポーツ施策 【3つまでの複数回答】

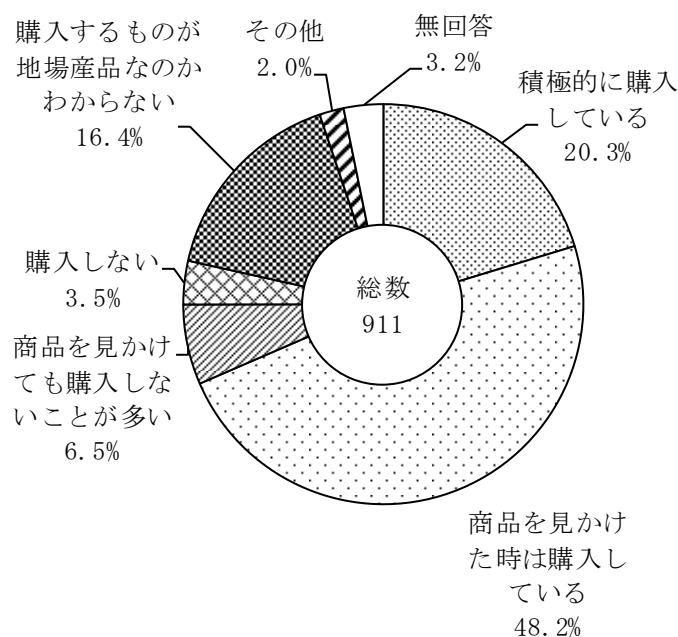
		全体	年齢層にあったスポーツ活動	障がい者スポーツの普及	スポーツ教室やイベントの開催	指導者の育成と活用	スポーツ団体の活性化	スポーツに関する情報提供の充実	スポーツ施設の整備・充実	総合型地域スポーツクラブの充実	競技スポーツの支援	スポーツを通じた健康づくり	運動習慣づくり	その他	無回答
単位		(%)													
全体		911	49.8	7.8	28.5	11.4	7.7	16.1	38.4	19.9	5.0	33.5	26.8	3.2	5.4
性別	男性	387	48.6	5.2	26.9	11.1	8.5	19.4	45.7	19.6	7.5	35.4	26.4	4.4	3.1
	女性	485	50.9	9.7	31.3	12.0	7.2	13.8	32.4	20.4	3.1	31.5	28.2	2.1	6.6
	無回答	39	48.7	10.3	10.3	7.7	5.1	12.8	41.0	15.4	5.1	38.5	12.8	5.1	12.8
年齢	18歳～29歳	45	35.6	8.9	17.8	8.9	20.0	17.8	51.1	28.9	8.9	20.0	22.2	4.4	2.2
	30歳～39歳	97	27.8	6.2	44.3	13.4	10.3	13.4	47.4	35.1	5.2	19.6	23.7	4.1	5.2
	40歳～49歳	159	35.2	6.3	39.0	9.4	10.7	14.5	45.3	31.4	7.5	18.9	22.6	4.4	2.5
	50歳～59歳	143	51.7	8.4	29.4	7.7	5.6	21.7	32.2	16.8	6.3	31.5	34.3	—	4.9
	60歳～69歳	179	55.3	8.9	27.9	8.4	6.7	16.8	37.4	16.2	3.9	43.0	26.3	3.9	2.8
	70歳以上	263	63.5	8.0	19.8	16.7	4.9	15.2	33.1	10.3	3.0	43.3	28.5	3.0	9.1
	無回答	25	60.0	8.0	12.0	8.0	4.0	8.0	36.0	16.0	4.0	44.0	16.0	4.0	12.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	47.9	4.1	28.8	9.6	5.5	16.4	32.9	23.3	9.6	34.2	28.8	1.4	9.6
	白井第二	37	48.6	8.1	32.4	10.8	8.1	8.1	40.5	21.6	5.4	35.1	24.3	2.7	8.1
	白井第三	138	50.0	6.5	29.0	11.6	8.7	13.0	38.4	23.9	0.7	32.6	23.9	3.6	5.1
	大山口	127	53.5	6.3	31.5	10.2	9.4	17.3	37.0	18.1	6.3	37.0	26.8	5.5	3.1
	清水口	106	50.9	11.3	17.9	13.2	5.7	16.0	37.7	17.9	5.7	34.0	30.2	1.9	7.5
	七次台	88	46.6	6.8	31.8	9.1	10.2	19.3	45.5	21.6	4.5	25.0	27.3	2.3	5.7
	南山	124	51.6	7.3	30.6	12.9	8.9	18.5	40.3	25.0	4.0	33.1	21.8	2.4	4.0
	池の上	99	48.5	10.1	28.3	12.1	7.1	16.2	36.4	11.1	2.0	36.4	34.3	6.1	3.0
	桜台	104	50.0	8.7	29.8	12.5	5.8	16.3	39.4	14.4	9.6	35.6	24.0	1.0	3.8
	無回答	15	33.3	13.3	20.0	6.7	—	13.3	26.7	33.3	6.7	20.0	33.3	6.7	20.0

下線：第1位

10 市の産業振興について

(1) 地場（市内でつくられた）の農産品購入状況

【問 18】あなたは、地場（市内でつくられた）の農産品を購入していますか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。



地場の農産品購入状況については、「積極的に購入している」（20.3%）と「商品を見かけた時は購入している」（48.2%）を合わせた、地場の農産品を購入している人は 7 割弱となっています。一方、「商品を見かけても購入しないことが多い」（6.5%）と「購入しない」（3.5%）を合わせた、地場の農産品を購入しない人は 1 割で、「購入するものが地場産品なのかわからない」（16.4%）は 1 割台半ばとなっています。

【属性別】

性別にみると、女性では「商品を見かけた時は購入している」が 5 割を超え高くなっています。

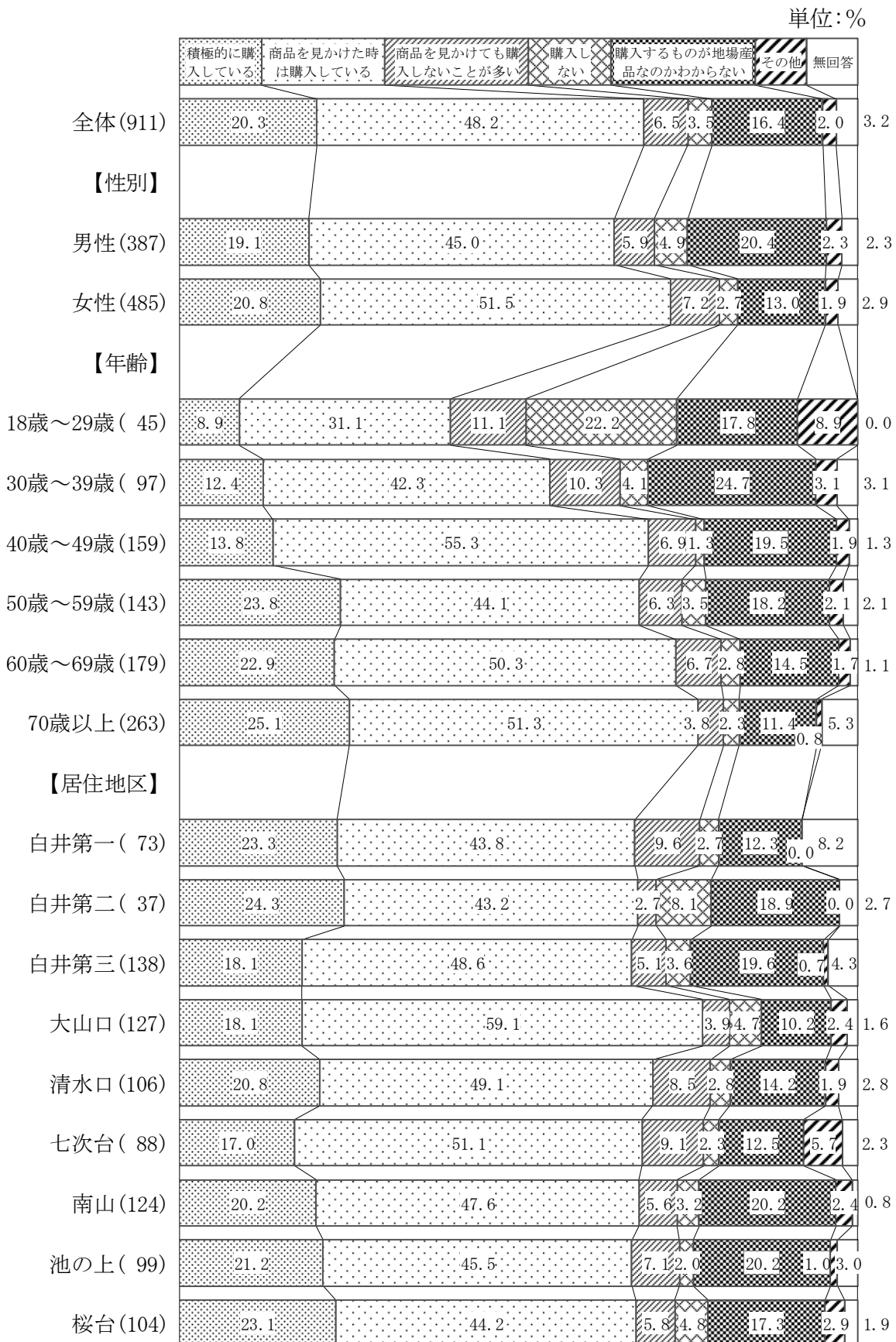
年齢別にみると、地場の農産品を購入している人は高年齢層ほど高い傾向にあります。

居住地区別にみると、地場の農産品を購入している人は大山口小学校区が 8 割弱と高くなっています。

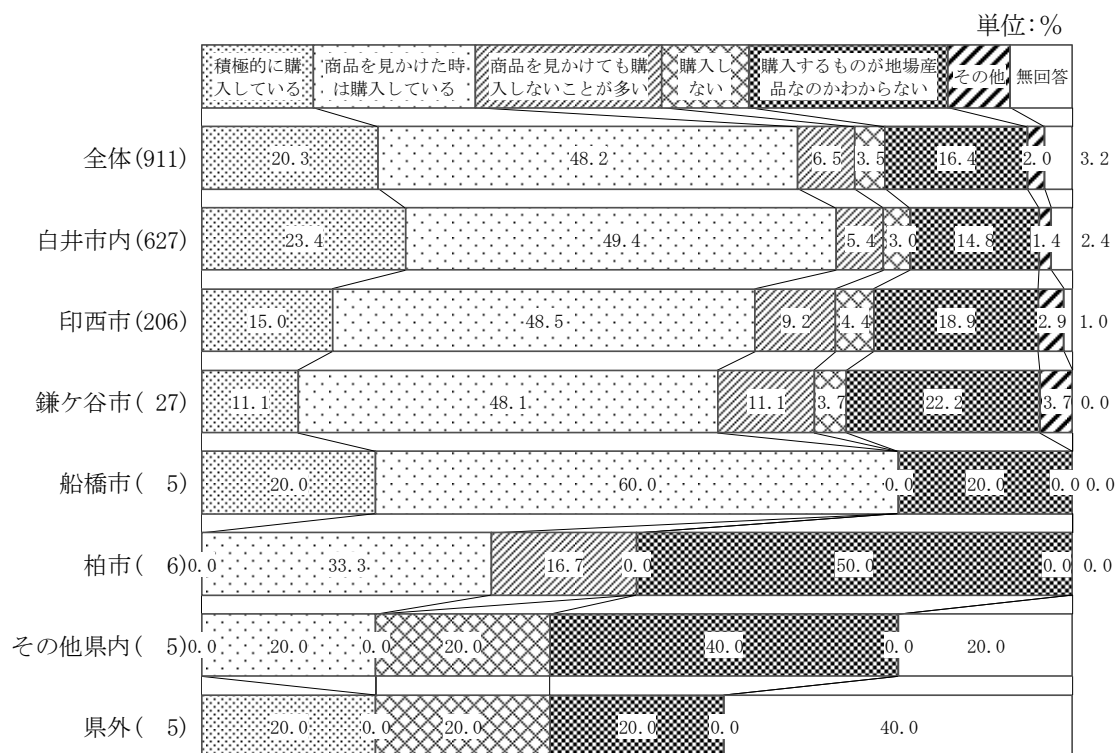
【設問別】

問 19 の日用品の買物をする場所別にみると、地場の農産品を購入している人は「白井市内」（72.8%）が 7 割を超え高くなっています。次いで「印西市」（63.5%）、「鎌ヶ谷市」（59.2%）となっています。

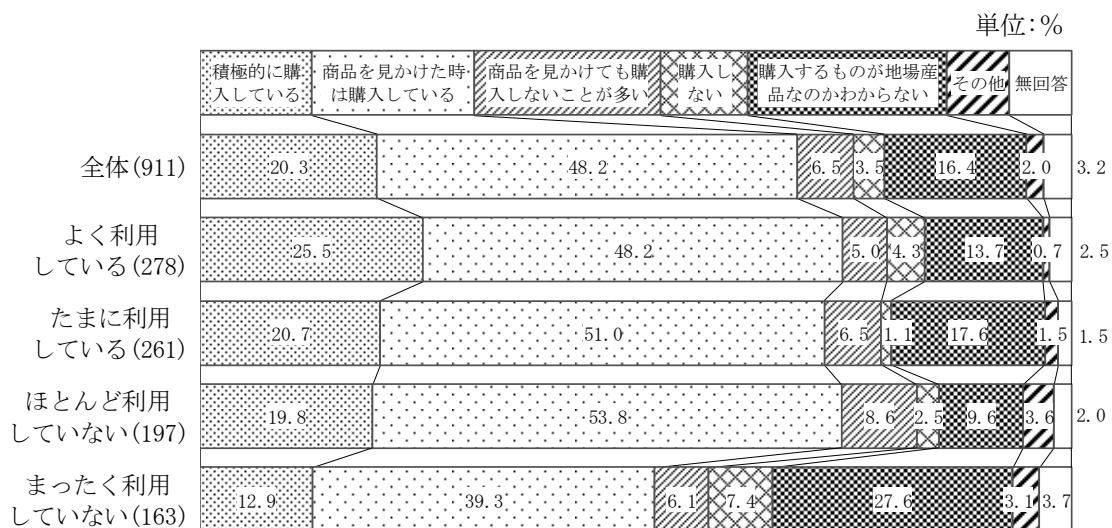
問 20 の白井駅周辺で買物や遊んだりする頻度別にみると、地場の農産品を購入している人は「よく利用している」(73.7%)、「たまに利用している」(71.7%)、「ほとんど利用していない」(73.6%) で7割強となっており、傾向に大きな違いはみられません。



【問 19 日用品の買物をする場所とのクロス集計】

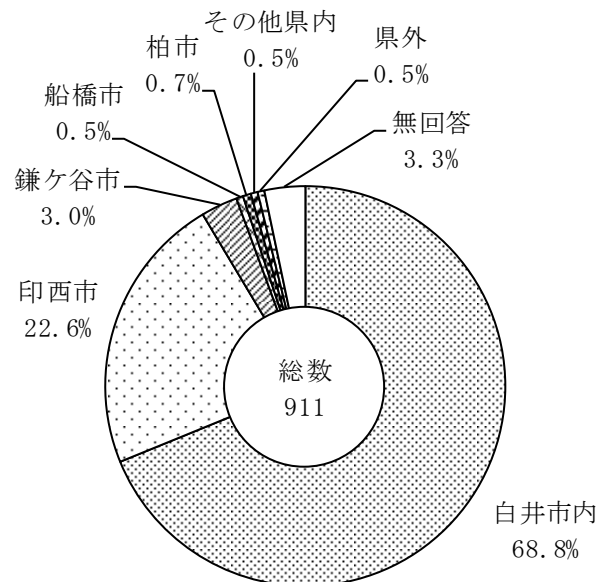


【問 20 白井駅周辺で買物や遊んだりする頻度とのクロス集計】



（２）日用品の買物をする場所

【問 19】あなたは、どこで日用品の買物をする人が多いですか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。



日用品の買物をする場所について、「白井市内」（68.8％）が 7 割弱と最も高くなっています。次いで「印西市」（22.6％）、「鎌ケ谷市」（3.0％）となっています。

【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、「白井市内」は高年齢層ほど高い傾向に、「印西市」は 30 歳代を中心に、若年層ほど高い傾向にあります。

居住地区別にみると、白井第二小学校区、桜台小学校区では「白井市内」が低く、「印西市」が高くなっています。特に桜台小学校区では「印西市」が 7 割台半ばと高くなっています。

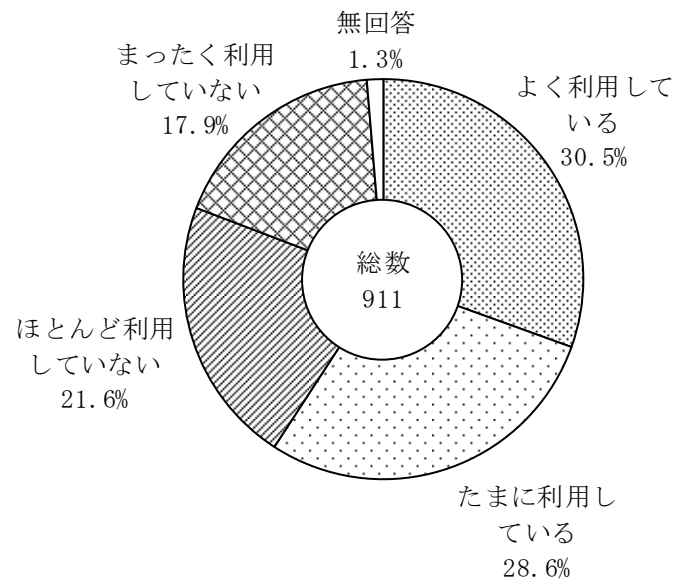
【問19】日用品の買物をする場所

		全体	白井市内	印西市	鎌ヶ谷市	船橋市	柏市	その他県内	県外	無回答
単位		(%)								
全体		911	68.8	22.6	3.0	0.5	0.7	0.5	0.5	3.3
性別	男性	387	69.0	23.8	2.8	0.3	0.5	0.5	0.3	2.8
	女性	485	68.7	21.4	3.3	0.8	0.8	0.6	0.6	3.7
	無回答	39	69.2	25.6	—	—	—	—	2.6	2.6
年齢	18歳～29歳	45	55.6	31.1	6.7	—	4.4	—	2.2	—
	30歳～39歳	97	46.4	37.1	5.2	2.1	1.0	2.1	1.0	5.2
	40歳～49歳	159	66.7	27.7	2.5	0.6	—	—	0.6	1.9
	50歳～59歳	143	68.5	21.7	6.3	0.7	—	—	—	2.8
	60歳～69歳	179	69.3	22.9	1.7	—	1.7	1.7	0.6	2.2
	70歳以上	263	80.2	13.3	0.8	0.4	—	—	0.4	4.9
	無回答	25	72.0	20.0	4.0	—	—	—	—	4.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	79.5	17.8	—	—	1.4	1.4	—	—
	白井第二	37	48.6	35.1	—	—	2.7	5.4	2.7	5.4
	白井第三	138	71.0	8.7	9.4	2.2	—	0.7	1.4	6.5
	大山口	127	79.5	13.4	6.3	—	0.8	—	—	—
	清水口	106	82.1	9.4	2.8	—	—	0.9	—	4.7
	七次台	88	73.9	20.5	2.3	—	2.3	—	—	1.1
	南山	124	76.6	17.7	—	0.8	0.8	—	0.8	3.2
	池の上	99	77.8	19.2	—	—	—	—	1.0	2.0
	桜台	104	18.3	76.9	—	1.0	—	—	—	3.8
	無回答	15	60.0	13.3	6.7	—	—	—	—	20.0

下線：第1位

（３）白井駅周辺で買物や遊んだりする頻度

【問 20】あなたは、市の中心拠点である白井駅周辺で買物や遊んだりすることは、どのくらいありますか。次の中から１つ選んで番号に○をつけてください。



白井駅周辺で買物や遊んだりする頻度については、「よく利用している」（30.5％）と「たまに利用している」（28.6％）を合わせた、利用している人は約６割となっています。

一方、「ほとんど利用していない」（21.6％）と「まったく利用していない」（17.9％）を合わせた、利用していない人は約４割となっています。

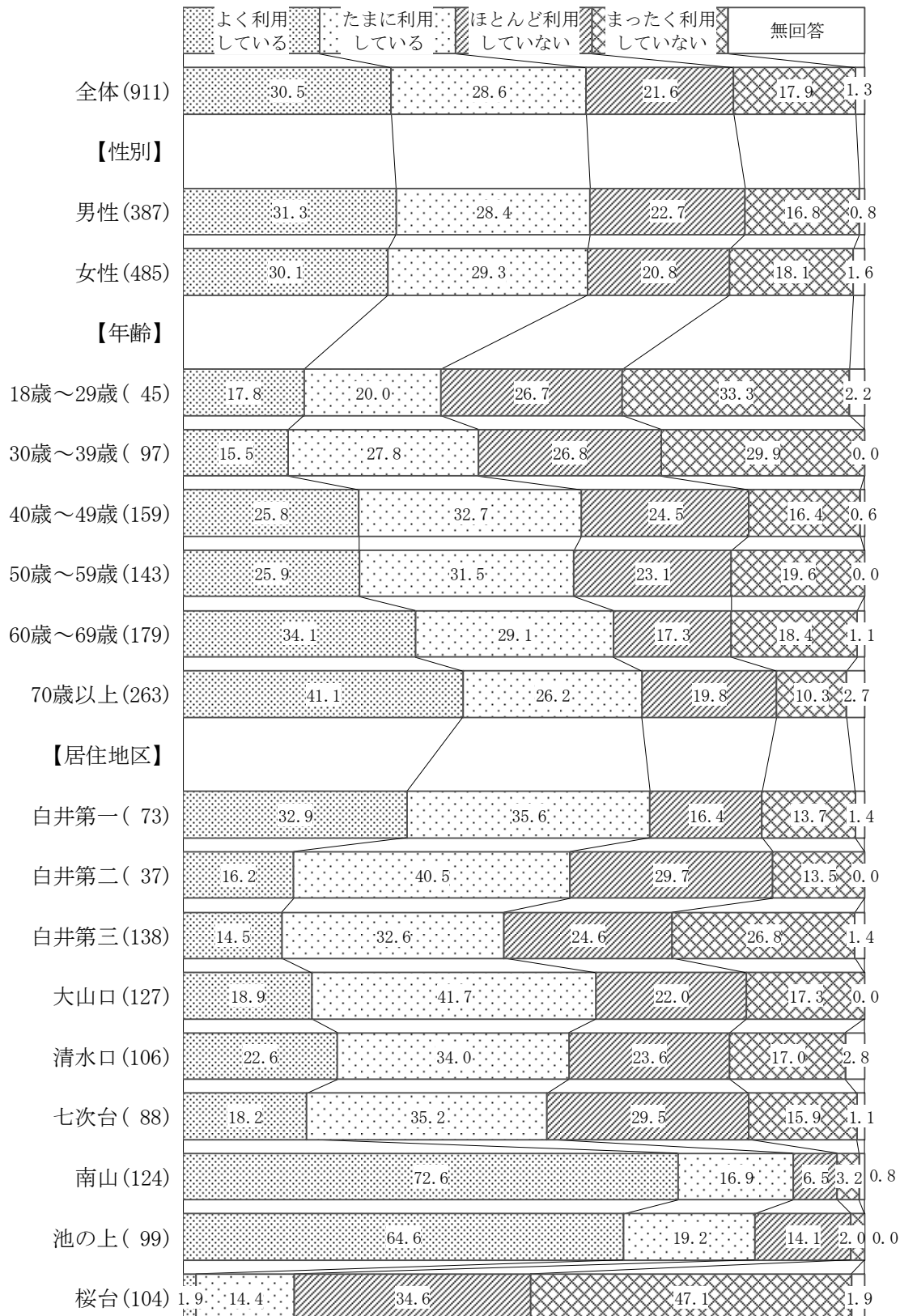
【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、利用している人は高年齢層ほど高い傾向にあります。

居住地区別にみると、利用している人は南山小学校区、池の上小学校区で８割以上と高くなっている一方で、桜台小学校区では１割台半ばと低くなっています。

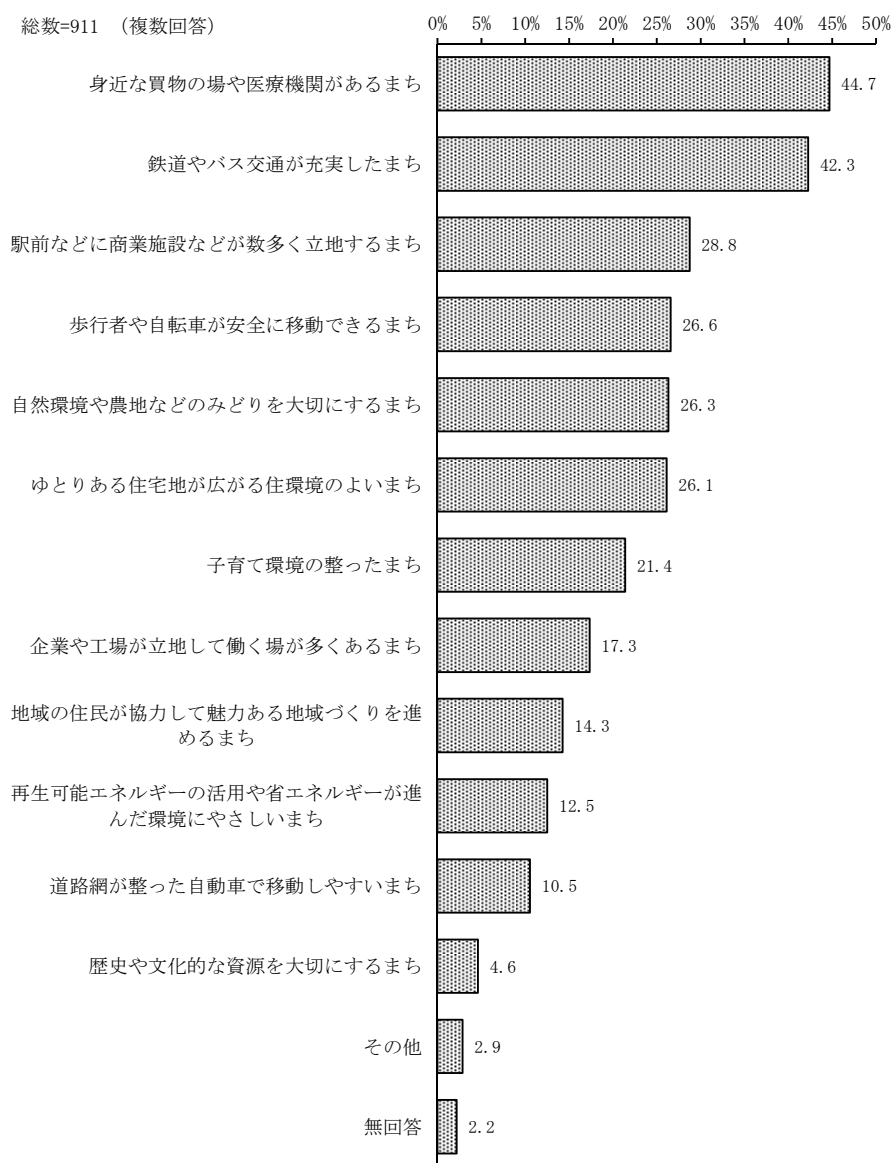
単位：％



11 市のまちづくりについて

(1) 将来のまちづくりの方向性

【問 21】あなたは、市が将来どのようなまちを目指していくべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。



将来のまちづくりの方向性については、「身近な買物の場や医療機関があるまち」(44.7%)、「鉄道やバス交通が充実したまち」(42.3%)が4割を超えて高くなっています。

【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、10歳代・20歳代、40歳代では「鉄道やバス交通が充実したまち」が、30歳代では「子育て環境の整ったまち」が最も高くなっています。

居住地区別にみると、白井第二小学校区、白井第三小学校区、清水口小学校区、七次台小学校区では「鉄道やバス交通が充実したまち」が最も高くなっています。その他、白井第二小学校区では「自然環境や農地などのみどりを大切にするまち」が、南山小学校区では「駅前などに商業施設などが数多く立地するまち」が他の小学校区と比べて高くなっています。

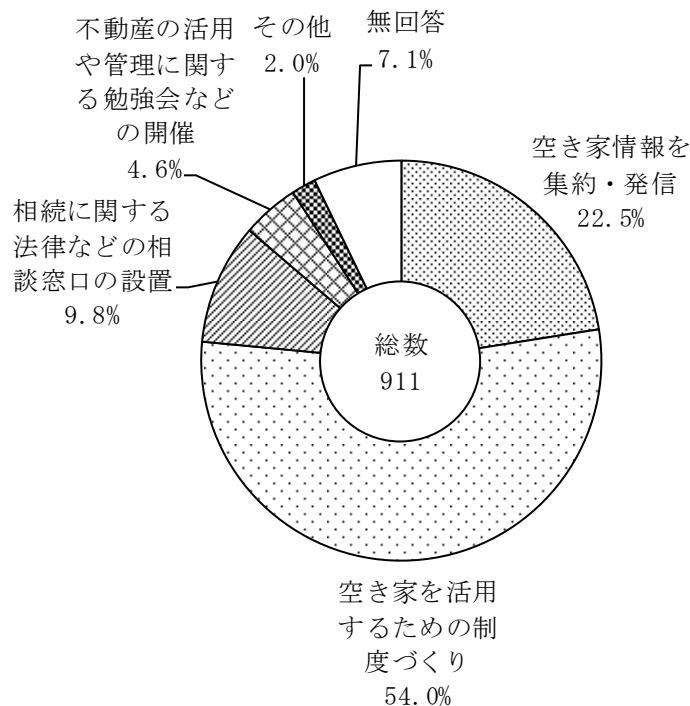
【問21】将来のまちづくりの方向性 【3つまでの複数回答】

		全体	企業や工場が立地して働く場が多くあるまち	ゆとりある住宅地が広がる住環境のよいまち	駅前などに商業施設などが数多く立地するまち	自然環境や農地などのみどりを大切にするまち	再生可能エネルギーの活用や省エネルギーが進んだ環境にやさしいまち	道路網が整った自動車で移動しやすいまち	鉄道やバス交通が充実したまち	歩行者や自転車、安全に移動できるまち	身近な買物の場や医療機関があるまち	子育て環境の整ったまち	地域の住民が協力して魅力ある地域づくりを進めるまち	歴史や文化的な資源を大切にするまち	その他	無回答
単位		(%)														
全体		911	17.3	26.1	28.8	26.3	12.5	10.5	42.3	26.6	44.7	21.4	14.3	4.6	2.9	2.2
性別	男性	387	19.1	31.3	31.5	30.7	10.9	12.9	35.1	24.3	40.1	22.0	15.2	5.2	3.4	1.6
	女性	485	16.1	23.5	27.2	22.7	13.6	8.7	47.2	27.6	48.9	21.6	13.4	4.3	1.9	2.1
	無回答	39	15.4	7.7	20.5	28.2	15.4	10.3	51.3	35.9	38.5	12.8	15.4	2.6	10.3	10.3
年齢	18歳～29歳	45	13.3	35.6	33.3	24.4	11.1	13.3	51.1	17.8	35.6	37.8	4.4	2.2	-	-
	30歳～39歳	97	12.4	22.7	37.1	20.6	9.3	15.5	34.0	28.9	36.1	44.3	6.2	6.2	8.2	1.0
	40歳～49歳	159	11.9	30.2	32.1	20.1	12.6	12.6	50.3	28.9	46.5	23.3	8.2	3.1	2.5	1.9
	50歳～59歳	143	16.8	25.2	35.7	23.1	9.1	10.5	42.0	26.6	53.1	21.0	14.0	2.1	0.7	1.4
	60歳～69歳	179	19.0	27.4	19.6	29.1	15.1	11.2	40.8	24.6	46.9	16.8	17.3	5.6	3.4	1.7
	70歳以上	263	22.8	24.0	26.6	32.7	14.8	7.2	38.8	27.0	43.0	12.9	20.2	6.1	1.5	3.0
	無回答	25	12.0	16.0	16.0	24.0	4.0	4.0	56.0	28.0	36.0	16.0	20.0	4.0	12.0	12.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	24.7	16.4	24.7	28.8	5.5	16.4	43.8	38.4	45.2	12.3	9.6	11.0	2.7	1.4
	白井第二	37	24.3	21.6	21.6	43.2	2.7	24.3	45.9	27.0	29.7	10.8	16.2	8.1	2.7	-
	白井第三	138	23.9	19.6	23.9	22.5	15.2	18.8	43.5	31.2	36.2	21.0	15.2	2.9	2.9	2.9
	大山口	127	19.7	29.9	31.5	27.6	10.2	3.1	40.2	19.7	48.0	25.2	17.3	4.7	3.1	0.8
	清水口	106	20.8	31.1	30.2	33.0	12.3	8.5	46.2	24.5	41.5	16.0	11.3	4.7	2.8	1.9
	七次台	88	9.1	30.7	30.7	22.7	12.5	11.4	52.3	29.5	47.7	20.5	5.7	1.1	1.1	2.3
	南山	124	12.1	25.8	43.5	25.8	13.7	7.3	38.7	21.0	48.4	23.4	20.2	4.8	0.8	0.8
	池の上	99	15.2	30.3	35.4	17.2	17.2	6.1	39.4	30.3	49.5	24.2	10.1	-	2.0	3.0
	桜台	104	11.5	26.9	12.5	29.8	15.4	10.6	36.5	25.0	48.1	28.8	20.2	7.7	4.8	1.9
	無回答	15	6.7	20.0	13.3	13.3	6.7	-	33.3	13.3	46.7	20.0	6.7	6.7	20.0	26.7

下線：第1位

（２）充実していくべき空き家対策

【問 22】あなたは、市内にある空き家への対策として、市はどのような取組を充実させていくべきだと思いますか。次の中から１つ選んで番号に○をつけてください。



市が充実していくべき空き家対策については、「空き家を活用するための制度づくり」（54.0％）が５割台半ばと最も高くなっています。次いで「空き家情報を集約・発信」（22.5％）、「相続に関する法律などの相談窓口の設置」（9.8％）となっています。

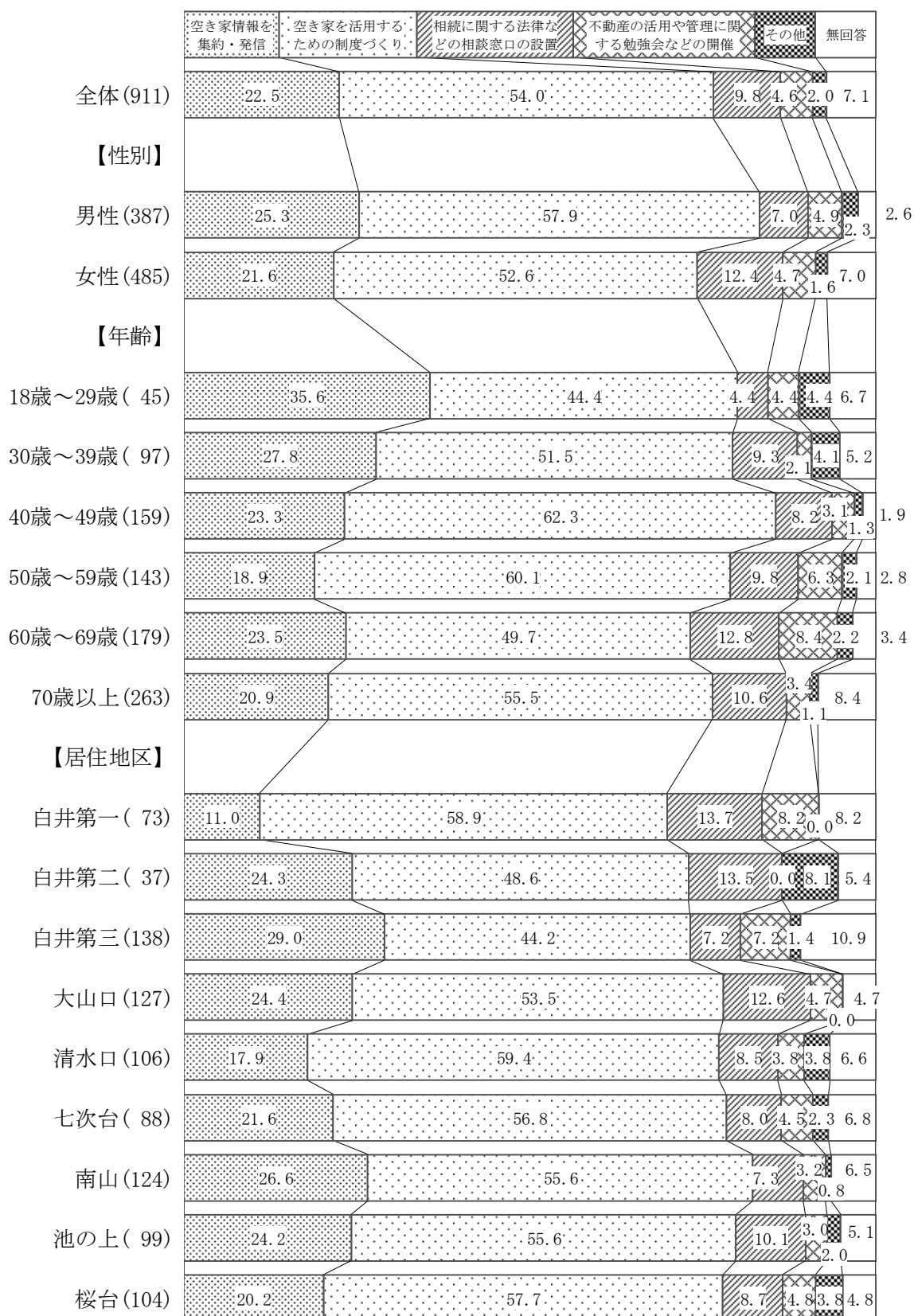
【属性別】

性別にみると、男性では「空き家を活用するための制度づくり」が女性よりも５ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、40歳代、50歳代で「空き家を活用するための制度づくり」が６割を超えて高くなっています。また、10歳代・20歳代、30歳代で「空き家情報を集約・発信」が他の年齢層と比べて高くなっています。

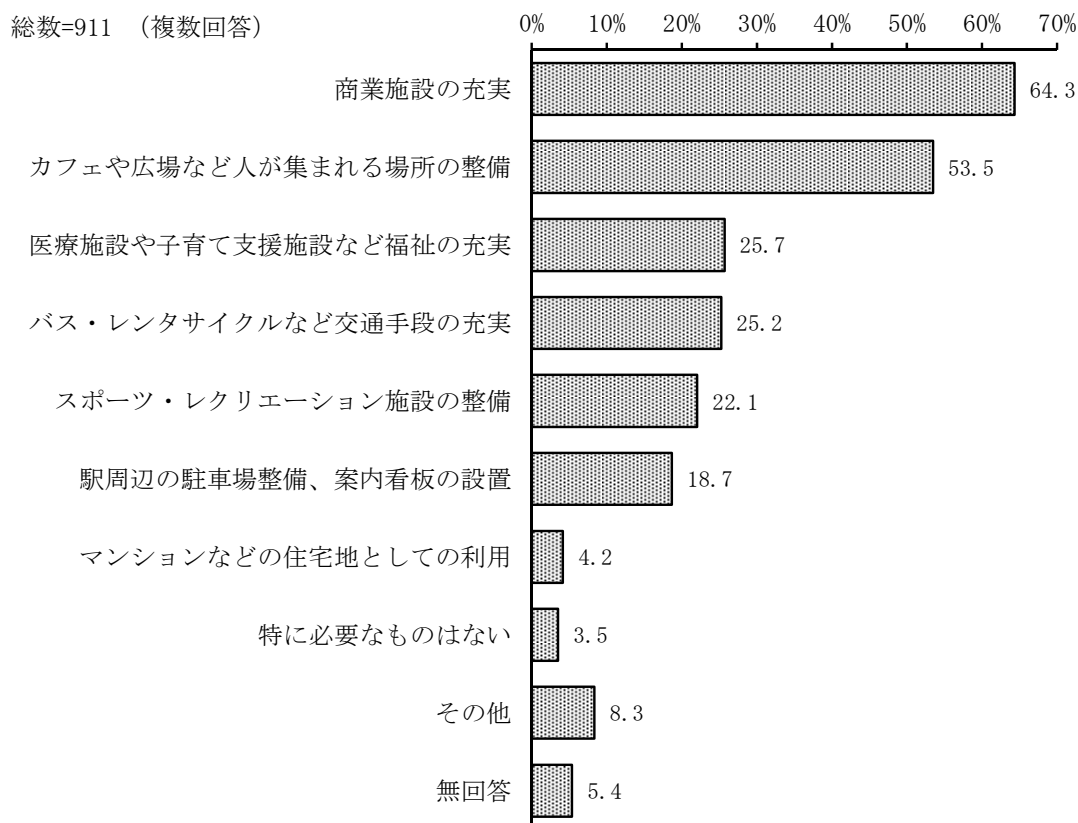
居住地区別にみると、白井第三小学校区では、他の小学校区と比べて「空き家情報を集約・発信」が高く、「空き家を活用するための制度づくり」が低くなっています。

単位：％



（３）白井駅前の魅力が高くなる方法

【問 23】あなたは、どうすれば市の中心拠点である白井駅前の魅力が高くなると思いますか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



白井駅前の魅力が高くなる方法について、「商業施設の充実」（64.3％）と「カフェや広場など人が集まれる場所の整備」（53.5％）が５割以上と高くなっています。次いで「医療施設や子育て支援施設など福祉の充実」（25.7％）、「バス・レンタサイクルなど交通手段の充実」（25.2％）、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」（22.1％）となっています。

【属性別】

性別にみると、男女とも「商業施設の充実」、「カフェや広場など人が集まれる場所の整備」が高く、次いで、男性では「スポーツ・レクリエーション施設の整備」が、女性では「バス・レンタサイクルなど交通手段の充実」が高くなっています。

年齢別にみると、10歳代・20歳代では「カフェや広場など人が集まれる場所の整備」が７割弱と最も高くなっています。また、30歳代では「医療施設や子育て支援施設など福祉の充実」が他の年齢層と比べて高くなっています。

居住地区別にみると、全ての小学校区で「商業施設の充実」が最も高く、特に白井第二小学校区では８割を超えて高くなっています。その他、南山小学校区では「カフェや広場など人が集まれる場所の整備」、白井第二小学校区では「バス・レンタサイクルなど交通手段の充実」が他の小学校区と比べて高くなっています。

【問23】白井駅前の魅力が高くなる方法 【3つまでの複数回答】

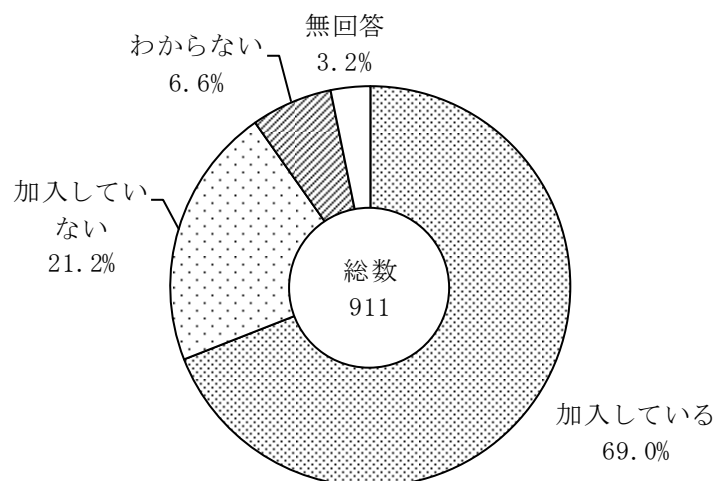
		全体	商業施設の充実	マンションなどの住宅地としての利用	スポーツ・レクリエーション施設の整備	医療施設や子育て支援施設など福祉の充実	カフェや広場など人が集まれる場所の整備	駅周辺の駐車場整備、案内看板の設置	バス・レンタサイクルなど交通手段の充実	特に必要なものはない	その他	無回答
単位		(%)										
全体		911	64.3	4.2	22.1	25.7	53.5	18.7	25.2	3.5	8.3	5.4
性別	男性	387	68.7	5.9	26.6	25.8	50.1	18.9	21.2	4.4	9.3	2.3
	女性	485	63.5	3.1	20.0	27.0	58.4	19.4	29.3	2.9	7.6	3.9
	無回答	39	30.8	-	2.6	7.7	25.6	7.7	15.4	2.6	7.7	53.8
年齢	18歳～29歳	45	60.0	6.7	15.6	20.0	68.9	13.3	37.8	2.2	17.8	4.4
	30歳～39歳	97	64.9	3.1	24.7	40.2	60.8	22.7	12.4	2.1	12.4	3.1
	40歳～49歳	159	74.8	2.5	23.3	19.5	67.3	17.6	21.4	3.8	5.7	-
	50歳～59歳	143	69.9	6.3	20.3	23.8	55.2	19.6	20.3	4.9	7.0	-
	60歳～69歳	179	63.7	5.0	26.3	23.5	52.5	20.7	25.1	3.4	6.7	3.4
	70歳以上	263	60.5	3.8	21.3	29.3	43.7	18.6	35.0	3.8	9.5	6.8
	無回答	25	16.0	-	4.0	8.0	8.0	-	4.0	-	-	80.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	64.4	1.4	20.5	15.1	57.5	27.4	35.6	2.7	5.5	5.5
	白井第二	37	81.1	5.4	5.4	21.6	64.9	27.0	45.9	2.7	5.4	-
	白井第三	138	55.8	4.3	20.3	21.7	43.5	30.4	29.7	3.6	8.7	8.7
	大山口	127	61.4	4.7	19.7	35.4	50.4	9.4	25.2	3.1	8.7	4.7
	清水口	106	61.3	3.8	25.5	25.5	50.0	14.2	27.4	1.9	8.5	7.5
	七次台	88	71.6	1.1	14.8	21.6	47.7	30.7	33.0	4.5	6.8	2.3
	南山	124	72.6	4.0	29.0	25.8	71.8	9.7	16.1	2.4	12.1	2.4
	池の上	99	68.7	5.1	22.2	31.3	62.6	11.1	17.2	4.0	8.1	4.0
	桜台	104	57.7	6.7	26.0	26.9	43.3	17.3	14.4	6.7	8.7	7.7
	無回答	15	53.3	6.7	40.0	20.0	40.0	20.0	26.7	-	-	13.3

下線：第1位

12 自治会への加入について

(1) 自治会（区・町会を含む）への加入状況

【問 24】あなたは自治会（区・町会を含む）に加入していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



自治会の加入状況については、「加入している」（69.0％）が約7割となっています。一方で、「加入していない」（21.2％）は2割強となっています。

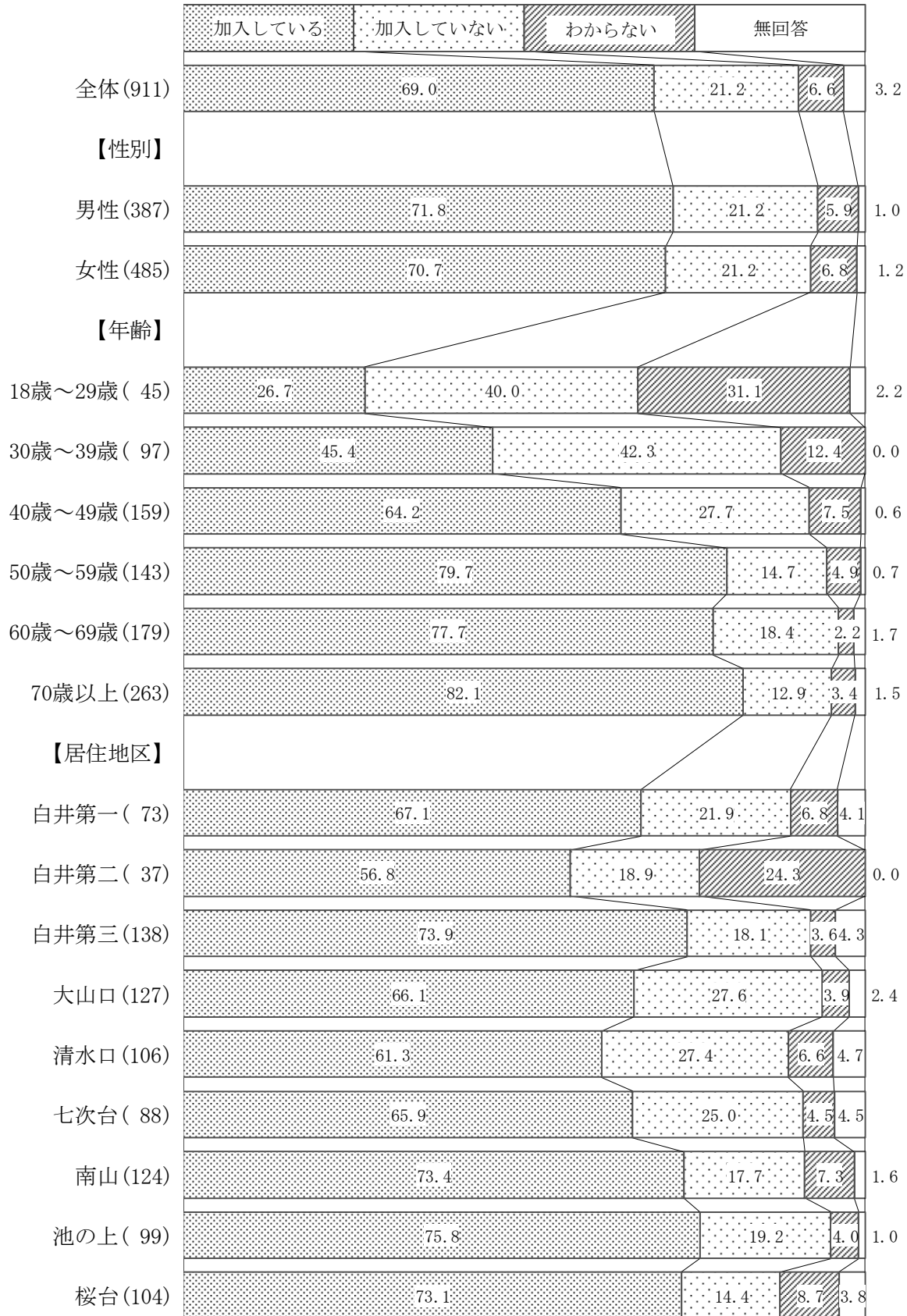
【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、「加入している」は高齢層ほど高く、「加入していない」は30歳代を中心に、若年層ほど高くなっています。

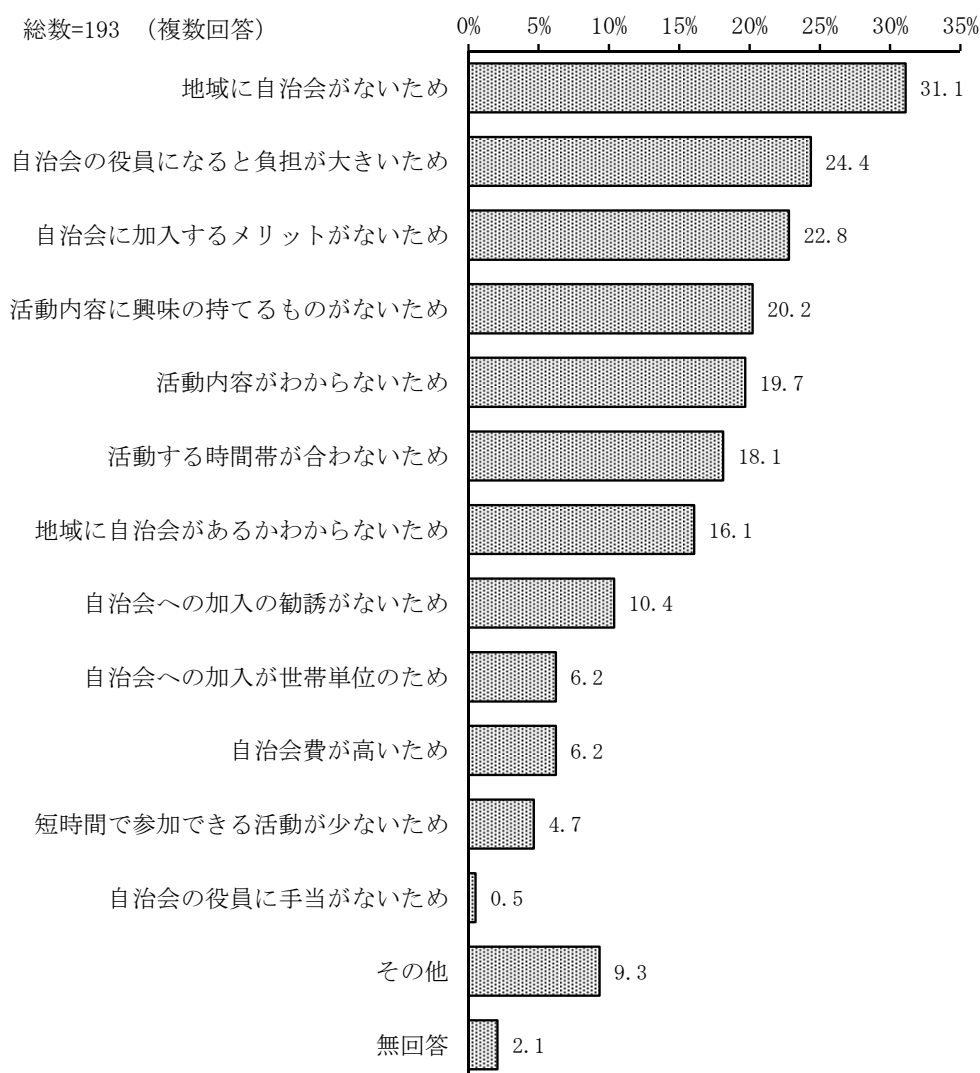
居住地区別にみると、白井第二小学校区では「加入している」が5割台半ばと他の小学校区と比べて低く、また「わからない」が2割台半ばと他の小学校区と比べて突出して高くなっています。

単位: %



（２）自治会に加入していない理由

【問 24－１】あなたが、自治会に加入していない理由は何ですか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



自治会に加入していない理由については、「地域に自治会がないため」(31.1%) が３割強と最も高くなっています。次いで「自治会の役員になると負担が大きいため」(24.4%)、「自治会に加入するメリットがないため」(22.8%)、「活動内容に興味の持てるものがないため」(20.2%) となっています。

【属性別】

性別にみると、男女ともに「地域に自治会がないため」が最も高くなっています。その他、男性では「活動内容がわからないため」、「活動内容に興味の持てるものがないため」といった内容に関する項目が高く、女性では「自治会の役員になると負担が大きいため」が高くなっています。

【問24-1】自治会に加入していない理由 【3つまでの複数回答】

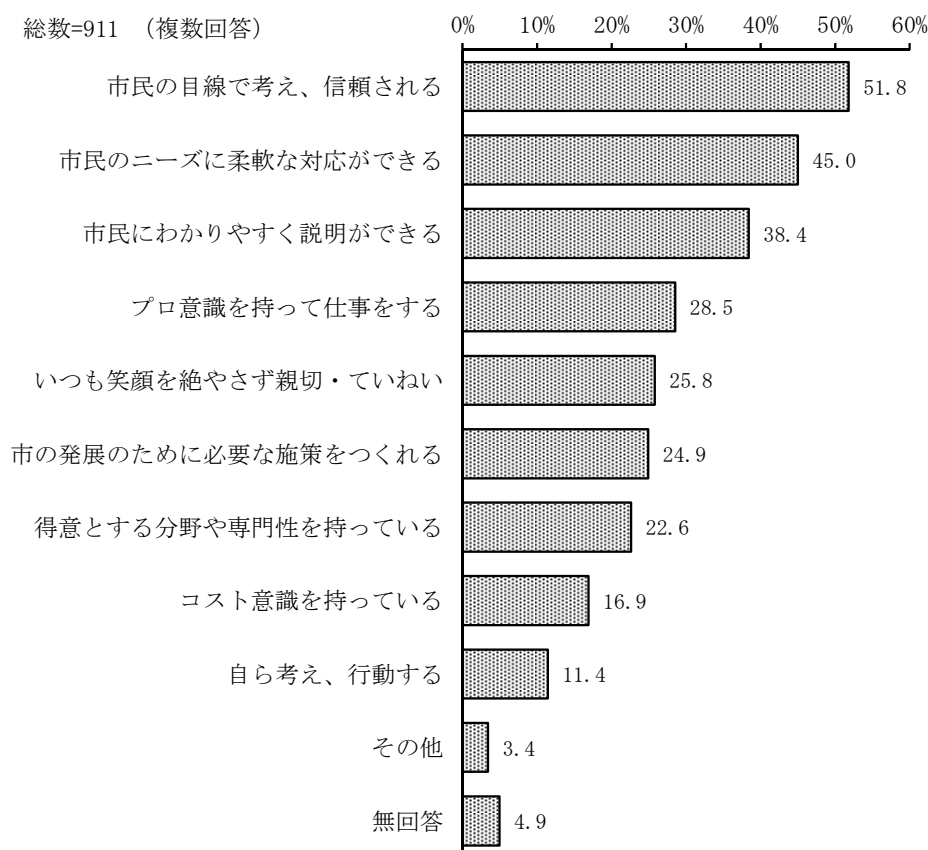
		全体	活動内容がわからないため	活動内容に興味の持てるものがないため	地域に自治会がないため	地域に自治会があるかわからないため	自治会への加入が世帯単位のため	自治会への加入の勧誘がないため	自治会に加入するメリットがないため	自治会の役員になると負担が大きいため	自治会の役員に手当がないため	自治会費が高いため	活動する時間帯が合わないため	短時間で参加できる活動が少ないため	その他	無回答
単位		(%)														
全体		193	19.7	20.2	31.1	16.1	6.2	10.4	22.8	24.4	0.5	6.2	18.1	4.7	9.3	2.1
性別	男性	82	26.8	25.6	26.8	17.1	4.9	12.2	24.4	15.9	1.2	3.7	20.7	4.9	7.3	2.4
	女性	103	13.6	16.5	35.0	13.6	7.8	8.7	20.4	30.1	-	8.7	15.5	2.9	10.7	1.9
	無回答	8	25.0	12.5	25.0	37.5	-	12.5	37.5	37.5	-	-	25.0	25.0	12.5	-
年齢	18歳～29歳	18	22.2	33.3	5.6	22.2	16.7	5.6	16.7	11.1	-	-	22.2	5.6	5.6	-
	30歳～39歳	41	19.5	17.1	34.1	17.1	4.9	24.4	17.1	14.6	-	2.4	17.1	-	9.8	2.4
	40歳～49歳	44	15.9	25.0	34.1	15.9	4.5	6.8	29.5	38.6	2.3	11.4	15.9	4.5	4.5	2.3
	50歳～59歳	21	23.8	19.0	33.3	19.0	-	-	33.3	23.8	-	4.8	28.6	4.8	-	-
	60歳～69歳	33	18.2	15.2	36.4	15.2	-	15.2	30.3	33.3	-	15.2	21.2	6.1	6.1	-
	70歳以上	34	23.5	17.6	29.4	8.8	14.7	2.9	8.8	17.6	-	-	11.8	8.8	23.5	5.9
	無回答	2	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-
居住地区（小学校区）	白井第一	16	18.8	18.8	25.0	25.0	18.8	6.3	18.8	31.3	-	6.3	18.8	6.3	12.5	-
	白井第二	7	28.6	42.9	-	-	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	-	-	-	28.6	-
	白井第三	25	16.0	28.0	4.0	20.0	4.0	8.0	44.0	32.0	-	20.0	16.0	8.0	8.0	8.0
	大山口	35	11.4	20.0	25.7	14.3	2.9	17.1	37.1	31.4	-	11.4	22.9	5.7	2.9	-
	清水口	29	24.1	13.8	48.3	20.7	6.9	6.9	10.3	6.9	-	-	13.8	3.4	6.9	-
	七次台	22	18.2	22.7	13.6	4.5	-	18.2	18.2	36.4	-	9.1	27.3	4.5	13.6	4.5
	南山	22	22.7	13.6	31.8	4.5	9.1	-	13.6	27.3	-	-	22.7	9.1	18.2	4.5
	池の上	19	10.5	15.8	84.2	15.8	5.3	5.3	10.5	15.8	-	-	10.5	-	-	-
	桜台	15	40.0	26.7	33.3	26.7	6.7	13.3	20.0	13.3	-	-	20.0	-	6.7	-
	無回答	3	33.3	-	33.3	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-

下線：第1位

13 市の職員や行財政改革について

(1) 市の職員に特に重要なもの

【問 25】あなたは、次の職員像のうち、市の職員に特に重要なものは何だと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。



市の職員に特に重要なものについては、「市民の目線で考え、信頼される」(51.8%)が5割強で最も高くなっています。次いで「市民のニーズに柔軟な対応ができる」(45.0%)、「市民にわかりやすく説明ができる」(38.4%)となっています。

【属性別】

性別にみると、男性では女性よりも「コスト意識を持っている」が、女性では男性よりも「市民にわかりやすく説明ができる」がそれぞれ10ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、40歳代では「市民のニーズに柔軟な対応ができる」が最も高くなっています。また、10歳代・20歳代では「市の発展のために必要な施策をつくれる」が4割と他の年齢層と比べて高くなっています。

居住地区別にみると、大山口小学校区、桜台小学校区では「市民のニーズに柔軟な対応ができる」が最も高くなっています。

【問25】市の職員に特に重要なもの 【3つまでの複数回答】

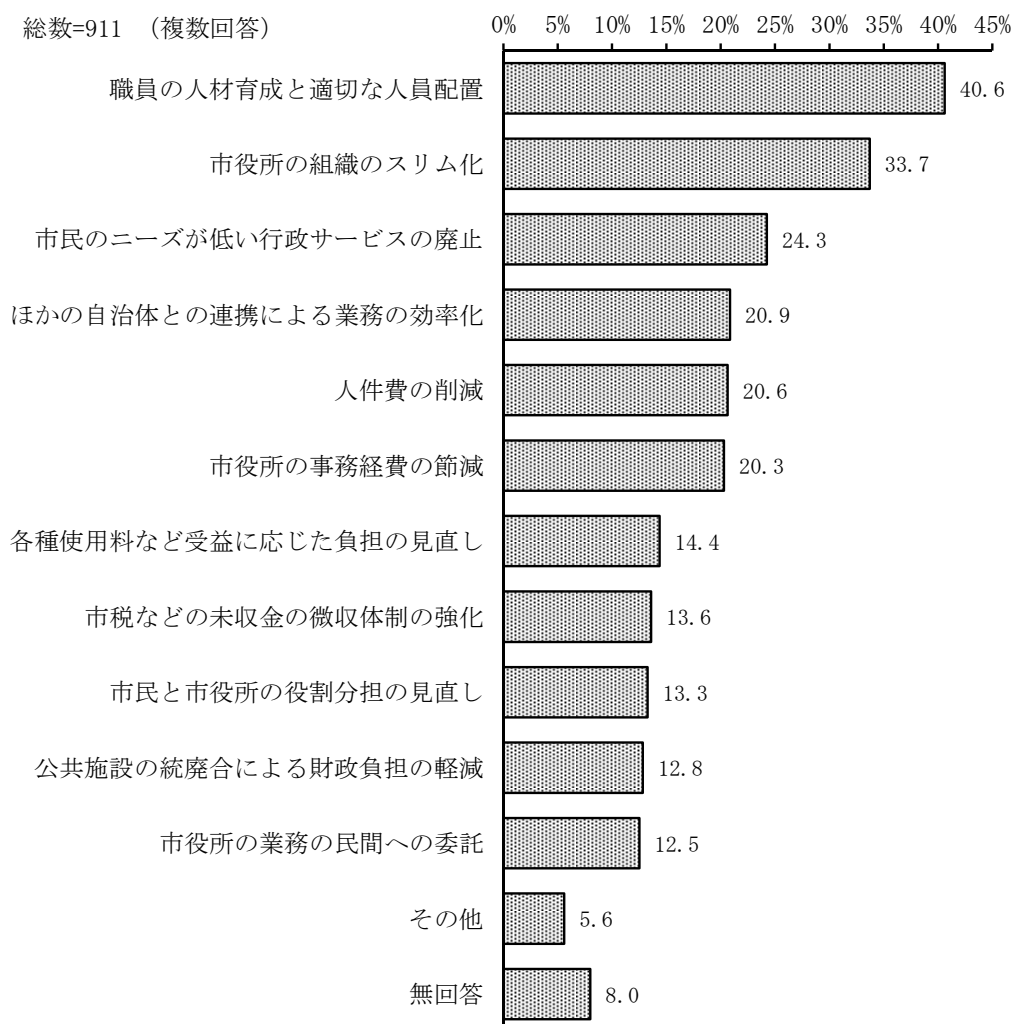
		全体	市民の目線で考え、信頼される	プロ意識を持って仕事をする	市民にわかりやすく説明ができる	市の発展のために必要な施策をつくれる	市民のニーズに柔軟な対応ができる	得意とする分野や専門性を持っている	自ら考え、行動する	いつも笑顔を絶やさず親切・ていねい	コスト意識を持っている	その他	無回答
単位		(%)											
全体		911	51.8	28.5	38.4	24.9	45.0	22.6	11.4	25.8	16.9	3.4	4.9
性別	男性	387	50.6	29.5	33.1	25.1	45.7	24.5	14.5	23.5	24.0	4.4	2.8
	女性	485	55.3	28.2	44.3	26.2	47.4	21.6	9.7	28.5	12.0	2.3	2.7
	無回答	39	20.5	23.1	17.9	7.7	7.7	15.4	2.6	15.4	7.7	7.7	53.8
年齢	18歳～29歳	45	46.7	26.7	40.0	40.0	44.4	15.6	8.9	28.9	15.6	2.2	4.4
	30歳～39歳	97	52.6	28.9	43.3	20.6	42.3	21.6	10.3	35.1	16.5	7.2	2.1
	40歳～49歳	159	52.2	27.7	41.5	24.5	53.5	25.2	7.5	28.3	15.1	5.0	-
	50歳～59歳	143	49.0	28.7	39.2	24.5	46.9	27.3	16.8	25.9	15.4	3.5	2.1
	60歳～69歳	179	53.1	34.1	35.2	22.3	52.5	24.0	13.4	19.6	22.9	1.1	1.7
	70歳以上	263	57.0	27.8	39.9	27.8	38.8	20.9	11.0	26.6	16.7	2.7	5.3
	無回答	25	8.0	4.0	-	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0	-	4.0	84.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	42.5	24.7	39.7	37.0	32.9	28.8	6.8	20.5	15.1	4.1	9.6
	白井第二	37	62.2	16.2	56.8	8.1	48.6	16.2	10.8	45.9	8.1	5.4	-
	白井第三	138	50.7	31.2	41.3	17.4	39.9	22.5	10.1	27.5	13.0	5.8	6.5
	大山口	127	40.9	26.0	44.1	29.1	47.2	22.0	13.4	26.0	20.5	2.4	4.7
	清水口	106	52.8	32.1	34.0	20.8	46.2	23.6	11.3	20.8	21.7	3.8	4.7
	七次台	88	71.6	29.5	34.1	26.1	45.5	18.2	12.5	29.5	15.9	1.1	2.3
	南山	124	53.2	33.1	32.3	34.7	45.2	21.8	14.5	21.8	13.7	2.4	4.8
	池の上	99	49.5	29.3	38.4	23.2	45.5	27.3	9.1	27.3	20.2	2.0	3.0
	桜台	104	53.8	26.9	37.5	22.1	53.8	21.2	12.5	25.0	20.2	3.8	2.9
	無回答	15	40.0	13.3	26.7	13.3	46.7	20.0	6.7	26.7	6.7	6.7	26.7

下線：第1位

（２）特に力を入れる必要がある行財政改革の取組

【問 26】あなたは、市の行財政改革の取組で、特に力を入れる必要があるものは何だと思いますか。

次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



特に力を入れる必要がある行財政改革の取組については、「職員の人材育成と適切な人員配置」（40.6%）が約４割と最も高くなっています。次いで「市役所の組織のスリム化」（33.7%）、「市民のニーズが低い行政サービスの廃止」（24.3%）となっています。

【属性別】

性別にみると、男女で傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、10歳代・20歳代では「市役所の組織のスリム化」と「市民のニーズが低い行政サービスの廃止」が最も高くなっています。60歳代、70歳以上では「市役所の組織のスリム化」が他の年齢層と比べて高くなっています。

居住地区別にみると、白井第三小学校区、七次台小学校区では「市役所の組織のスリム化」、桜台小学校区では「ほかの自治体との連携による業務の効率化」が最も高くなっています。

【問26】特に力を入れる必要がある行財政改革の取組 【3つまでの複数回答】

		全体	市役所の組織のスリム化	市役所の業務の民間への委託	市民と市役所の役割分担の見直し	職員の人材育成と適切な人員配置	市税などの未収金の徴収体制の強化	人件費の削減	市役所の事務経費の節減	市民のニーズが低い行政サービスの廃止	公共施設の統廃合による財政負担の軽減	各種使用料など受益に応じた負担の見直し	ほかの自治体との連携による業務の効率化	その他	無回答
単位		(%)													
全体		911	33.7	12.5	13.3	40.6	13.6	20.6	20.3	24.3	12.8	14.4	20.9	5.6	8.0
性別	男性	387	37.7	16.0	15.5	38.5	16.0	22.5	22.7	26.9	16.3	13.2	23.8	7.2	1.6
	女性	485	31.3	10.5	12.4	43.3	12.2	19.6	18.8	23.7	10.9	16.5	19.6	4.3	9.3
	無回答	39	23.1	2.6	2.6	28.2	7.7	15.4	15.4	5.1	2.6	-	7.7	5.1	56.4
年齢	18歳～29歳	45	33.3	15.6	15.6	28.9	13.3	28.9	8.9	33.3	17.8	17.8	20.0	6.7	2.2
	30歳～39歳	97	27.8	17.5	7.2	35.1	10.3	13.4	20.6	24.7	7.2	15.5	25.8	10.3	6.2
	40歳～49歳	159	25.8	14.5	9.4	47.8	13.2	17.0	15.1	30.8	13.8	17.6	26.4	3.1	3.1
	50歳～59歳	143	28.0	16.8	16.1	40.6	16.1	18.9	23.1	23.1	14.0	18.2	22.4	4.9	1.4
	60歳～69歳	179	42.5	7.8	12.8	43.0	9.5	24.0	25.7	23.5	12.8	12.8	24.6	6.1	4.5
	70歳以上	263	40.7	11.0	17.5	41.1	17.5	24.0	21.3	22.1	13.7	11.8	14.4	5.7	11.4
	無回答	25	4.0	-	-	16.0	4.0	8.0	8.0	-	4.0	-	-	-	84.0
居住地区（小学校区）	白井第一	73	32.9	11.0	15.1	43.8	19.2	21.9	20.5	26.0	20.5	9.6	15.1	1.4	11.0
	白井第二	37	27.0	16.2	5.4	45.9	18.9	37.8	27.0	27.0	18.9	13.5	5.4	5.4	5.4
	白井第三	138	36.2	7.2	13.0	34.1	14.5	26.8	21.7	23.9	11.6	12.3	15.2	7.2	11.6
	大山口	127	32.3	17.3	13.4	40.9	11.0	23.6	18.1	23.6	12.6	13.4	19.7	7.1	8.7
	清水口	106	32.1	10.4	13.2	43.4	13.2	15.1	22.6	25.5	14.2	17.0	25.5	6.6	5.7
	七次台	88	39.8	9.1	18.2	37.5	15.9	12.5	20.5	20.5	12.5	13.6	20.5	4.5	6.8
	南山	124	31.5	15.3	14.5	43.5	13.7	13.7	17.7	28.2	12.1	17.7	21.8	5.6	6.5
	池の上	99	39.4	14.1	11.1	44.4	12.1	23.2	16.2	23.2	11.1	14.1	17.2	7.1	4.0
	桜台	104	28.8	15.4	13.5	36.5	10.6	20.2	21.2	23.1	8.7	16.3	38.5	3.8	6.7
	無回答	15	33.3	-	-	46.7	6.7	20.0	33.3	13.3	13.3	13.3	13.3	-	33.3

下線：第1位

Ⅲ アンケート調査票



白井市のまちづくりについて みなさまのご意見をお聞かせください



白井市住民意識調査へのご協力のお願い

日頃から白井市のまちづくりにご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、市では、市民の皆さんとともに目指すまちづくりの方向性を描いた「白井市第5次総合計画前期基本計画」が令和2（2020）年度末に終了することから、新たに令和3（2021）年度から始まる後期基本計画の策定に向け、準備を進めています。

「白井市住民意識調査」は、まちづくりに対する市民の皆様からの意見や意向をお聞きし、計画策定のために活用させていただくことを目的に実施するものです。

この調査は、市内在住の18歳以上の市民から無作為に選んだ2,500人の方々にお願いしております。調査票は無記名であり、お答えいただいた内容は統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけするようなことは一切ありません。

お忙しいなか、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元（2019）年6月

白井市長 笠井 喜久雄

ご記入にあたってのお願い

1. あて名のご本人がご自分の考えでお答えください。
2. 選択する○の数や、次の問への進み方にご注意ください。
3. お答えの中で「その他」を選んだときは、具体的内容を記入してください。
4. この調査票には、住所・氏名をお書きになる必要はありません。

この調査票にご記入いただきましたら、恐縮ですが同封の返信用封筒で

7月5日（金）までにご投函ください。

（切手をお貼りいただく必要はありません）

※この調査に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

白井市役所 企画財政部 企画政策課 企画政策班
電 話：047-492-1111（内線 3352・3353）
E-mail：kikaku-seisaku@city.shiroi.chiba.jp

〒270-1492 白井市復 1123
FAX：047-491-3510

白井市で暮らすことについてお聞きします。

【問1】あなたは、白井市についてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

好き	どちらかという と好き	どちらとも いえない	どちらかという と嫌い	嫌い
1	2	3	4	5

【問2】あなたは、白井市の住みやすさについてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

住みやすい	どちらかという と住みやすい	どちらとも いえない	どちらかという と住みにくい	住みにくい
1	2	3	4	5

【問3】あなたは、これからずっと白井市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に移住したいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

永住したい	当分住み 続けたい	どちらとも いえない	できれば 移住したい	必ず 移住したい	わからない
1	2	3	4	5	6

【問3】で1、2を選んだ人→【問3-1】(住み続けたい理由)へ
3、6を選んだ人→【問4】へ
4、5を選んだ人→【問3-2】(移住したい理由)へ

【問3-1】あなたが、白井市に住み続けたいと思【問3-2】あなたが、白井市から市外に移住したい理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 日常生活が便利だから 2. 通勤・通学に便利だから 3. 自然環境が良いから 4. 教育環境が良いから 5. 市の発展に期待できるから 6. 友達や知り合いがいるから 7. まちに愛着があるから 8. 生まれ育ったまちだから 9. 持ち家があるから 10. 他に住みたいまちが見つからないから 11. 転居するには経済的負担が大きいから 12. 転居するには身体的負担が大きいから 13. その他 (具体的に：)	1. 日常生活が不便だから 2. 通勤・通学に不便だから 3. 交通費が割高だから 4. 自然環境が悪いから 5. 教育環境が悪いから 6. 市の発展に期待できないから 7. 友達や知り合いがいないから 8. まちに愛着を持ってないから 9. 他に住みたいまちがあるから 10. 住宅が手狭になったから 11. 住宅の維持管理が難しいから 12. 住宅に段差などがあって住みにくいから 13. その他 (具体的に：)
---	--

市政についてお聞きます。

【問4】あなたは、市の情報をどこから入手していますか。次の中から該当するものすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 広報しろい	7. 市のホームページ
2. 広報しろい以外の市の発行物	8. メール配信サービス
3. 議会だより	9. SNS（なし坊ツイッター）
4. 新聞	10. ケーブルテレビ（CATV）
5. 地域の新聞やミニコミ誌	11. 友人・知人
6. 公共施設などの掲示板	12. その他
	（具体的に： _____）

【問5】あなたは、市政にどの程度関心を持っていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

大いに 関心がある	関心がある	どちらとも いえない	関心がない	全く 関心がない
1	2	3	4	5

【問5】で1、2、3を選んだ人→【問6】へ
4、5を選んだ人→【問5-1】（関心がない理由）へ

【問5-1】あなたが、市政に関心がない理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 自分の暮らしにあまり関係がないから
2. 自分の暮らしに不自由がないから
3. 忙しくて暇がないから
4. 市の情報が不足しているから
5. 市民の意見が反映されないから
6. 市役所の仕事だと思うから
7. 市政のことは難しいから
8. 市政に期待していないから
9. 市政のことはわからないから
10. その他
（具体的に： _____）

市の取組についてお聞きます。

【問6】次に示した市の取組について、あなたの現在の満足度はいかがですか。また、これからの重要度はどのようにお考えですか。58の取組のすべてについて、満足度と重要度をそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

		現在の満足度						これからの重要度				
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要ではない
子育て	1 子どもの医療費助成など子育て支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	2 保育園の整備など子育ての環境づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	3 障がい児への療育の支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	4 児童や青少年の健全育成	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
教育	5 小・中学校での教育・指導内容	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	6 学校施設の整備・安全対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	7 地域の教育資源を活用した開かれた学校づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	8 小学校へのスムーズな就学のための幼児教育の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
防災・防犯	9 地震・台風などに備えた防災対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	10 火災に対する消防体制や緊急時の救急体制	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	11 交通安全対策や防犯対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
福祉	12 障がい者への福祉サービス	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	13 高齢者への福祉サービス	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	14 保健や福祉の相談窓口機能の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	15 バリアフリーの環境づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	16 独居高齢者の見守りなど地域福祉活動の支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
人権	17 差別、偏見、虐待などを防止する人権対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	18 男女共同参画社会（※）づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	19 国際交流など国際化の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	20 平和意識の啓発や平和教育の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
健康・保健・医療	21 健康づくりの推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	22 乳幼児健診など母子の健康対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	23 がん検診など病気の予防対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	24 休日・夜間や緊急時の医療体制	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
市民活動	25 地区コミュニティの活性化の支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	26 公益的市民活動団体などへの支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
生涯学習	27 各センターでの講座開催など生涯学習活動の支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	28 スポーツ活動の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	29 文化・芸術活動の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	30 歴史・文化財の保存と活用	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5

※「男女共同参画社会」とは、男性も女性も、対等の立場で家庭、地域、職場など社会の様々な分野で活動し、互いに尊重し、責任を分かち合い、その能力や個性を十分発揮することができる社会をいいます。

		現在の満足度						これからの重要度				
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要ではない
産業振興	31 多様な形態の農業経営と担い手の支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	32 農業体験など農業・農村交流の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	33 商店街や工業団地などの活性化の支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	34 企業誘致の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	35 就労希望者への雇用対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	36 消費者被害の防止など消費者保護の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
自然環境・生活環境	37 自然環境の保全	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	38 市民の森など自然とふれあう場の提供	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	39 環境学習や環境美化活動の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	40 騒音・振動・悪臭などの公害対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	41 不法投棄防止対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	42 ゴミの減量とリサイクルの推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	43 ゴミの収集と処理の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	44 地球温暖化防止対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
住環境・生活基盤	45 計画的な土地利用・開発	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	46 公園の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	47 地域の特性を生かした景観づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	48 道路の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	49 橋梁や河川の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	50 上・下水道の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	51 斎場や墓園の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	52 鉄道の運賃問題対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	53 路線バスや循環バスの利便性向上の取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
行政・市民参加・協働	54 人材育成など市民自治の仕組みづくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	55 行政評価など効率的な行政運営の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	56 健全な財政運営の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	57 情報公開や広報・PR活動の取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	58 市民参加・協働の取組	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5

子育て支援についてお聞きします。

【問7】あなたは、市の子育て支援施策として、どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。
次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 親子が安心して集える身近な場や機会の充実	9. 子育てについて学べる機会
2. 子ども連れでも出かけやすく楽しめる場づくり	10. 医療費への助成
3. 子どもたちが様々な人と交流する機会の提供	11. 乳幼児健診などの母子保健の充実
4. 中学生・高校生の居場所づくり	12. 子育て家庭の家賃や教育ローンへの助成
5. 必要な時に誰でも利用できる保育サービス	13. 学童保育の充実
6. 子育て情報が入手でき相談できる窓口サービス	14. 企業に対する職場環境の改善の働きかけ
7. 保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減	15. その他
8. 子どもが安心して医療機関にかかる体制	(具体的に：)

学校教育についてお聞きします。

【問8】あなたは、市の学校教育施策として、どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。
次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 子どもの基礎的な知識や技能の向上	9. 地域の食材を生かした「食育」の実施
2. 子ども自らが学び、思考し、表現する力の育成	10. 学校・家庭・地域の連携による教育支援
3. 豊かな人間性や社会性・道徳心の育成	11. 地域との交流による幅広い学びの機会の提供
4. 体力づくりの推進	12. 学校施設や設備の改善
5. 個性を生かし、のびのびとした学校生活の実現	13. その他
6. 少人数指導などきめ細かな指導の推進	(具体的に：)
7. いじめ防止対策の推進	
8. 職業体験などキャリア教育の充実	

防災についてお聞きします。

【問9】今後大きな地震が発生した場合、あなたが心配に思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 自宅が倒壊すること	8. ライフラインが停止すること
2. 家族や知人の安否確認ができないこと	9. 土砂崩れやがけ崩れが起こること
3. 避難行動要支援者が避難できないこと	10. 火災が発生すること
4. 避難場所で生活すること	11. 情報が混乱すること
5. 食糧や飲料水、必要物資が確保できないこと	12. 地域で助け合いができないこと
6. 外出（仕事）先から帰宅できないこと	13. その他
7. 医療機関で診療を受けられないこと	(具体的に：)

【問１０】あなたは、災害全般に関して日頃からどのような知識や情報を得たいと思いますか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 家庭のできる防災の心構えや準備	7. 連絡手段や災害情報の入手方法
2. 家屋の耐震診断・耐震対策	8. 市や地域での災害復旧体制
3. 自主防災組織の作り方や活動内容	9. 被災者の生活確保の方法
4. 地震発生の予報	10. 住宅などの復興支援の内容
5. 市の減災(被害を減らす)の取組	11. その他
6. 避難場所や避難経路	(具体的に：)

市民参加・協働によるまちづくりについてお聞きます。

【問１１】あなたは、次のような活動に取り組んでいますか、あるいは取り組みたいと思いますか。また、その活動は市民と市役所のどちらが中心となって取り組むべきだと思いますか。12の活動のすべてについて、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

		あなたの参加					取組主体			
		既に 取り組 んでいる	今後 取り組 みたい	ど ちら とも いえ ない	取 り 組 み た く ない	わ か ら な い	市民 中心	市民 と市 役所	市役 所中 心	わか らな い
1	防犯活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4
2	防災活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4
3	交通安全活動（通学路の見守り活動など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4
4	高齢者を支援する活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4
5	障害のある人を支援する活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4
6	健康づくりに関する活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4
7	子育て世代を支援する活動（子育てボランティアなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4
8	青少年を支援する活動（子ども会・PTA 活動など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4
9	地域の祭りやイベント	1	2	3	4	5	1	2	3	4
10	文化・芸術活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4
11	環境美化活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4
12	自然保護活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4
13	文化財・伝統的文化的保護活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4

【問１２】あなたは、地域で活動するとき、どのような活動が参加しやすいと思いますか。次の中から２つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 参加したいときに参加できる活動	6. 地域や人の役に立つ活動
2. 身体的・精神的な負担がなく参加できる活動	7. 自分の経験や技術が生かせる活動
3. 団体のしがらみがなく参加できる活動	8. ある程度の収入が得られる活動
4. 身近なところで参加できる活動	9. 身近な仲間と一緒に参加できる活動
5. 自分にとってメリットがある活動	10. その他
	(具体的に：)

【問13】あなたのお住まいの地域では、防災、防犯、福祉など、地域の課題に対して、地域の住民が協力して解決に向けて取り組んでいると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------|------------|----------|
| 1. 思う | 3. あまり思わない | 5. わからない |
| 2. やや思う | 4. 思わない | |

【問14】あなたは、市で市民参加・協働によるまちづくり（※）をより一層進めるために、どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 市民と市職員の交流や意見交換の機会の充実 | 6. 市のイベントや行事の市民主体による開催 |
| 2. 市民参加・協働についての理解の促進 | 7. 市民活動・地域活動のリーダーの育成 |
| 3. まちづくりに関する情報発信の充実 | 8. 市民活動・地域活動への支援の充実 |
| 4. 市の情報公開制度の推進 | 9. 打合せや会議ができる活動の場の拡充 |
| 5. 市の計画づくりに市民が関わる機会の充実 | 10. その他 |
| （具体的に： _____） | |

※「市民参加・協働によるまちづくり」とは、市民と市が対話を通じて、それぞれの役割を認め合い、協力しながら、共通の目的である課題解決（まちづくり）を進めることをいいます。

市の生涯学習についてお聞きます。

【問15】あなたは、市の生涯学習施策として、どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1. 市民ニーズの把握 | 8. 社会教育関係団体の活動支援 |
| 2. 学習機会（公民館講座や市民大学など）の充実 | 9. 生涯学習が困難な人への支援 |
| 3. 学習内容の充実 | 10. 生涯学習人材バンクの活用 |
| 4. 学習成果を地域の活動などに生かす環境づくり | 11. 青少年の健全育成 |
| 5. 生涯学習施設（文化センターや公民館など）のサービスの充実 | 12. 文化財の保護 |
| 6. 生涯学習施設からの情報発信の充実 | 13. 市史の作成（市の歴史をまとめる） |
| 7. 市民文化芸術活動への支援 | 14. その他 |
| （具体的に： _____） | |

【問16】あなたは、市の青少年・若者施策について、どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 青少年や若者が参加できるイベントなどの情報提供 | 6. 経済的な困難を抱えている家庭への支援 |
| 2. 地域活動やまちづくりに関心をもってもらうための、学びの機会の提供 | 7. いじめや虐待などの相談窓口、不登校や引きこもりなどの自立支援 |
| 3. 青少年や若者中心のイベントやボランティアなどの自主的な活動の支援 | 8. 多様な授業（国際交流等）を取り入れるなどの学校教育 |
| 4. 地域活動を通じて、家庭・学校・地域がともに青少年を育成するまちづくり | 9. 就職に向けたサポート体制 |
| 5. 青少年活動のリーダーとなる人材の育成 | 10. その他 |
| （具体的に： _____） | |

【問１７】あなたは、市のスポーツ施策として、どのような取組を充実させていくべきだと思いますか。
次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 年齢層にあったスポーツ活動	8. 総合型地域スポーツクラブの充実
2. 障がい者スポーツの普及	9. 競技スポーツの支援
3. スポーツ教室やイベントの開催	10. スポーツを通じた健康づくり
4. 指導者の育成と活用	11. 運動習慣づくり
5. スポーツ団体の活性化	12. その他
6. スポーツに関する情報提供の充実	(具体的に：)
7. スポーツ施設の整備・充実	

市の産業振興についてお聞きます。

【問１８】あなたは、地場（市内でつくられた）の農産品を購入していますか。次の中から１つ選んで番号に○をつけてください。

1. 積極的に購入している	4. 購入しない
2. 商品を見かけた時は購入している	5. 購入するものが地場産品なのかわからない
3. 商品を見かけても購入しないことが多い	6. その他（具体的に：)

【問１９】あなたは、どこで日用品の買物をすることが多いですか。次の中から１つ選んで番号に○をつけてください。

1. 白井市内	3. 鎌ヶ谷市	5. 柏市	7. 県外
2. 印西市	4. 船橋市	6. その他県内	

【問２０】あなたは、市の中心拠点である白井駅周辺で買物や遊んだりすることは、どのくらいありますか。次の中から１つ選んで番号に○をつけてください。

1. よく利用している	3. ほとんど利用していない
2. たまに利用している	4. まったく利用していない

市のまちづくりについてお聞きます。

【問２１】あなたは、市が将来どのようなまちを目指していくべきだと思いますか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 企業や工場が立地して働く場が多くあるまち	8. 歩行者や自転車安全に移動できるまち
2. ゆとりある住宅地が広がる住環境のよいまち	9. 身近な買物の場や医療機関があるまち
3. 駅前などに商業施設などが数多く立地するまち	10. 子育て環境の整ったまち
4. 自然環境や農地などのみどりを大切にするまち	11. 地域の住民が協力して魅力ある地域づくりを進めるまち
5. 再生可能エネルギーの活用や省エネルギーが進んだ環境にやさしいまち	12. 歴史や文化的な資源を大切にするまち
6. 道路網が整った自動車移動しやすいまち	13. その他
7. 鉄道やバス交通が充実したまち	(具体的に：)

【問22】あなたは、市内にある空き家への対策として、市はどのような取組を充実させていくべきだと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 空き家情報を集約・発信	4. 不動産の活用や管理に関する勉強会などの開催
2. 空き家を活用するための制度づくり	5. その他
3. 相続に関する法律などの相談窓口の設置	(具体的に：)

【問23】あなたは、どうすれば市の中心拠点である白井駅前の魅力が高くなると思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 商業施設の充実	6. 駅周辺の駐車場整備、案内看板の設置
2. マンションなどの住宅地としての利用	7. バス・レンタサイクルなど交通手段の充実
3. スポーツ・レクリエーション施設の整備	8. 特に必要なものはない
4. 医療施設や子育て支援施設など福祉の充実	9. その他
5. カフェや広場など人が集まれる場所の整備	(具体的に：)

自治会への加入についてお聞きします。

【問24】あなたは自治会（区・町会を含む）に加入していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 加入している	2. 加入していない	3. わからない
-----------	------------	----------

【問24】で2を選んだ人→【問24-1】(加入していない理由)へ 1、3を選んだ人→【問25】へ

【問24-1】あなたが、自治会に加入していない理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 活動内容がわからないため	8. 自治会の役員になると負担が大きいため
2. 活動内容に興味の持てるものがないため	9. 自治会の役員に手当がないため
3. 地域に自治会がないため	10. 自治会費が高いため
4. 地域に自治会があるかわからないため	11. 活動する時間帯が合わないため
5. 自治会への加入が世帯単位のため	12. 短時間で参加できる活動が少ないため
6. 自治会への加入の勧誘がないため	13. その他
7. 自治会に加入するメリットがないため	(具体的に：)

市の職員や行財政改革についてお聞きします。

【問25】あなたは、次の職員像のうち、市の職員に特に重要なものは何だと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 市民の目線で考え、信頼される	6. 得意とする分野や専門性を持っている
2. プロ意識を持って仕事をする	7. 自ら考え、行動する
3. 市民にわかりやすく説明ができる	8. いつも笑顔を絶やさず親切・ていねい
4. 市の発展のために必要な施策をつくれる	9. コスト意識を持っている
5. 市民のニーズに柔軟な対応ができる	10. その他 (具体的に：)

【問26】あなたは、市の行財政改革の取組で、特に力を入れる必要があるものは何だと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 市役所の組織のスリム化	7. 市役所の事務経費の節減
2. 市役所の業務の民間への委託	8. 市民のニーズが低い行政サービスの廃止
3. 市民と市役所の役割分担の見直し	9. 公共施設の統廃合による財政負担の軽減
4. 職員の人材育成と適切な人員配置	10. 各種使用料など受益に応じた負担の見直し
5. 市税などの未収金の徴収体制の強化	11. ほかの自治体との連携による業務の効率化
6. 人件費の削減	12. その他 (具体的に：)

最後にあなた自身のことについてお聞きします。

【問27】あなたの性別を次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. 無回答
-------	-------	--------

【問28】あなたの年齢は何歳ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 18歳～19歳	4. 40歳～49歳	7. 70歳以上
2. 20歳～29歳	5. 50歳～59歳	
3. 30歳～39歳	6. 60歳～69歳	

【問29】あなたの職業は何ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 農林業	6. 派遣社員・パート・アルバイト
2. 自営業	7. 専業主婦・主夫
3. 会社または団体の役員	8. 学生
4. 会社員または団体職員(正社員)	9. 無職
5. 官公庁・学校などの公務員	10. その他(具体的に：)

【問30】あなたの勤務先・通学先はどちらですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 自宅	4. 印旛郡市以外の千葉県内
2. 白井市内	5. 東京都内
3. 市以外の印旛郡市（印西市、酒々井町、富里市、 八街市、四街道市、成田市、佐倉市、栄町）	6. 千葉県、東京都以外の県

【問31】あなたは市に何年くらいお住まいですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 5年未満	3. 10年～19年	5. 30年以上
2. 5年～9年	4. 20年～29年	

【問32】あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。次の選択肢から1つ選んで番号に○をつけてください。（わからない場合は、自宅から一番近い小学校に○をつけてください）

選択肢	該当する町丁目・字等
1. 白井第一小学校区	神々廻の一部、白井、復（下長殿、上長殿、法目）、根（白井木戸、七次）、木の一部、河原子の一部
2. 白井第二小学校区	折立、富塚の一部、中、名内、今井、平塚、河原子の一部、十倉の一部
3. 白井第三小学校区	富士、復（四町会）、根（丸山、白井木戸、オージーコートヴィレッジ）
4. 大山口小学校区	大山口1丁目・2丁目、大松1丁目、西白井1丁目・2丁目、根（清水口、大松、大山口）、富塚の一部
5. 清水口小学校区	清水口1丁目～3丁目、けやき台1丁目・2丁目、根（千草、中木戸）
6. 七次台小学校区	七次台1丁目～4丁目、野口、西白井3丁目・4丁目、根（百合丘、クレイドルガーデン西白井）、木の一部
7. 南山小学校区	南山1丁目～3丁目、堀込1丁目、笹塚1丁目～3丁目、復（富ヶ谷）
8. 池の上小学校区	池の上1丁目～3丁目、堀込2丁目・3丁目、復（富ヶ沢、ひまわり）、根（白井小町）
9. 桜台小学校区	桜台1丁目～5丁目、十倉の一部、清戸、谷田、神々廻の一部

【問33】これからの白井市のまちづくりについて、自由にご意見をお聞かせください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、返信用封筒に入れて7月5日（金）までに投函してください。

